

Japan
Prosthetic
Society

90th
Anniversary

公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

HOME

大会長挨拶

開催概要

参加登録

参加者へのご案内

座長・演者の皆様へ

ポスター発表
データ提出のご案内

演題募集

イブニングセッション/歯科
医師・技工士コラボレート
プレゼンテーション募集

日程・プログラム

単位取得について

認定医・専門医筆記試験

協賛募集

Program in English

会場案内

会員意見交換会について

市民フォーラム

関連リンク

最新情報
Topics & Information

2023.05.19
[市民フォーラム](#)を掲載しま
した。

2023.05.12
[WEB開催 視聴・閲覧方
法](#)を掲載しました。

2023.04.22
[参加者へのご案内、座長・
演者の皆様へ、Program
in English](#)を掲載しまし
た。[日程・プログラ
ム](#)、[会場案内](#)を更新しまし
た。

補綴の未来、歯科の未来。
“Society5.0に向けたイノベーションの創出”

会 期 2023年 5月19日(金)～21日(日) 会 場 パシフィコ横浜

主 催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

理事長・大会長 馬場 一美 (昭和大学歯学部 歯科補綴学講座)

実行委員長 岩佐 文則 (昭和大学歯学部 歯科補綴学講座)

準備委員長 田中 晋平 (昭和大学歯学部 歯科補綴学講座)

学術委員長 大久保 力廣 (鶴見大学歯学部歯学科 有床義歯補綴学講座)

連携共催学会
日本臨床歯科学会(SJCD)

理 事 長 山崎 長郎

副理事長 本多 正明

日本補綴歯科学会第132回学術大会－設立90周年記念大会－に際しましては、
格別のご支援とご尽力を賜り、心より御礼申し上げます。
お陰様をもちまして、多数の皆様にご参加いただき、ハイブリッド開催を
盛会裏に終了することができました。
ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました関係者の皆様に深く 感謝申し上げます。

公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会－設立90周年記念大会－
大会長 馬場 一美
(昭和大学歯学部 歯科補綴学講座)

Kuraray Noritake Dental Inc.

Tokuyama

YAMAKIN

YOSHIDA

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151 (内線234)

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL : 03-6722-6090 FAX : 03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL : 086-250-7681 FAX : 086-250-7682
E-mail : jps132@kwcs.jp

<https://www.kwcs.jp/jps132/index.html>[2023/06/21 10:03:40]



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME

大会長挨拶

開催概要

参加登録

参加者へのご案内

座長・演者の皆様へ

ポスター発表
データ提出のご案内

演題募集

イブニングセッション/歯科
医師・技工士コラボレート
プレゼンテーション募集

日程・プログラム

単位取得について

認定医・専門医筆記試験

協賛募集

Program in English

会場案内

会員意見交換会について

市民フォーラム

関連リンク

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6091
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp

Copyright © The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

大会長挨拶

公益社団法人日本補綴歯科学会 第132回学術大会
－ 設立90周年記念大会 －
大会長挨拶

大会長 馬場 一美
昭和大学 歯科補綴学講座



公益社団法人日本補綴歯科学会の第39代理事長を拝命して2年目を迎えましたが、この度、第132回学術大会長を重ねて拝命し、2023年5月19日(金)～21日(日)の3日間、パシフィコ横浜にて本学術大会を開催させていただきますことになりました。

本学術大会へは、全国から、補綴歯科臨床、研究、教育に携わる歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、関連企業の方など約3,000名の参加が見込まれており、最新の臨床的知見や学術情報の交換の場となるよう、関係者一同、鋭意準備を進めているところです。また、学術大会のテーマとして、昨年同様「補綴の未来、歯科の未来。“Society5.0に向けたイノベーションの創出”」を掲げております。本学会はデジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指す、いわゆるデジタルトランスフォーメーションに注力して参りましたが、本学術大会が既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションを創出する端緒となることを期待しております。また、令和4年度の第131回学術大会では、日本臨床歯科学会との連携協定を締結し、学術大会の共同開催を行いました。協定締結後2回目の大会となる本学術大会では、連携関係を拡充し、臨床スキルアップのための数々のハンズオンセミナー・臨床リレーセッションの企画しておりますので奮ってご参加ください。さらに新たな企画として「歯科医師と歯科技工士のコラボレートプレゼンテーション」と題した歯科医師と歯科技工士がタッグを組んだ臨床症例のコンペティションが予定されております。また、一般社団法人日本歯科専門医機構認定の歯科専門医共通研修の企画もしておりますので奮ってご参加いただければ幸いです。

これまで、第129回、第130回学術大会は新型コロナウイルス感染症の影響でWeb開催としてきましたが、第131回からは現地開催とWeb配信を併用するハイブリッド開催となりました。現在、第132回についても同様に最大限の感染対策を行い、現地開催とWeb配信を併用したハイブリッド開催とすべく準備を進めております。

最後になりますが、2023年は本学会の創設90周年を迎える年となります。このような素晴らしい節目の年に第132回学術大会を、1859年の開港以来、海外との玄関口として経済や文化の交流の歴史を重ね、活気あふれる国際都市として成長してきた横浜で実施できることには感慨深いものがあります。現在のところ、**演題登録開始は12月15日(木)、締め切りは1月13日(金)**を予定しております。課題口演、一般口演、ポスター発表、専門医ケースプレゼンテーションなど、多数の演題登録をお待ちしております。



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME

大会長挨拶

開催概要

参加登録

参加者へのご案内

座長・演者の皆様へ

ポスター発表
データ提出のご案内

演題募集

イブニングセッション/歯科
医師・技士コラボレート
プレゼンテーション募集

日程・プログラム

単位取得について

認定医・専門医筆記試験

協賛募集

Program in English

会場案内

会員意見交換会について

市民フォーラム

関連リンク

開催概要

大会名

公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会－設立90周年記念大会－

テーマ

補綴の未来、歯科の未来。“Society5.0に向けたイノベーションの創出”

会期

2023年5月19日（金）～21日（日）

開催形式

ハイブリッド開催（現地開催＋WEB配信*）
*一部ライブ配信およびポスターオンデマンド配信（会期中のみ）

会場

[パシフィコ横浜](#)
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

大会長

馬場 一美（昭和大学歯学部 歯科補綴学講座）

実行委員長

岩佐 文則（昭和大学歯学部 歯科補綴学講座）

準備委員長

田中 晋平（昭和大学歯学部 歯科補綴学講座）

学術委員長

大久保 力廣（鶴見大学歯学部歯学科 有床義歯補綴学講座）

主催

公益社団法人 日本補綴歯科学会
理事長：馬場 一美（昭和大学歯学部 歯科補綴学講座）

連携共催学会

日本臨床歯科学会（SJCD）
理 事 長：山崎 長郎
副理事長：本多 正明

大会事務局

昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）

学会事務局



公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL : 03-6722-6090 FAX : 03-6722-6096

運営事務局

株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL : 086-250-7681 FAX : 086-250-7682
E-mail : jps132@kwcs.jp

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL : 03-6722-6090 FAX : 03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL : 086-250-7681 FAX : 086-250-7682
E-mail : jps132@kwcs.jp

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

— 設立90周年記念大会 —

関連リンク

参加区分	前期会費	後期会費
正会員	15,000円	20,000円
賛助会員	15,000円	20,000円
準会員（一般）	5,000円	7,500円
準会員（学部学生）	1,000円	2,000円
非会員（一般）	20,000円	25,000円
非会員（学部学生）	2,000円	3,000円
非会員（共催学会の会員）＊	15,000円	20,000円
非会員（歯科技工士）	2,000円	3,000円
非会員（歯科衛生士）	2,000円	3,000円
登録歯科技工士	無料	
名誉会員	無料	
臨時会員	5,000円	

※ 共催学会：日本臨床歯科学会、東京都歯科技工士会、日本顎咬合学会、日本義歯ケア学会、日本口腔インプラント学会、日本歯科衛生士会、日本歯科技工学会、日本歯科理工学会、日本接着歯学会、日本歯科保存学会、日本デジタル歯科学会

※参加登録費はご入金（決済）後、理由の如何に関わらず返金いたしません。また申込内容の変更も出来ません。予めご了承ください。

※学生は学生証を参加登録システムにてアップロードしてください。必要書類がアップロードされていない場合や、不備がある場合は参加登録を取消しもしくは通常の会費をお支払いいただきますので予めご了承ください。

※登録歯科技工士は、日本補綴歯科学会へ登録料2,000円（1年間有効・4月から翌年3月まで）を支払うことで、本会学術大会に無料で参加できます。詳細は、「登録歯科技工士申請案内 (hotetsu.com)」をご確認ください。

お支払い方法

クレジットカード（オンライン）決済のみ利用可能です。
（ご利用いただけるカードの種類：VISA / Master Card / American Express / Diners / JCB）



プログラム・抄録集について

抄録集購入希望の方は1冊1,000円でご購入ください。
※参加区分が正会員、賛助会員、準会員（一般）、名誉会員、非会員（一般、共催学会の会員）については参加費に抄録集1冊が含まれます。
追加で必要な場合のみご購入ください。

ハンズオンセミナー（現地参加のみ）

●申込締切：2023年4月28日（金）

セミナー 番号	タイトル	日にち	会場	時間	参加形式	定員	受講料
1-1	磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～	5/20 (土)	第4会場	9:00～10:30	講義+実習	20名	¥ 5,000
1-2				10:40～12:10	講義+実習	20名	¥ 5,000
2-1	口腔内スキャナーの実践 Ver.5		第5会場	9:00～10:30	講義+実習	12名	無料
2-2				10:40～12:10	講義+実習	12名	無料
3-1	ウェアラブル筋電計を用いたブラキシズム診断の実践		第4会場	14:00～15:30	講義+実習	12名	無料
3-2				15:50～17:20	講義+実習	12名	無料
4	包括的補綴歯科治療に必要なペリオドンタルプラスチックサージェリー		第5会場	14:00～17:20	講義+実習	28名	¥ 15,000
					講義のみ	18名	無料
5	Universal CAD（汎用CADソフト）を利用した部分床義歯モデリングのワークフロー	5/21 (日)	第4会場	9:00～12:00	講義+実習	20名	無料
					講義のみ	44名	無料
6	デジタルデンティストリーにおけるバーチャルWax Upの実践		第5会場	9:00～12:00	講義+実習	20名	¥ 15,000
					講義のみ	50名	無料

※ ハンズオンセミナーへの参加には学術大会への参加登録が必須です。
ハンズオンセミナーのみの参加は出来ません。
※ 事前申込制です。参加希望の方は必ず事前申し込みを行ってください。
当日受付は行いません。
※ 申込締切前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。

Meet the Experts（現地参加のみ）

●申込締切：2023年4月28日（金）

会 場： 会議センター 4F 416+417
定 員： 25名（1講師につき各5名）
受 講 料： 3,000円（昼食付）
日 時： 2023年5月20日（土）12：40～13：20
講 師： 植松 厚夫（日本臨床歯科学会）
横山 紗和子（昭和大）
山田 将博（東北大）
峯 篤史（大阪大）
笛木 賢治（医歯大）

注意事項
※Meet the Expertsへの参加には学術大会への参加登録が必須です。
Meet the Expertsのみの参加はできません。
※事前申込制です。参加希望の方は必ず事前申し込みを行ってください。
当日受付は行いません。
※申込締切前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。

臨時会員登録

共同発表者が非会員の場合は臨時会員登録を行ってください。
登録料：5,000円
※学術大会に参加される場合は別途参加登録を行ってください。

参加形式について

参加形式の選択は現状の予定を選択してください。
あくまで当日運営の参考として入力をお願いしておりますので直前などに変更いただいても問題ございません。
※変更のご連絡は不要です。

意見交換会のお知らせ

日 時： 5月19日（金）18：00～
会 場： 横浜ロイヤルパークホテル 3F 鳳翔の間
会 費： 14,000円
定 員： 400名（定員に達し次第、締切となります。）
申込締切：2023年4月28日（金）
※懇親会はどなたでも参加可能です。
事前申込制となります。当日受付は行いませんので、希望者は必ず事前登録を行ってください。

取り消し（返金）について

参加登録費はご入金（決済）後、理由の如何に関わらず返金いたしません。また申込内容の変更も出来ません。予めご了承ください。

WEB視聴用ID、パスワードについて

WEBでの視聴、閲覧には参加登録時に発行されるID、パスワード（ご自身で設定したパスワード）が必要です。IDおよびパスワードを入力してログインの上、視聴してください。

参加証明書・領収書について

参加登録完了後、参加登録マイページにログインして取得してください。
【発行期間】2023年3月22日（水）～2023年5月31日（水）
※ 上記期間外の発行および再発行などは致しかねますので、必要な方は必ず発行期間中にご自身で発行してください。

託児施設

設定はありません。

参加登録ページ

以下のボタンから参加登録ページにお進みください。

参加登録はこちら

登録内容修正、参加証・領収書ダウンロード

お問い合わせ先

公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会 事前参加登録デスク
E-mail : jps132_sanka@kwcs.jp

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL : 03-6722-6090 FAX : 03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL : 086-250-7681 FAX : 086-250-7682
E-mail : jps132@kwcs.jp

Copyright © The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME
大会長挨拶
開催概要
参加登録
参加者へのご案内
座長・演者の皆様へ
ポスター発表 データ提出のご案内
演題募集
イブニングセッション/歯科 医師・技工士コラボレート プレゼンテーション募集
日程・プログラム
単位取得について
認定医・専門医筆記試験
協賛募集
Program in English
会場案内
会員意見交換会について
市民フォーラム
関連リンク

参加者へのご案内

参加者へのご案内

WEB開催 視聴・閲覧方法



大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151 (内線234)

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME
大会長挨拶
開催概要
参加登録
参加者へのご案内
座長・演者の皆様へ
ポスター発表 データ提出のご案内
演題募集
イブニングセッション/歯科 医師・技工士コラボレート プレゼンテーション募集
日程・プログラム
単位取得について
認定医・専門医筆記試験
協賛募集
Program in English
会場案内
会員意見交換会について
市民フォーラム
関連リンク

座長・演者の皆様へ

座長・演者の皆様へ

利益相反（COI）についてはこちら



大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp

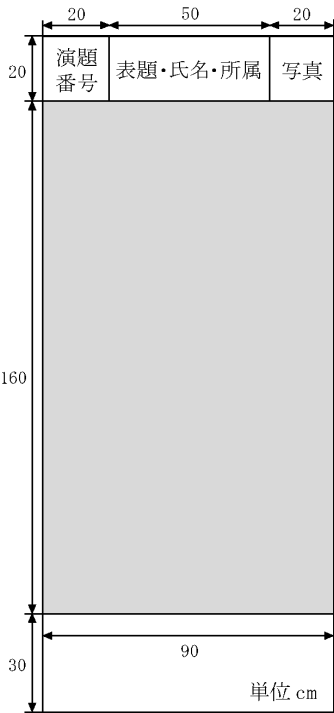
関連リンク

確認・修正

データ削除

会場に掲示するポスターについて

- 会場に掲示いただくポスターサイズは右図の通りです。
- ・ 展示用に、横90cm×縦210cmの展示板を用意します。
 - ・ 右図の網掛けの範囲内に展示してください。
 - ・ 大会事務局で展示板に演題番号を用意します。
表題、氏名、所属は発表者自身が用意してください。
また、ポスターの右上隅に発表者の写真（L版）を掲示してください。
 - ・ ポスター中にCOI該当の有無を開示してください。



お問い合わせ先

公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会
－設立90周年記念大会－ 運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
MAIL：jps132@kwcs.jp

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp

関連リンク

I) 目的 ⇒ 緒言
II) 方法 ⇒ 症例の概要・治療内容
III) 結果と考察 ⇒ 経過ならびに考察

- ・ 歯式を使用される方は下記ページをご参照ください。
歯式及び対応するタグ一覧
<https://www.umin.ac.jp/endai/shishiki.html>

日本補綴歯科学会へのご入会

課題口演

1. 課題口演のテーマ

課題口演のテーマと応募資格は以下のとおりです。

- 1) Smart prosthodontics**：CAD/CAM、ガイドドサージェリー、三次元有限要素法、IT、AI等のデジタル手法あるいは接着歯学、歯科材料学的アプローチにより、高品質な補綴装置および統合的価値をもつ治療をもたらす研究
- 2) 臨床エビデンス**：食力向上による健康寿命の延伸を目指し、口腔機能障害、全身疾患や栄養、超高齢社会など、現代日本の歯科医療が直面している問題についての臨床エビデンスやメカニズムに関する研究、既存のあるいは新規に開発した補綴歯科の検査および治療法のアウトカム（成果、結果、ゴール、エンドポイントなど）を系統的にかつ定量的に評価する研究、臨床疫学研究
- 3) バイオロジー**：メカノバイオロジー、再生医学など生物学的な手法により補綴歯科治療に関連する問題を解決する研究

※ 応募予定の研究テーマがどのカテゴリーに当てはまるかわからない場合は、もっとも適切と思われるカテゴリーを選択してください。プログラム委員会においてカテゴリーの割り当てを変更する場合があります。

2. 課題口演の応募資格

- ・ 2023年3月31日現在で、最終学歴（学士、博士）取得後10年以内の会員（博士課程満期退学後10年以内の者を含む）
- ・ 過去に課題口演優秀賞、課題口演賞を受賞していないこと
- ・ 抄録締め切り時点で未発表のものであること
- ・ 学会、委員会が主導した研究は除く
- ・ 教室の責任者は除く

3. 課題口演の実施方法

- 1) プログラム委員会において、事前抄録をもとに各カテゴリーから優秀な3演題ずつを選考します。選考された演題の筆頭演者はファイナリストとして課題口演の演者となります。
- 2) ファイナリストには、課題口演審査の採点資料としてA4で3枚（6ページ）程度のextended abstractを提出していただきます（提出締め切り：令和5年4月7日（金））。
- 3) 課題口演に選考されなかった演題については、応募時に選択した第2希望を参考に、プログラム委員会にて一般口演またはポスター発表に振り替えます。振替先の発表形式、カテゴリーはプログラム委員会に一任させていただきます。
- 4) 審査委員は学会当日各カテゴリーから特に優秀な1演題を選出し、課題口演優秀賞を授与します。
- 5) 発表は、1演題につき発表10分、質疑応答10分とします。
- 6) 課題口演審査委員が審査を行います。なお、審査委員は共同演者となっている演題の審査は行いません。
- 7) 審査方法の詳細は、後日公表し、連絡いたします。
- 8) 課題口演優秀賞の選考数は、同点等の場合最大1演題追加することがあります。

一般演題（口演・ポスター発表）

演題申込時に、発表形式（一般口演、ポスター発表）およびカテゴリー（以下から第2希望まで）を選択していただきます。なお、発表形式およびカテゴリーは、申込時の希望を参考にプログラム委員会で決定します。

ポスター発表の中から、とくに優秀な演題を優秀ポスター賞（デンツブライシロナ賞、カボデンタル賞）として表彰する予定です。ただし、下記の「9.学会主導研究」に関しては、表彰対象から外します。

- 1.有床義歯
- 2.クラウンブリッジ
- 3.インプラント
- 4.ニューロサイエンス
- 5.バイオロジー・バイオマテリアル

- 6.口腔機能
- 7.教育
- 8.症例
- 9.学会主導研究（表彰対象から除外）

新規演題登録

確認・修正

演題削除

演題登録に関するお問い合わせ

運営事務局
株式会社キョードープラス内
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会－

HOME

大会長挨拶

開催概要

参加登録

参加者へのご案内

座長・演者の皆様へ

ポスター発表
データ提出のご案内

演題募集

イブニングセッション/歯科
医師・技工士コラボレート
プレゼンテーション募集

日程・プログラム

単位取得について

認定医・専門医筆記試験

協賛募集

Program in English

会場案内

会員意見交換会について

市民フォーラム

関連リンク

イブニングセッション/歯科医師・技工士コラボレートプレゼンテーション募集

イブニングセッション コーディネーターの募集

「イブニングセッション－臨床イノベーションのための挑戦－」

第132回学術大会では第123回学術大会から行われたイブニングセッションの主旨を引き継ぎ、**今後の補綴歯科学会会員の研究戦略を具体的に導き出すため、またより良い補綴歯科医療実現のため**、若手研究者・臨床家イブニングセッションを開催します。これは、優秀な若手研究者や臨床家から発せられる自発的な研究・教育的企画により、学会活動の活性化を図るものです。これにより、若手会員が臨床イノベーションに貢献し、近い将来、世界に伍する研究者および医療提供者となって、世界の歯科補綴学分野をリードすることを期待します。

従いまして、採択者には自らの研究・臨床を基に、その成果と将来の展望、夢を語ってもらい、同じ領域の研究・臨床に従事する、もしくは志す会員間の議論をコーディネートしていただきたいと思います。イブニングセッションの概要および応募要領は下記の通りです。若手会員等に周知していただき、奮って応募いただくようお願いいたします。

イブニングセッションの概要および応募要領

開催日時：2023年 5月20日（土）夕刻

セッションテーマ

- 研究
Biology / TMD / ブラキシズム / 睡眠時無呼吸症候群 / 脳機能 / 再生医療 / 咀嚼能率検査法 / 生体材料 / インプラント / CAD/CAM / 咬合と全身 / 臨床疫学 / 教育 / 摂食嚥下機能 / 接着歯学 / その他
- 臨床
全部床義歯（印象・咬合採得・人工歯排列） / 部分床義歯（設計・印象採得） / クラウンブリッジ（支台歯形成・印象） / 咬合調整 / 接着の臨床応用 / インプラント / 咬合感覚異常症 / 審美歯科 / 顎顔面補綴 / 義歯リライン・リベース / 摂食嚥下障害への対応 / その他

実施要領

応募された企画から、4題～6題（予定）のイブニングセッションを学術委員会が選定します。選定された企画のコーディネーターはセッションの最初に10分間程度のフォーカスプレゼンテーション（現状と問題提起）をしていただき、その後の討論の座長を務めていただきます。また、コーディネーターもしくは学術委員会により推薦組織された参加者数名による各5分間程度の発表も行います。**参加者の共同企画によって結果が広く会員の研究計画や臨床向上に資するような討論を期待します。**参加者が胸襟を開き、自由かつ活発に討論することができるよう、少人数でも実施します。各分野のエキスパート1名がオブザーバー・ファシリテーターとして参加する予定ですが、基本的に議論には参加せず、必要に応じてアドバイスする程度にとどめます。

応募資格

公益社団法人日本補綴歯科学会若手会員
(年齢については特に具体的な制限は設けません)

応募方法

応募用紙に必要事項を記入の上、2022年12月23日（金）までに、下記宛に応募してください。

<送付先>
学術委員会幹事 佐藤洋平（sato-yohei@tsurumi-u.ac.jp）

応募用紙ダウンロード

選考方法



<https://www.kwcs.jp/jps132/collabo.html>[2023/06/21 10:07:46]

基本的には各セッションテーマに関する研究実績や応募用紙に記載された内容を基に学術委員会で決定します。ただし、実績がなくても将来性がある研究や治療を実施しているなど、必ずしも実績のみに基づかない選考結果となる可能性もあります。なお、**採択者は通常のシンポジウムにおけるシンポジストと同等の実績とみなしていただいて結構です。**

歯科医師と歯科技工士のコラボレートプレゼンテーション募集

補綴と技工は車の両輪の関係にある。すなわち、補綴診療にとって補綴医と歯科技工士との連携は必要不可欠であり、お互いの立場からその症例にとって最善の治療像を模索しながら、補綴装置の製作に結び付けていかなければならない。そこで、（公社）日本補綴歯科学会第132回学術大会では歯科医師と歯科技工士の2人1組で症例報告をしていただき、両者の共同作業としての集大成ともなる症例をご提示いただくコンペティションを企画する。発表者は公募により選抜し、発表に対しては会場内の聴講者による投票で最優秀賞を決定する予定である。奮ってご応募いただきたい。

応募資格

公益社団法人日本補綴歯科学会会員（歯科医師・歯科技工士共に会員）

応募方法

- ① 氏名
 - ② 所属
 - ③ 連絡先
 - ④ 講演を予定しているテーマと要旨
 - ⑤ 発表に関連した業績
- ※コラボレーションした論文、著書があれば別刷りやコピーを添付してください。

必要事項をWordでA4サイズ2枚程度に記入の上、令和4年12月23日（金）までに、下記宛にメールまたは郵送で応募してください。

<送付先>
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
学術委員会幹事 佐藤洋平（sato-yohei@tsurumi-u.ac.jp）

選考方法

応募用紙に記載された内容を基に学術委員会で決定します。

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME

大会長挨拶

開催概要

参加登録

参加者へのご案内

座長・演者の皆様へ

ポスター発表
データ提出のご案内

演題募集

イブニングセッション/歯科
医師・技工士コラボレート
プレゼンテーション募集

日程・プログラム

単位取得について

認定医・専門医筆記試験

協賛募集

Program in English

会場案内

会員意見交換会について

市民フォーラム

関連リンク



日程・プログラム

日程表

日程表

プログラム

企画セッション

課題口演発表

一般口演発表

ポスター発表

抄録

企画セッション

以下の抄録は5月18日（木）9:00～5月23日（火）9:00までの掲載となります

課題口演発表

一般口演発表

ポスター発表

大会企画

理事長講演

2023年5月20日（土）10：10～10：50（40分）

第1会場

「補綴歯科専門医として社会と繋がる―補綴の価値のさらなる創出に向けて―」

2023年6月に開催される総会および新理事による理事会を経て、岡山大学学術研究院医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野の窪木拓男教授が第40代理事長に就任される。

本企画では「補綴歯科専門医として社会と繋がる―補綴の価値のさらなる創出に向けて―」と題して、本会の悲願である標榜可能な専門医制度実現後の本会のあり方だけではなく、若手会員にとって夢のある未来の学会像についてもお示しいただく。

座長：馬場 一美（昭和大）

講師：窪木 拓男（岡山大）

特別講演

2023年5月21日（日）9：00～10：00（60分）

第1会場

「新型コロナウイルス感染症パンデミックの終息に向けて」

新型コロナウイルス感染症は2022年12月現在，世界では新規感染者数の減少傾向と重症患者や死者の顕著な減少に伴い，多くの国々がウイズコロナ政策へと舵を取り，我が国もそれにならいつつある．現在，それぞれの国はそれぞれの国情に応じたウイズコロナ政策を模索しており，すべてが同じでは決していない．我が国の特殊性や事情をより深く考慮した政策が必要に思われる．高齢人口が世界最多にも拘わらず，ここまで人的被害が少なかった理由を改めて考えてみれば，今後我々が取るべき方向性も明確になるであろう．

座長：馬場 一美（昭和大）

講師：二木 芳人（昭和大医）

海外特別講演

2023年5月20日（土）14：10～15：40（90分）

第1会場

「Is evidenced based treatment planning in prosthetic dentistry realistic or only an illusion」

座長：細川 隆司（九歯大）

横山 敦郎（北大歯）

講師：Bjarni E. Pjetursson（University of Iceland）

メインシンポジウム

2023年5月20日（土）16：00～18：00（120分）

第1会場

「臨床へ実装されるバイオロジー研究 ～研究室から診療室へ～」

【企画趣旨】補綴歯科学会では幅広い領域で研究が行われており，バイオロジー研究も重点的分野として課題口演のカテゴリーとして取り上げられている．しかし，その研究成果がいかに優れていても，臨床応用まで到達させるまでには多くのハードルがあり，その実例は少ないのが現状である．本シンポジウムでご登壇いただくのは，基礎研究のみならず臨床分野においても優れた研究成果を積み上げて，臨床応用に到達あるいは到達間近のプロジェクトを遂行されている先生方である．これまでの研究のきっかけから，どのようにして研究を遂行し，実用化にアプローチしてきたのか，開発品の臨床使用における留意点やエビデンス等についてご自身の経験と知見をご紹介いただく．

座長：正田 一洋（北医療大）

江草 宏（東北大）

シンポジスト：二川 浩樹（広島大）

窪木 拓男（岡山大）

澤瀬 隆（長崎大）

吉田 靖弘（北大歯）

シンポジウム1

2023年5月20日（土）11：00～12：30（90分）

第1会場

「補綴の原点である咬合を極める」

【企画趣旨】咬合とは，歯や補綴装置を介した上下顎の接触関係を指す．中心咬合位で噛んだ場合には，歯列は最大接触面積で咬合し，顎関節や筋肉と調和した場所に下顎は位置づけられ，偏心運動時にはガイドの存在により，下顎は安定した滑走運動が可能となる．失われた中心咬合位を再現するために，様々な議論がなされているが，本セッションでは，咬合を正しく理解し，学会としての方向性を明確することを目的にディスカッションを深めたい．

座長：山下秀一郎（東歯大）

谷田部 優（東京支部）

シンポジスト：重本 修伺（鶴見大）

上田 秀朗（九州支部）

中村健太郎（東海支部）

シンポジウム2

2023年5月20日（土）16：30～18：00（90分）

第3会場

「どちらを使う？ニケイ酸リチウムガラスとジルコニアの徹底比較」

【企画趣旨】メタルフリーや審美補綴材料の進歩から，オールセラミックス製の補綴装置が広く使用されるようになってきた．オールセラミックスの中でもニケイ酸リチウムガラスとジルコニアが，最も多く使用されている審美修復材料であると考えられるが，これらの材料の使い分けはどのようにするべきだろうか？本企画では，それぞれの材料の特徴や臨床で使用する上での接着法を整理し，さらにこれらの材料を実際に使用されている臨床家の先生に臨床応用のポイントをご解説いただく予定である．

座長：小峰 太（日本大）

南 弘之（鹿児島大）
シンポジスト： 伴 清治（愛院大歯）
猪越 正直（医歯大）
大谷 恭史（関西支部）

シンポジウム3

2023年5月21日（日） 10：10～11：10（60分） 第2会場

「リアルワールドデータの歯科における利活用」

【企画趣旨】最もエビデンスレベルの高い臨床研究は、質の高いランダム化比較試験（RCT）であることに疑いの余地はない。しかし、RCTは倫理的にも費用面でも実現が困難なことが少なくない。一方で、近年、情報技術の発展によって日々生じる膨大なデジタルデータは、個人情報に関する法律の改定により入手し易くなってきた。「リアルワールドデータ(RWD)」とは、医療や介護の現場で日常的に発生するデジタルデータの総体であり、臨床医学研究での利活用が飛躍的に伸びてきている。しかし、歯科での事例はまだほとんどみられない。

そこで今回は、RWDを用いた研究の利点や欠点、歯科での利活用について検討してみたい。

座長： 池邊 一典（大阪大）
 笛木 賢治（医歯大）
シンポジスト： 山本 陵平（大阪大）
 豆野 智昭（大阪大）

シンポジウム4

2023年5月21日（日） 11：20～12：20（60分） 第3会場

「シングルセル解析とバイオインフォマティクスで拓く補綴歯科研究
～単一細胞から組織発生・再生のメカニズムを理解する～」

【企画趣旨】近年、遺伝子発現解析が目覚ましい発展を遂げ、単一細胞の遺伝子発現解析が可能となり、すでに、補綴領域バイオロジー研究も、これらの遺伝子発現解析技術や解析コンセプトの理解が不可欠な時期を迎えている。本セッションでは講師の先生にシングルセル解析とバイオインフォマティクス解析に関する研究アプローチをご紹介いただき補綴におけるバイオロジー研究の展望について会員と議論したい。

座長： 秋葉 陽介（新潟大）
 大島 正充（徳島大）
シンポジスト： 大庭 伸介（大阪大）
 大野 充昭（岡山大）

シンポジウム5

2023年5月21日（日） 13：30～15：30（120分） 第3会場

「歯科金属アレルギー診療指針に向かう道標」

【企画趣旨】この度アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針が改正され、医療提供体制に『歯科医師』が追記された。これに応じて歯科も医科と連携して金属アレルギーの実態調査、診断法の確立、そして多科連携診療モデルの構築に取り組むことが求められる。しかし、歯科金属アレルギー治療指針は定められていない。本シンポジウムでは歯科金属アレルギー診療指針策定への展望を議論したい。

座長： 江草 宏 先生（東北大）
 峯 篤志 先生（大阪大）
シンポジスト： 矢上 晶子 先生（藤田医科大）
 加治屋幹人 先生（広島大）
 正木 千尋 先生（九歯大）
 秋葉 陽介 先生（新潟大）

診療ガイドライン委員会セミナー

2023年5月20日（土） 14：10～15：40（90分） 第2会場

「義歯のリライン Update」

【企画趣旨】診療ガイドラインは、医療利用者と提供者の意思決定を支援するために、エビデンスを公平に抽出、評価し、益と害のバランスを勘案して、最適と考えられる推奨を提示するものです。また、臨床指針はエビデンスが確立していないものの、現時点での最適と考えられる推奨を示す文書です。そのため、診療方針の決定には診療ガイドラインや指針を参考にする必要があります。

このたび日本補綴歯科学会は、2007年に策定された「リラインとリベースのガイドライン」の改訂に加え、現在保険診療に収載されている軟性裏層材に着目し、「軟質リライン材によるリラインのガイドライン」をあらたに公開しました。そこで本セミナーでは、補綴専門医として知っておきたいリラインに関する情報を皆様と共有したいと考えております。

本セミナーが会員の皆様の明日の診療・研究の参考になることを期待しています。

座長： 西村 正宏（鹿児島大）
松香 芳三（徳島大）
講師： 村田比呂司（長崎大）
河相 安彦（日大松戸大）
長谷川陽子（新潟大）

臨床スキルアップセミナー

2023年5月21日（日） 9：00～10：00（60分） 第2会場

「義歯調整の勘所」

【企画趣旨】全部床義歯装着が原因で起こるトラブルにおいて、主な患者の主訴は粘膜の疼痛、上顎義歯の脱落、下顎義歯の浮き上がり、発語困難、咬頬、咬舌など多岐にわたる。中でも「疼痛」は患者の食欲やQOLの低下に直結した侵害刺激であり、高い優先順位をもって解決せねばならない主訴である。臨床の現場ではそれらの症状を丁寧に傾聴し、適切に対処するスキルが求められる。本セミナーでは、全部床義歯のトラブルに対し、臨床の現場でどのように考え対処すべきか、補綴専門医を目指す若手歯科医師だけでなく難症例に苦慮される経験をお持ちの先生方とも議論を深めたい。

座長： 村田比呂司（長崎大）
水口 俊介（医歯大）
講師： 都築 尊（福歯大）
木本 統（愛院大）

臨床リレーセッション1

2023年5月20日（土） 11：00～12：30（90分） 第2会場

「アンテリアハイパーファンクションにどう対応するか？」

その病因学と補綴治療のキーポイント」

【企画趣旨】上顎無歯顎、下顎前歯のみ残存したEichner C2症例では、コンビネーションシンドローム（CS）と呼ばれる口腔内状態を示すことがある。このCSは1972年にKellyによって提唱され、アンテリアハイパーファンクション（AH）シンドロームとも呼ばれている。ここから推察するに、AHは、下顎前歯の過大な咬合力と推察されるが、詳細に定義されていない。AHはEichner B4や下顎前歯が残存したEichner C1、C2症例で認められる。上顎前歯や上顎前歯相当部への為害作用だけではない複数の特徴的な口腔内所見を引き起こし、補綴的な対応が困難な場合が多い。本セッションでは、このAHの病因学的な側面から実際の口腔内症状、補綴的対応について、ディスカッションを行いたい。

座長： 若林 則幸（医歯大）
多田紗弥夏（シンガポール国立大学）
講師： 荻野洋一郎（九州大）
大山 哲生（日大歯）
中野 環（大阪大）

臨床リレーセッション2

2023年5月20日（土） 16：00～18：00（120分） 第2会場

「テレスコープ義歯 ― 臨床現場における有効な活用法を考える ―」

【企画趣旨】部分床義歯の設計において、義歯の動揺の抑制は口腔関連QOLに関わる重要な要件である。支台装置にテレスコープを選択すると、リジッドコネクションが実現し動揺の抑制をはかることが可能であるが、使い方を誤れば歯根破折等の重篤な状況が惹起されるのも事実である。本セッションでは、高いポテンシャルを有したこの支台装置について、臨床現場における有効な活用法についてディスカッションを深めたい。

座長： 山下秀一郎（東歯大）
田中 譲治（東関東支部）
講師： 都築 尊（福歯大）
槇原 絵理（九歯大）
田坂 彰規（東歯大）

臨床リレーセッション3

2023年5月21日（日） 13：30～15：30（120分） 第2会場

「現代補綴の到達点：支台歯形成から補綴装置装着までのステップ」

【企画趣旨】現在の補綴治療の潮流はデジタルの時代になって来つつあるが、支台歯形成から補綴までの基本的な考え方は、不変であると思われる。今回は、支台歯形成から補綴までの流れの中で、その基本的な考え方手技などを確認し、将来に向けた補綴治療の在り方も確認していくことを目的とする。補綴治療の流れの中で支台歯形成、プロビジョナルレストレーション、印象、補綴製作等の各ステップの処置を基本に立ち返り、高いクオリティーを求め、将来の補綴治療の展望も含めて講演を行いたい。

座長： 土屋 賢司（日本臨床歯科学会）

鮎川 保則（九州大）
講師：千葉 豊和（日本臨床歯科学会）
瀬戸 延泰（日本臨床歯科学会）
伊藤 雄策（日本臨床歯科学会）

症例報告コンペティション

2023年5月21日（日）10：10～12：20（130分）第1会場

「Foucus On 補綴歯科コラボレーション！」

：歯科医師と歯科技工士の連携により最善の治療像を探る」

【企画趣旨】補綴と技工は車の両輪の関係にある。すなわち、補綴診療にとって補綴医と歯科技工士との連携は必要不可欠であり、お互いの立場からその症例にとって最善の治療像を模索しながら、補綴装置の製作に結び付けていかなければならない。そこで、歯科医師と歯科技工士の2人1組で症例報告をしていただき、両者の共同作業としての集大成ともなる症例をご提示いただくコンペティションを企画する。発表者は公募により選拔し、会場内の視聴者による投票で最優秀賞を決定する。

- 座長：樋口 大輔（松歯大）
陸 誠（株式会社 コアデンタルラボ横浜）
発表者：1 西山 英史（日本臨床歯科学会）
高橋 健（日本臨床歯科学会）
2 兒玉 直紀（岡山大）
新町 愛子（関西支部）
3 服部麻里子（東京医歯大）
山谷 雄一（東京医歯大）
4 浅井 宏行（関西支部）
黒松 慎司（関西支部）
5 田中 晋平（昭和大）
古館 美弥（昭和大）
6 内山 徹哉（日本臨床歯科学会）
間中 道郎（日本臨床歯科学会）

専門医研修会

2023年5月21日（日）13：30～15：30（120分）第1会場

「補綴難症例に対する補綴歯科専門医の解決策を共有する その2

睡眠時無呼吸症候群の治療」

【企画趣旨】一般社団法人 日本歯科専門医機構が認定する補綴歯科専門医に求める要件の一つに「補綴歯科の難症例」に対応できる知識と技能を有する歯科医師がある。本研修は昨年共有した3つの病態に続き「睡眠時無呼吸症候群」に関する特徴・医療連携・口腔内装置の治療効果や留意すべき点などについて取り組んでい3名の若手の先生にご講演をいただき、専門医として睡眠時無呼吸症候群について修得すべき知識、実践的スキルと患者に対するケアを含めた情意領域などについてご解説をいただく。明日からの臨床に直結する内容となれば幸いである。

- 座長：河相 安彦（日大松戸）
榎原 絵理（九歯大）
講師：重田 優子（鶴見大）
石山 裕之（医歯大）
渡辺 崇文（九歯大）

歯科技工士セッション

2023年5月21日（日）9：00～10：00（60分）第3会場

「デジタルデンチャーの“いま”：デジタルデンチャーの導入、効果的な製作のために」

【企画趣旨】デジタルデンティストリーの普及に伴い、固定性補綴における歯科技工は、ジルコニアを中心にデジタル化が進んでおり、日常臨床では欠かすことのできない補綴装置になっている。一方、有床義歯補綴、いわゆる“デジタルデンチャー”は、固定性補綴装置に比べるとその普及率は低く、誰しもが取り組んでいる分野とは言い難い。

本セッションでは、デジタルデンチャーの第一人者である先生方にデジタルデンチャーの基礎知識と製作過程や臨床操作における特徴をご紹介いただき、デジタルデンチャーの導入に必要なステップをディスカッションできれば幸いである。

- 座長：金澤 学（医歯大）
松田 謙一（関西支部）
講師：竜 正大（東歯大）
吉田 馨太（関越支部）



歯科衛生士セッション

2023年5月21日（日） 11：20～12：20（60分）

第2会場

「歯科衛生士が学ぶべき口腔内スキャナーをはじめとする急速に進歩するデジタルデンティストリーの実際」

【企画趣旨】産業界のハイテクが歯科に応用され始め、近年のデジタルデンティストリーの進歩は目を見張るものがある。歯科技工においても従来からの鋳造法からCAD/CAMが広く使われ始めるようになり、加えて、精度の優れた汎用性の高い口腔内スキャナーが開発されフルデジタルワークフローも完成されつつあり、歯科補綴にパラダイムシフトをもたらそうとしている。

歯科衛生士においてもこの急速な進歩に遅れないよう、常に学び良質な医療を提供する必要がある。歯科補綴のDX推進、そして歯科衛生士による口腔内スキャナー活用の実際について学んで頂く。

座長： 近藤 尚知（岩手医大）

星 憲幸（神歯大）

講師： 田中 譲治（東関東支部）

吉久保典子（小池歯科医院）

ハンズオンセミナー1

2023年5月20日（土） 9：00～10：30／10：40～12：10（90分）

第4会場

「磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～」

【企画趣旨】磁性アタッチメントは支台に優しく取り外しが容易であるなど、超高齢社会においても有用で、保険収載もされ注目されている。しかるに、小型でシンプルな形状で磁力という特殊な維持力を利用しているため、技工操作や義歯への取り付けには特有なスキルが必要となる。そこで、前回に引き続き、好評であったハンズオンを開催する。補綴医として身に付けておくべき磁性アタッチメントの技工操作から取り付けまでの技能を習得して頂く。

講師： 鈴木 恭典（鶴見大）

ハンズオンセミナー2

2023年5月20日（土） 9：00～10：30／10：40～12：10（90分）

第5会場

「口腔内スキャナーの実践 Ver.5」

【企画趣旨】現在、口腔内スキャナーは補綴、インプラント、そして矯正など様々な用途で用いられている。さらに最新の機器においては、これまでできなかったう蝕の検知が可能になるなど、患者へのコミュニケーションツールとしても非常に有用である。一方、印象採得に特化した安価な機器も発売されるなど、二極化の様相を呈してきた。本学会では過去4回の学術大会において口腔内スキャナーのハンズオンセミナーを行ってきたが、先生方には是非とも日々進化を続ける口腔内スキャナーを実際に手にとり、進化を実感して頂きたい。

講師： 樋口 大輔（松歯大）

ハンズオンセミナー3

2023年5月20日（土） 14：10～15：40／16：00～17：30（90分）

第4会場

「ウェアラブル筋電計を用いたブラキシズム診断の実践」

【企画趣旨】2020年4月に保険収載された「睡眠時歯科筋電図検査」では、データロガー型ウェアラブル筋電計（株式会社ジーシー）により、スリーブラボを持たなくても睡眠時ブラキシズムの診断・評価が可能となった。本検査では、装置を患者に貸し出し、データを回収して専用ソフトで解析を行い、結果を患者にフィードバックできる。そのためにも、抽出された波形の種類やそれぞれの特徴、波形数の解釈についての理解が必要となる。

本セミナーでは、参加者の方にウェアラブル筋電計の使用法、測定された筋電図波形の観察法、波形の定量的解析結果の評価法について理解を深めていただき、睡眠時歯科筋電図検査を臨床で活かしていただきたい。

講師： 山口 泰彦（北大歯）

ハンズオンセミナー4

2023年5月20日（土） 14：10～17：30（200分）

第5会場

「包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー」

【企画趣旨】補綴歯科治療の機能と審美の長期的な安定のためには、補綴装置だけではなく、周囲軟組織に対する配慮が求められる。ペリオドンタルプラスチックサージェリーは、軟組織への代表的な介入手段であり、適切な診断に基づいて、適切な手技を用いれば、その効果はたいへん大きなものである。本セミナーでは、上皮下結合組織を用いた“天然歯根周囲の歯肉増生術”と“欠損部位に対する歯槽堤増大術”を取り上げ、その背景と手技の再確認を行いたい。

講師： 小田 師巳（岡山大）

園山 亘（岡山大）

ハンズオンセミナー5

2023年5月21日（日）9：00～12：00（180分）	第4会場
「Universal CAD（汎用CADソフト）を利用した部分床義歯モデリングのワークフロー」	
【企画趣旨】装置製作時にその難易度が低く，術者も補綴学に精通している場合は，歯科用CADによるワークフローの省力化は極めて有益である．他方，モデリングを通して補綴学への関心を深めるような場面や，試行錯誤を要するクリエイティブな場面では，逆に省力化を排した汎用ソフトが必要になる．本セミナーでは，Universal CADであるRhinoceros3Dを使った部分床義歯の基本技工術式に関するセッションを提供する．	
講師： 中野田紳一（株式会社インサイドフィールド）	

ハンズオンセミナー6

2023年5月21日（日）9：00～12：00（180分）	第5会場
「デジタルデンティストリーにおけるバーチャルWax Upの実践」	
【企画趣旨】本ハンズオンセミナーの目的は,IOSを用いたスキャンデータをもとにデジタルワックスアップ実習を通じ,将来必要な技術になると考えられる歯科医師自身による補綴装置のバーチャルデザイン的一端を学ぶことである．本セミナーでは,講師による症例供覧と受講者にPCを持参してもらいスキャンングした支台歯に対して,バーチャルワックスアップを実習する．	
講師： 植松 厚夫（日本臨床歯科学会）	
貞光謙一郎（日本臨床歯科学会）	
吉田 茂治（日本臨床歯科学会）	

教育講演1

2023年5月19日（金）16：00～17：00（60分）	第2会場
「歯科訪問診療で考慮すべき医療安全（Patient safety）」	
座長： 高橋 一也（大歯大）	
講師： 古屋 純一（昭和大）	

教育講演2

2023年5月21日（日）8：00～9：00（60分）	第2会場
「歯科臨床における感染予防策」	
座長： 中本 哲自（朝日大）	
講師： 河野 雅臣（歯科感染制御研究会）	

臨床研究セミナー

2023年5月21日(日)8:00～9:00(60分)	第3会場
「臨床研究論文の作成の基本」	
【企画趣旨】国際英文誌に臨床研究論文が掲載されるためには，研究デザイン（観察研究，介入研究）ごとに定められたガイドラインを遵守して原稿を作成する必要がある．本セミナーでは，論文原稿作成のポイントを本学会の英文機関誌（Journal of Prosthodontic Research）に掲載された論文を例に解説する．	
座長： 稲用友佳（医歯大）	
講師： 稲用友佳（医歯大）	
和田淳一郎（医歯大）	

臨床エクストリームセッション

2023年5月20日（土）18：20～19：20（60分）	第1会場
「オクルーザルベニアは有用な補綴装置となりうるか？」	
座長： 新谷 明一（日歯大）	
山本 恒一（医療法人スマイルプラン）	
講師： 大河 雅之（代官山アドレス歯科クリニック）	
山本 尚吾（ビアンコ エ ロッソ）	

イブニングセッション1

2023年5月20日（土）18：20～19：20（60分）	第2会場
「睡眠時無呼吸の口腔内装置についてリスク&ベネフィットの視点から適切な下顎位を考える」	
座長： 奥野健太郎（大歯大）	
発表者： 奥野健太郎（大歯大）	
石山 裕之（医歯大）	
鈴木 善貴（徳島大）	

イブニングセッション2

2023年5月20日（土）18：20～19：20（60分）

第3会場

「可撤性補綴装置の支台歯・対合歯の予後」

座長：白井 麻衣（鶴見大）

発表者：野川 敏史（北海道大）

辻岡 義崇（大阪大）

小田由香里（東歯大）

イブニングセッション3

2023年5月20日（土）18：20～19：20（60分）

第4会場

「インプラント体周囲骨内で起こっていること

動物実験・有限要素解析から見てきた研究結果を臨床現場に活かすために」

座長：神野 洋平（九州大）

発表者：黒嶋伸一郎（長崎大）

依田 信裕（東北大）

神野 洋平（九州大）

イブニングセッション4

2023年5月20日（土）18：20～19：20（60分）

第5会場

「モノリシックジルコニア補綴の勘所 ～ベーシックからアドバンスまで～」

座長：高江洲 雄（福歯大）

発表者：高岡 亮太（大阪大）

加我 公行（福歯大）

Meet the Experts

2023年5月20日（土）12：40～13：20（40分）

Meet the Experts会場

※申し込みが必要となります（詳細は[事前参加登録ページ](#)にてご確認ください。）

講師：植松 厚夫（日本臨床歯科学会）

横山 紗和子（昭和大）

山田 将博（東北大）

峯 篤史（大阪大）

笛木 賢治（医歯大）

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME

大会長挨拶

開催概要

参加登録

参加者へのご案内

座長・演者の皆様へ

ポスター発表
データ提出のご案内

演題募集

イブニングセッション/歯科
医師・技工士コラボレート
プレゼンテーション募集

日程・プログラム

単位取得について

認定医・専門医筆記試験

協賛募集

Program in English

会場案内

会員意見交換会について

市民フォーラム

関連リンク

単位取得について

1. 日本補綴歯科学会会員の皆様へ

バーコード付き会員証で学会参加登録、専門医研修会出席登録が可能ですので、現地参加をされる方は会員証を必ずご持参ください。本学会専門医の申請あるいは更新を希望する場合は、会員証のバーコードを読取機に通してください。

WEB参加者についてはWEB参加ログを確認の上、単位を付与いたします。

2. 専門医研修会参加単位登録

対象セッション： 臨床リレーセッション2（5月20日（土）16：00～18：00 第2会場）
専門医研修会（5月21日（日）13：30～15：30 第1会場）

※単位の付与は臨床リレーセッション2または専門医研修会受講で4単位となります。
（両方を受講いただくことは可能です。）

＜現地参加される方＞
セッション開始前およびセッション終了後に会場出口にて、会員証のバーコードを読取機に通してください。

＜WEB参加される方＞
視聴ログおよび終了後のアンケート回答にて単位取得が可能です。
Zoomウェビナーにてご視聴ください。

また、セッション開始10分後以降の入室およびセッション終了10分前以前に退室された場合、単位は取得できませんのでご注意ください。

3. 日歯生涯研修について

＜現地参加される方＞
本学術大会に会場にて参加（出席）した場合には、特別研修として10単位、受講研修として指定のセッションにつき30分1単位が取得できます。なお、会場にて単位登録するにあたり、ご自身の日歯ICカードを必ずご持参ください。日歯ICカードをお忘れの方は登録ができません。

＜WEB参加される方＞
本学術大会にWEBにて参加した場合は、特別研修として10単位、受講研修として指定のセッションにつき30分1単位が取得できます。

特別研修： WEB 閲覧メニュー画面の【日歯生涯研修（特別研修）単位登録はこちら】ボタンより参加者各自で個人の責任のもとご登録をお願いいたします。

受講研修： セッション開始時および開始10分後にチャットにて送信されるURLにアクセスし参加者各自で個人の責任のもとご登録をお願いいたします。

※単位の詳細は日本歯科医師会にお問い合わせください。

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp

Copyright © The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

<https://www.kwcs.jp/jps132/tani.html>[2023/06/21 10:08:49]

関連リンク

【会員の方】①クレジット支払、または②銀行振込（バンクチェック）でのお支払いになります。

申請書類一式が届き次第、事務局から順次、会員ページご登録のメールアドレス宛に請求案内させていただきます（会員ページよりお手続きください）。

7. 出題基準

[歯科補綴学教育基準改訂2006](#)

8. 試験問題の根拠となる資料

- 1) 歯科補綴学専門用語集 第5版. 東京：医歯薬出版；2019
- 2) 日本補綴歯科学会ホームページに掲載されているガイドライン・指針等
* 資料は下記日本補綴歯科学会ホームページ・学会刊行物＞ガイドライン等
(http://www.hotetsu.com/s4_03.html) からダウンロードできます。
 - 補綴歯科治療過程における感染対策指針2019
 - 歯科医療領域 3 疾患の診療ガイドライン2002
 - 症型分類マニュアル2016
 - 歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン2008
 - 歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン2008 別冊資料
 - 歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン 追補版2012
 - 有床義歯咀嚼機能検査
 - 有床義歯補綴診療のガイドライン2009改訂版
 - リラインとリベースのガイドライン2007
 - 軟質裏装材による下顎総義歯の裏装の指針
 - ノンクラスプデンチャーに関する現時点における公益社団法人日本補綴歯科学会としての見解
 - 摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床（PAP）の診療ガイドライン2011
 - 複製義歯の製作方法2014
 - ブラキシズムの診療ガイドライン 睡眠時ブラキシズム患者に対する各種の検査について2016
 - 『一般的な開業歯科医における顎関節症初期治療としてのスタビライゼーションスプリント』のデザインならびに作製方法に関するテクニカルアプレイザル
 - 顎関節症に関するガイドライン2002（日本補綴歯科学会誌2002，8月号 p577～p625）
 - AADRによるTMD基本声明（改訂版）（和訳）
 - 接着ブリッジのガイドライン2017 改訂版
 - 保険診療におけるCAD／CAM冠の診療指針 2014
 - 保険収載されたファイバーポストを用いた支台築造の診療指針
 - 接着ブリッジの製作方法2014
 - その他
- 3) 日本歯科医学会歯科診療ガイドラインライブラリに掲載されているガイドライン・指針等
* 資料は下記日本歯科医学会ホームページ＞歯科診療ガイドラインライブラリ
(<https://www.jads.jp/guideline/index.html>) からダウンロードできます。
 - 顎顔面補綴診療ガイドライン2019年度版
 - 顎関節症治療の指針2020
 - 顎補綴装置解説書（2019）

9. 試験結果の通知

後日郵送にて通知いたします。

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME

大会長挨拶

開催概要

参加登録

参加者へのご案内

座長・演者の皆様へ

ポスター発表
データ提出のご案内

演題募集

イブニングセッション/歯科
医師・技工士コラボレート
プレゼンテーション募集

日程・プログラム

単位取得について

認定医・専門医筆記試験

協賛募集

Program in English

会場案内

会員意見交換会について

市民フォーラム

関連リンク

協賛募集

この度の公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会におきまして、企業展示、広告掲載、セミナー共催、寄付の各項目にてご協賛いただける企業様・団体様を募集しております。

(1) 企業展示・書籍展示： 展示ブースにおける商品・機器展示ならびに書籍展示

(2) 広告掲載： 講演要旨集への広告掲載、大会ホームページバナーへの広告掲載

(3) セミナー共催： ランチョンセミナーの共催

(4) 寄付： 公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会開催経費の一部に充当

詳細が記載されました趣意書をお送りいたします。運営事務局までお問い合わせください。

趣意書の送信を希望する

お問い合わせ先

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp

Copyright © The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.



<https://www.kwcs.jp/jps132/sponser.html>[2023/06/21 10:09:51]



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME	Program in English
大会長挨拶	
開催概要	Information
参加登録	
参加者へのご案内	Schedule
座長・演者の皆様へ	
ポスター発表 データ提出のご案内	Program
演題募集	
イブニングセッション/歯科 医師・技工士コラボレート プレゼンテーション募集	Access Map
日程・プログラム	
単位取得について	Floor Guide
認定医・専門医筆記試験	
協賛募集	
Program in English	
会場案内	
会員意見交換会について	
市民フォーラム	
関連リンク	

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151 (内線234)

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp



Copyright © The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME
大会長挨拶
開催概要
参加登録
参加者へのご案内
座長・演者の皆様へ
ポスター発表 データ提出のご案内
演題募集
イブニングセッション/歯科 医師・技工士コラボレート プレゼンテーション募集
日程・プログラム
単位取得について
認定医・専門医筆記試験
協賛募集
Program in English
会場案内
会員意見交換会について
市民フォーラム
関連リンク

会場案内

会場案内図

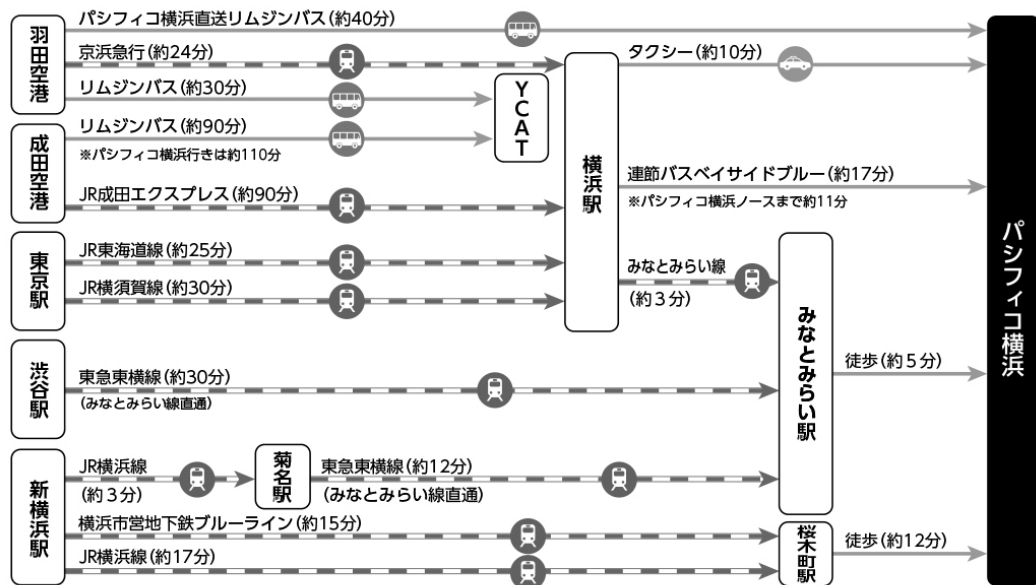
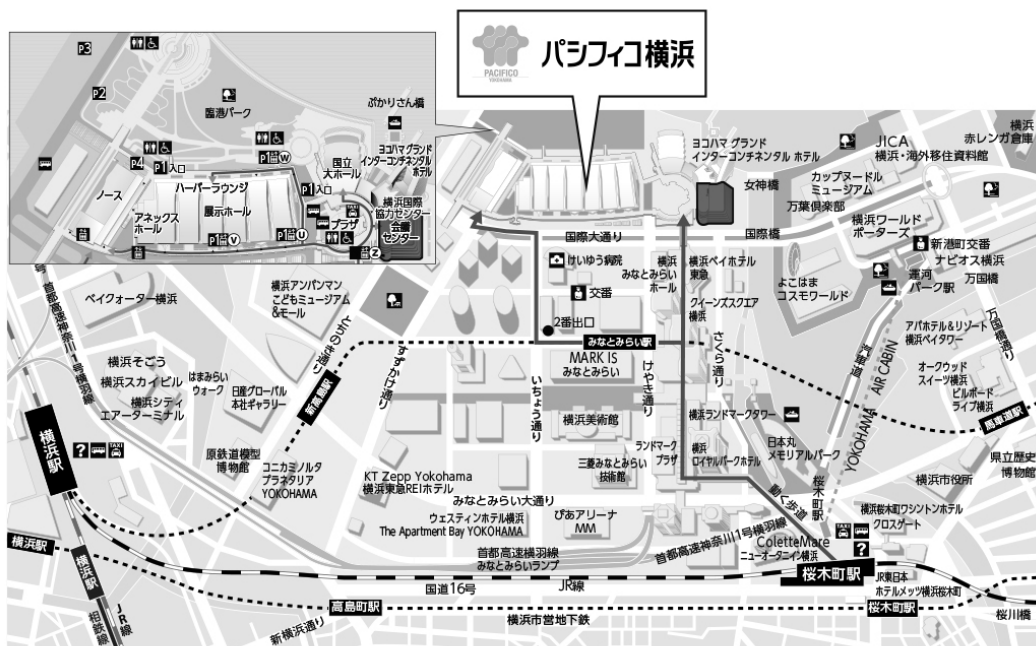
会場

[パシフィコ横浜](#)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1



〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1



学會事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL : 03-6722-6090 FAX : 03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL : 086-250-7681 FAX : 086-250-7682
E-mail : ips132@kwcs.jp



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME
大会長挨拶
開催概要
参加登録
参加者へのご案内
座長・演者の皆様へ
ポスター発表 データ提出のご案内
演題募集
イブニングセッション/歯科 医師・技工士コラボレート プレゼンテーション募集
日程・プログラム
単位取得について
認定医・専門医筆記試験
協賛募集
Program in English
会場案内
会員意見交換会について
市民フォーラム
関連リンク

会員意見交換会について

日 時：5月19日（金） 18：00～
会 場：横浜ロイヤルパークホテル 3F 鳳翔の間
会 費：14,000円
定 員：400名（定員に達し次第、締切となります。）
申込締切：2023年4月28日（金）
※懇親会はどなたでも参加可能です。
※事前申込制となります。当日受付は行いませんので、希望者は必ず事前登録を行ってください。

参加登録は[こちら](#)

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp



Copyright © The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME
大会長挨拶
開催概要
参加登録
参加者へのご案内
座長・演者の皆様へ
ポスター発表 データ提出のご案内
演題募集
イブニングセッション/歯科 医師・技工士コラボレート プレゼンテーション募集
日程・プログラム
単位取得について
認定医・専門医筆記試験
協賛募集
Program in English
会場案内
会員意見交換会について
市民フォーラム
関連リンク

市民フォーラム

市民フォーラム2023

開催形式：WEB配信
配信期間：2023年5月19日（金）～6月1日（木）まで

「補綴歯科専門医」って何？
配信期間は終了いたしました。



大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp

Copyright © The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.



公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

－ 設立90周年記念大会 －

HOME	関連リンク
大会長挨拶	
開催概要	
参加登録	
参加者へのご案内	
座長・演者の皆様へ	
ポスター発表 データ提出のご案内	
演題募集	
イブニングセッション/歯科 医師・技工士コラボレート プレゼンテーション募集	
日程・プログラム	
単位取得について	
認定医・専門医筆記試験	
協賛募集	
Program in English	
会場案内	
会員意見交換会について	
市民フォーラム	
関連リンク	

- [公益社団法人日本補綴歯科学会](#)
- [昭和大学歯学部 歯科補綴学講座](#)
- [鶴見大学歯学部歯学科 有床義歯補綴学講座](#)

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp



Copyright © The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

関連リンク

お問い合わせ先

大会事務局
昭和大学歯学部 歯科補綴学講座
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
Tel 03-3787-1151（内線234）

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps132@kwcs.jp

公益社団法人日本補綴歯科学会第132回学術大会 運営事務局
株式会社キョードープラス
TEL：086-250-7681 / FAX：086-250-7682
E-mail: jps132@kwcs.jp

Copyright © The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

第 132 回学術大会参加の皆様へ

1. 参加登録について

<事前参加登録期間>

前期登録 2023 年 4 月 18 日（火）正午まで

後期登録 2023 年 4 月 18 日（火）正午～5 月 21 日（日）正午まで

<現地当日受付>

当日現地会場での参加登録は行いません。

オンラインでの受付は学会当日も可能ですので、ご自身のモバイル端末等にてご登録をお願いいたします。

※学術大会ホームページ（<https://www.kwcs.jp/jps132/>）から参加登録が可能です。

2. 参加費について

第 132 回学術大会参加費		
参加区分	前期登録	後期登録
正会員	15,000 円	20,000 円
賛助会員	15,000 円	20,000 円
準会員（一般）	5,000 円	7,500 円
準会員（学部学生）	1,000 円	2,000 円
非会員（一般）	20,000 円	25,000 円
非会員（学部学生）	2,000 円	3,000 円
非会員（共催学会の会員）*	15,000 円	20,000 円
非会員（歯科技工士）	2,000 円	3,000 円
非会員（歯科衛生士）	2,000 円	3,000 円
登録歯科技工士 ※	無料	
名誉会員	無料	
臨時会員	無料	

* 共催学会：日本臨床歯科学会，東京都歯科技工士会，日本顎咬合学会，日本義歯ケア学会，日本口腔インプラント学会，日本歯科衛生士会，日本歯科技工学会，日本歯科理工学会，日本接着歯学会，日本歯科保存学会，日本デジタル歯科学会

※登録歯科技工士は，日本補綴歯科学会へ登録料 2,000 円（1 年間有効・4 月から翌年 3 月まで）を支払うことで，本会学術大会に無料で参加できます。詳細は，「登録歯科技工士申請案内（https://www.hotetsu.com/c_1828.html）」をご確認ください。

3. 参加章（ネームカード）・プログラム・抄録集について

<前期登録期間中（4 月 18 日（火）正午まで）に参加登録がお済みの方>

参加章（ネームカード）とプログラム・抄録集を**事前**に送付いたしますので，当日はお忘れなくご持参ください。現地参加をされる際は，ネームカードにご氏名・ご所属を記入のうえ，身に付けてご入場ください。ネームカードケースは参加受付前の記名台にご用意しておりますので，各自お取りください。

＜後期登録期間中（4月18日（火）正午～5月21日（日）正午まで）に参加登録をされた方＞

現地参加をされる方は、会期当日、**会場にて参加章（ネームカード）とプログラム・抄録集をお渡しいたします。**受付にてお名前をお申し付けください。WEB参加をされる方は、会期終了後に参加章（ネームカード）とプログラム・抄録集を郵送させていただきます。

4. WEB視聴用ID・パスワードについて

WEBでの視聴、閲覧には参加登録時に発行されるID、パスワード（ご自身で設定したパスワード）が必要です。IDおよびパスワードを入力してログインの上、視聴してください。

5. 参加証明書・領収書について

参加登録システムのマイページより、ご自身にてダウンロードしてください。

6. 日本補綴歯科学会会員の皆様へ

バーコード付き会員証で学会参加登録、専門医研修会出席登録が可能ですので、現地参加をされる方は会員証を必ずご持参ください。

本学会専門医の申請あるいは更新を希望する場合は、会員証のバーコードを読取機に通してください。WEB参加者についてはWEB参加ログを確認の上、単位を付与いたします。

7. 専門医研修会参加単位登録

対象セッション： 臨床リレーセッション2（5月20日（土）16：00～18：00 第2会場）

専門医研修会（5月21日（日）13：30～15：30 第1会場）

※単位の付与は臨床リレーセッション2または専門医研修会受講で4単位となります。

（両方を受講いただくことは可能です。）

＜現地参加される方＞

セッション開始前およびセッション終了後に会場出口にて、会員証のバーコードを読取機に通してください。

＜WEB参加される方＞

視聴ログおよび終了後のアンケート回答にて単位取得が可能です。

Zoomウェビナーにてご視聴ください。

また、セッション開始10分後以降の入室およびセッション終了10分前以前に退室された場合、単位は取得できませんのでご注意ください。

8. 日歯生涯研修について

＜現地参加される方＞

本学術大会に会場にて参加（出席）した場合には、特別研修として10単位、受講研修として指定のセッションにつき30分1単位が取得できます。なお、会場にて単位登録するにあたり、ご自身の日歯ICカードを必ずご持参ください。日歯ICカードをお忘れの方は登録できません。

＜WEB参加される方＞

本学術大会にWEBにて参加した場合は、特別研修として10単位、受講研修として指定のセッションにつき30分1単位が取得できます。

特別研修：WEB閲覧メニュー画面の【日歯生涯研修（特別研修）単位登録はこちら】ボタンより参加者各自で個人の責任のもとご登録をお願いいたします。

受講研修：セッション開始時および開始 10 分後にチャットにて送信される URL にアクセスし参加者各自で個人の責任のもと、ご登録をお願いいたします。
※単位の詳細は日本歯科医師会にお問い合わせください。

9. クローク

場所：パシフィコ横浜 会議センター 1F エントランスホール

時間：5 月 19 日（金） 13：00 ～ 17：10

5 月 20 日（土） 8：00 ～ 19：30

5 月 21 日（日） 7：30 ～ 16：20

10. ランチョンセミナー整理券

ランチョンセミナーでの混雑を解消するため、当日開催するランチョンセミナーの整理券を下記のとおりに配布いたします。

場所：パシフィコ横浜 会議センター 2F エントランスホール

時間：5 月 20 日（土） 8：00 ～ 12：00

5 月 21 日（日） 7：30 ～ 12：00

※整理券がなくなり次第配布終了とさせていただきます。

※各セミナー会場では、整理券をお持ちの方から優先的にご入場いただけます。ただし整理券はランチョンセミナー開始 5 分後に無効となりますので予めご了承ください。

11. 学会会場および WEB 視聴画面におけるビデオ・写真撮影等は、発表者の著作権保護のため禁止させていただきます。尚、特別な事由がある場合は大会長に申し込んでください。

12. 会員意見交換会

日時：5 月 19 日（金） 18：00 ～

会場：横浜ロイヤルパークホテル 3F 鳳翔の間

会費：14,000 円

会員意見交換会はどなたでも参加可能です。会員以外の方も是非ご参加ください。

当日受付はございません。事前申し込み制となりますのでご注意ください。

13. コピー・FAX・Wi-Fi

コピー・FAX：パシフィコ横浜 会議センター 1F

セルフビジネスセンターにて有料でご利用可能です。

Wi-Fi：館内にて無料無線 LAN（Wi-Fi）がご利用いただけます。

SSID：FREE-PACIFICO ※パスワードはありません。

14. WEB 視聴方法について

(1) 学術大会ホームページ (<https://www.kwcs.jp/jps132/>) より事前参加登録をしてください。
参加登録締切：2023 年 5 月 21 日（日）正午までです。

(2) 参加登録時に発行される ID、パスワード（ご自身で設定したパスワード）にて、学術大会ホームページの WEB 視聴ページよりログインいただき、ご視聴ください。ライブ配信

は Zoom ウェビナーを使用いたします。各個人で、インターネット環境が安定した場所からご参加ください。

＜推奨環境＞

システム要件・インターネット接続 – ブロードバンド有線またはワイヤレス

(3G または 4G/LTE)

OS • Windows 7 以降

 • MacOS 10.9 以降

ブラウザ • Microsoft Edge 最新版

 • Mozilla Firefox 最新版

 • Safari 最新版

 • Google Chrome 最新版

(3) WEB 視聴期間：2023 年 5 月 19 日（金）～ 5 月 21 日（日）

(4) ライブ配信セッションは学術大会のタイムテーブルに沿ってリアルタイムのライブ配信となりますので、時間を過ぎると視聴できません。

また、ポスター発表のオンデマンド配信閲覧も会期中のみとなります。

(5) Zoom ウェビナーの Q&A より質問を受付させていただきます。質問がある方は Q&A より質問をお送りください。時間の都合で採用されない場合もございますのでご了承ください。

(6) WEB 講演の録画や録音、写真撮影（画面のスクリーンショット含む）は決して行わないでください。

個人情報に関する内容に関しては本人・団体の許可なく、学会の中で知り得たことを外部に情報拡散しないでください。

(7) その他、視聴方法の詳細については学術大会ホームページ (<https://www.kwcs.jp/jps132/>) をご確認ください。

15. アンケートについて

学術大会のアンケートについて、Google ドライブのサービスのひとつである、Google フォームを用いてご回答いただけますので是非ご活用ください。また、スマートフォンをお持ちでない場合は、抄録集末尾に添付されています「日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 アンケート」をご利用ください。

抄録ページに掲載されております QR コードより、各企画セッション毎のアンケートにも、ご協力をお願いいたします。

座長・演者の先生方へ

課題口演・一般口演発表

1. 発表時間

- (1) 課題口演発表 10 分，質疑応答 10 分
- (2) 一般口演発表 8 分，質疑応答 2 分

2. 発表方法

- (1) 口演発表について
 - ①発表時間は上記を参照してください。質疑に関しては座長の指示に従ってください。
 - ②口演中は演台上の講演タイマーの緑色ランプが点灯します。
1 分前に黄色ランプ，終了時に赤色ランプが点灯しますので，時間を厳守してください。
 - ③次演者は，所定の場所（次演者席）にてお待ちください。
- (2) プレゼンテーションについて
 - ① PC を使用する発表は全て PC による発表（単写）とします。
発表時は，演台上のマウスとキーボードにてスライドを操作してください。
 - ②スクリーン投影にあたっては，スクリーンサイズは 16：9 になります
▶スライドショーの項目で“発表者ツールを使用する”のチェックを外してください。
- (3) ノート，次のスライド，発表経過時間などを確認できる“発表者ツール”は，セッション進行の遅滞を招く恐れがあるため，使用できません。
会場にプリンターはございません。あらかじめ原稿をご用意ください。
- (4) Windows にて発表データを作成された場合は，USB フラッシュメモリにてご提出ください。
- (5) 今回ご用意しておりますコンピュータの OS と PowerPoint は以下のとおりです。
OS：Windows 10
アプリケーション：Microsoft 365
- (6) Macintosh をご使用の場合は，ご自身の PC をご持参ください。
- (7) **発表予定時刻の 1 時間前までに，PC 受付にて発表データの試写を行ってください。**
- (8) スライドの 1 枚目は，発表タイトルと発表者氏名を明記した表紙ページとしてください。

3. PC 受付

場所：パシフィコ横浜 会議センター 1F エントランスホール

時間：5 月 20 日（土） 8：00 ～ 18：00

5 月 21 日（日） 7：30 ～ 13：30

※ 5/19（金）にご講演の方は，会場左前方のオペレーター席にお越しください。

4. データでお持込の方へ

- (1) Microsoft PowerPoint 2013 以降で作成し，次の標準フォントをご使用ください。
[日本語] メイリオ，MS ゴシック，MSP ゴシック，MS 明朝，MSP 明朝，游ゴシック，游明朝

- [英語] Arial, Arial Black, Century, Century Gothic, Times New Roman
- (2) アニメーションおよびビデオファイルは使用可能ですが、Windows の初期設定で動作可能なことが条件です。
 - (3) 音声の出力には対応しておりません。
 - (4) 発表後のデータは、事務局で責任を持って消去いたします。

5. PC をご持参いただく方へ

- (1) 使用機種、OS、アプリケーションに制限はありませんが、Surface, iPad その他タブレット端末については、動作の保証はできかねます。
- (2) モニター出力は HDMI または D-Sub15 ピンのみです。
Macintosh や一部の薄型ノートパソコンでは、別途外部出力コネクタが必要な場合がございますので、必ず各自でご用意ください。
- (3) ビデオファイルの使用も可能ですが、PC 受付にて必ず動作確認を行ってください。
- (4) スクリーンセーバーならびに省電力設定、パスワードはあらかじめ解除しておいてください。
- (5) 電源アダプターを忘れずにお持ちください。
- (6) 故障などのトラブルに備え、バックアップデータをお持ちください。
- (7) PC 受付での試写後、発表時間の 20 分前までに、会場左前方の PC オペレーター席に PC をお持ちください。発表終了後は、この席にて PC をお返しいたします。

6. 利益相反 (COI) について

利益相反の状態について日本補綴歯科学会のホームページ (http://www.hotetsu.com/c_702.html) を参照いただき発表スライドに開示してください。

● **開示スライド例**

講演時に開示するスライドの例です。

演題名 発表者名 公益社団法人 日本補綴歯科学会 COI 表示 筆頭発表者名: ○○○○ 演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などはありません。	演題名 発表者名 公益社団法人 日本補綴歯科学会 COI 表示 筆頭発表者名: ○○○○ 演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などとして、 ① 顧問 ② 監査役・監事 ③ 特許使用料 ④ 講演料 ⑤ 講演料 ⑥ 受託研究・共同研究費 ⑦ 留学費 ⑧ 寄付講座所属 ⑨ 贈答品などの報酬 「有」に該当する項目を記載 金額の記載は不要 例: 受託研究費: ○○○株式会社 例: 本研究は○○○株式会社からの 受託研究により行われた。 様式1: 筆頭発表者のCOI申告書を事務局に提出する。	演題名 発表者名 公益社団法人 日本補綴歯科学会 COI 表示 筆頭発表者名: ○○○○ 本演題の筆頭発表者は企業に所属しており、研究費および給与等は○○○株式会社により支給されています。
様式 1 - A 演題発表に関連し、開示すべき COI 関係がない場合	様式 1 - B 演題発表に関連し、開示すべき COI 関係がある場合	様式 1 - C 企業発表の場合

7. 質疑応答について

<現地参加される方>

- (1) 質問者は座長の指示に従い、所定のマイクで所属、氏名を明らかにして要領よく簡潔に質疑を行ってください。
- (2) 質問される方は、予め質問用マイクの付近にお越しください。
円滑な進行にご協力をお願いします。

<WEB 参加される方>

Zoom ウェビナーの Q&A より質問を受付させていただきます。質問がある方は Q&A より質問をお送りください。時間の都合で採用されない場合もございますのでご了承ください。

ポスター発表

1. ポスター討論

2023年5月20日(土) 12:30～13:30 (演題番号末尾が奇数の演題)

2023年5月21日(日) 12:20～13:20 (演題番号末尾が偶数の演題)

2. 会場

会議センター 5F 501+502

3. 発表方法

ポスター発表は下記の発表形式といたします。

現地会場：ポスター討論

WEB：オンデマンド配信 ※配信期間は会期中 5/19(金)～21日(日)

現地への来場およびオンデマンド配信データの提出をもって発表実績となります。

現地会場ではポスターを掲示し、ポスター討論を行ってください。

オンデマンド配信用データの提出だけでは発表実績となりません。

(現地への来場がない場合は演題取り下げとさせていただきます。)

(1) 展示について

20日、21日の2日連続して展示していただきます。貼り替えはありません。

①展示用に、横90cm×縦210cmの展示板を用意します。

②右図の網掛けの範囲内に展示してください。

③大会事務局で展示板に演題番号を用意します。

表題、氏名、所属は発表者自身が用意してください。

また、ポスターの右上隅に発表者の写真(L版)を掲示してください。

④ポスターの展示板への貼り付けは PUSH ピンを使用し、両面テープなどの粘着テープは使用しないでください。PUSH ピンは会場に用意します。

(2) ポスター中に COI 該当の有無を開示してください。

(3) ポスター討論(質疑応答)について

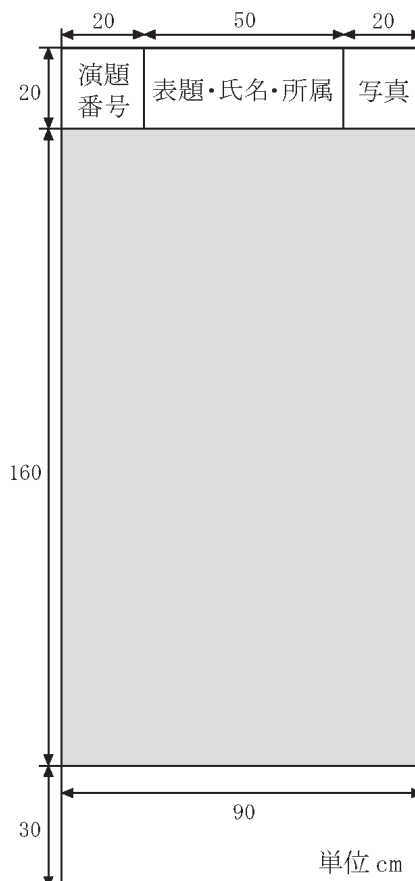
発表者は、上記のポスター討論の時間中にポスターの横に待機し、質疑応答を行ってください。また、この時間内は会場内に用意しておりますリボンを胸に付けてください。不在時はリボンをポスターに留めておいてください。

4. ポスターの掲示・撤去

以下の期間中に行ってください。

(1) 掲示 2023年5月20日(土) 8:00～9:00

(2) 撤去 2023年5月21日(日) 14:30～15:30
(15:30以降は事務局で処分いたします)



5. オンデマンドデータ登録について

(1) 登録データ形式

- PDF データをご登録ください.
- 1 枚ものでも複数のスライドでもどちらでも結構です.
- 複数枚で作成の場合, スライド枚数は 20 枚以内とします.

(2) 登録方法

登録方法の詳細は学術大会ホームページ (<https://www.kwcs.jp/jps132/>) をご確認ください.

(3) 登録締切

2023 年 4 月 20 日 (木) まで

公益社団法人日本補綴歯科学会 第132回学術大会 日程表

5月19日（金）

	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	横浜ロイヤルパークホテル
	総会 日本歯科医学会会長懇談会 教育講演1 (現地+ライブ配信) 3F 301+302	認定医・専門医筆記試験 (現地) 3F 303+304	プレス説明会 (現地) 4F 414+415	会務連絡会, 理事会, 委員長会 (現地) 4F 411+412	会員意見交換会 3F 鳳翔の間
10:00				会務連絡会	
11:00				理事会	
12:00				委員長会	
13:00	総会受付				
14:00	総会	認定医・専門医筆記試験 受付			
15:00		認定医・専門医 筆記試験			
16:00	日本歯科医学会会長懇談会				
17:00	教育講演1 歯科訪問診療で考慮すべき 医療安全 (Patient safety) 座長: 高橋一也 (大歯大) 講師: 古屋純一 (昭和大)		プレス説明会		
18:00					会員意見交換会
19:00					
20:00					
21:00					

公益社団法人日本補綴歯科学会 第132回学術大会 日程表

5月20日(土)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	ポスター会場	展示会場	Meet the Experts	
	(現地+ライブ配信) 1F メインホール	(現地+ライブ配信) 3F 301+302	(現地) 3F 303+304	(現地) 4F 414+415	(現地) 4F 411+412	(現地+オンデマンド配信) 5F 501+502	(現地+ホームページ) 5F ホワイエ 511+512	(現地) 4F 416+417	
8:00									
						ポスター 貼付			
9:00	開会式					ポスター 閲覧			
	課題口演 1 Smart prosthodontics 演題：課題 1～3 座長：木本克彦（神歯大）	課題口演 2 臨床エビデンス 演題：課題 4～6 座長：河相安彦（日大松戸）	課題口演 3 バイオロジー 演題：課題 7～9 座長：二川浩樹（広島大）	ハンズオンセミナー 1-1 磁性アタッチメントを 習得する～技工操作か ら取り付けまで～ 講師：鈴木恭典（鶴見大） 協賛：(株)モリタ (株)ケディカ	ハンズオンセミナー 2-1 口腔内スキャナーの実 践 Ver.5 講師：樋口大輔（松歯大） 協賛：(株)松風 ノーベル・バイオケ ア・ジャパン(株) 日本ビストンリング(株)				
10:00									
	理事長講演 補綴歯科専門医として社会と繋がる 一補綴の価値のさらなる創出に向けて 座長：馬場一美（昭和大） 講師：窪木拓男（岡山大）					ポスター 閲覧			
11:00	シンポジウム 1 補綴の原点である咬合 を極める 座長：山下秀一郎（東歯大） 谷田部 優（東京支部） シンポジスト： 重本修尚（鶴見大） 上田秀朗（九州支部） 中村健太郎 （東海支部）	臨床リレーセッション 1 アンテリアハイパーファンク ションにどう対応するか？ ーその病因学と補綴治療の キーポイントー 座長：若林則幸（医歯大） 多田紗弥夏 （シンガポール国立大学） 講師：荻野洋一郎（九州大） 大山哲生（日本大） 中野 環（大阪大）	一般口演 1：口腔機能 1 演題：01-1～01-3 座長：水橋 史（日歯大新潟） 一般口演 2：口腔機能 2 演題：01-4～01-6 座長：服部佳功（東北大） 一般口演 3：ニューロ サイエンス 演題：01-7～01-9 座長：小野高裕（大歯大）	ハンズオンセミナー 1-2 磁性アタッチメントを 習得する～技工操作か ら取り付けまで～ 講師：鈴木恭典（鶴見大） 協賛：(株)モリタ (株)ケディカ	ハンズオンセミナー 2-2 口腔内スキャナーの実 践 Ver.5 講師：樋口大輔（松歯大） 協賛：(株)松風 ノーベル・バイオケ ア・ジャパン(株) 日本ビストンリング(株)				
12:00									
13:00	ランチョンセミナー 1 座長：小見山 道（日大松戸） 講師：飯田 崇（日大松戸） 協賛：サンスター(株)	ランチョンセミナー 2 座長：櫻井 薫（東京支部） 講師：上田貴之（東歯大） 協賛：グラフ・スミタイン・コ ンシューマー・ヘルスケア・ジャパ ン(株)	ランチョンセミナー 3 講師：細川隆司、正木千尋 座長：水橋 史（日歯大新潟） 協賛：ノーベル・バイオケ ア・ジャパン(株)	ランチョンセミナー 4 講師：中野忠彦 （日本臨床歯科学会） 協賛：(株)ジーシー	ランチョンセミナー 5 講師：荒井昌海 （医歯薬会エムス歯科クリニック） 協賛：デンツプライシロナ(株)	ポスター 討論 （演題番号 末尾が奇数 の演題）	企業展示	Meet the Experts	
	一般口演 4: バイオロジー・ バイオマテリアル 演題：01-10～01-12 座長：魚島勝美（新潟大）	一般口演 5： クラウンブリッジ 演題：01-13～01-15 座長：新谷明一（日歯大）	一般口演 6：有床義歯 1 演題：01-16～01-18 座長：山森徹雄（奥羽大）						
14:00									
15:00	海外特別講演 補綴歯科におけるエビ デンスに基づく治療計 画は現実的か、それと も錯覚にすぎないか 座長：細川隆司（九歯大） 横山敦郎（北海道大） 講師： Bjarni E. Pjetursson （University of Geneva）	診療ガイドライン委員会 セミナー 義歯のリライン Update 座長：西村正宏（鹿児島大） 松香芳三（徳島大） シンポジスト： 村田比呂司（長崎大） 河相安彦（日大松戸） 長谷川陽子（新潟大）	一般口演 7：有床義歯 2 演題：01-19～01-21 座長：大久保力廣（鶴見大） 一般口演 8：有床義歯 3 演題：01-22～01-24 座長：武部 純（愛院大） 一般口演 9：有床義歯 4 演題：01-25～01-27 座長：上田貴之（東歯大）	ハンズオンセミナー 3-1 ウェアラブル筋電計を 用いたブラキシズム診 断の実践 講師：山口泰彦（北海道大） 協賛：(株)ジーシー	ハンズオンセミナー 4 包括的補綴歯科治療に 必須なペリオドンタル プラスチックサー ジェリー 講師：小田節巳（岡山大） 岡山 亘（岡山大） 協賛：(株)松風 ビューフレディ・ジャパン(同) ペントロンジャパン(株) クインテッセンス出版(株)	ポスター 閲覧			
16:00	メインシンポジウム 臨床へ実装される バイオロジー研究 ～研究室から診療室へ～ 座長：足田一洋（北医療大） 江草 宏（東北大） シンポジスト： 澤瀬 隆（長崎大） 窪木拓男（岡山大） 吉田靖弘（北海道大） 二川浩樹（広島大）	臨床リレーセッション 2 （専門医研修単位認定 対象セッション） テレスコープ義歯 ー臨床現場における有効 な活用方法を考えるー 座長：山下秀一郎（東歯大） 田中康治（順徳大） 講師：都築 尊（福歯大） 横原絵理（九歯大） 田坂彰規（東歯大）	一般口演 10：症例 演題：01-28～01-30 座長：萩原芳幸（日本大） シンポジウム 2 どちらを使う？ニケイ 酸リチウムガラスとジ ルコニアの徹底比較 座長：小峰 太（日本大） 南 弘之（鹿児島大） シンポジスト： 伴 清治（愛院大） 猪越正直（医歯大） 大谷恭史（関西支部）	ハンズオンセミナー 3-2 ウェアラブル筋電計を 用いたブラキシズム診 断の実践 講師：山口泰彦（北海道大） 協賛：(株)ジーシー					
17:00									
18:00									
19:00	臨床エクストリームセッション オクルーガルベニアは有用 な補綴装置となりうるか？ 座長：新谷明一（日歯大） 山本恒一（日歯大） 講師：大河雅之（日歯大） 山本尚吾（日歯大）	イブニングセッション 1 睡眠時無呼吸の口腔内装置につ いてリスク&ベネフィットの視 点から適切な下顎位を考える コーディネーター： 奥野健太郎（大歯大）	イブニングセッション 2 可撤性補綴装置の支台 歯・対合歯の予後 コーディネーター： 白井麻衣（鶴見大）	イブニングセッション 3 インプラント体周囲骨内 で起こっていること 動物実験・有限要素解析か ら見えてきた研究結果を 臨床現場に活かすために コーディネーター： 神野洋平（九州大）	イブニングセッション 4 モノリシックジルコニア 補綴の勘所～ペーシック からアドバンストまで～ コーディネーター： 高江洲 雄（福歯大）				

公益社団法人日本補綴歯科学会 第132回学術大会 日程表

5月21日(日)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	ポスター会場	展示会場
	(現地＋ライブ配信) 1F メインホール	(現地＋ライブ配信) 3F 301+302	(現地) 3F 303+304	(現地) 4F 414+415	(現地) 4F 411+412	(現地＋オンデマンド配信) 5F 501+502	(現地＋ホームページ配信) 5F ホワイエ 511+512
8:00		教育講演2 歯科臨床における 感染予防策 座長：中本哲自（朝日大） 講師：河野雅臣 （歯科感染制御研究会）	臨床研究セミナー 臨床研究論文の 作成の基本 座長：稲用友佳（医歯大） 講師：稲用友佳（医歯大） 和田淳一郎（医歯大）				
9:00	特別講演 新型コロナウイルス感染症 パンデミックの終息に 向けて 座長：馬場一美（昭和大） 講師：二木芳人（昭和大医）	臨床スキルアップセミナー 義歯調整の勘所 座長：村田比呂司（長崎大） 水口俊介（医歯大） 講師：都築 尊（福歯大） 木本 統（愛院大）	歯科技工士セッション デジタルデンチャーの"いま": デジタルデンチャーの導入、 効果的な製作のために 座長：金澤 学（医歯大） 松田謙一（関西支部） 講師：竜 正大（東歯大） 吉田賢太（関越支部）	ハンズオンセミナー5 部分床義歯完全デジタル ワークフローのための ボックスジョイントテク ニック 講師：中野田紳一 （㈱インサイドフィールド） 協賛：㈱エクセル歯科研究所 こばやし歯科クリニック （㈱デンタルデジタルオ ペレーション ㈱六甲歯研	ハンズオンセミナー6 デジタルデンティスト リーにおけるバーチャル Wax Up の実践 講師：植松厚夫 貞光謙一郎 吉田茂治 （日本臨床歯科学会） 協賛：PLANMECA OY	ポスター 閲覧	企業展示
10:00	症例報告コンペティション Focus On 補綴歯科コ ラボレーション！ 座長：樋口大輔（松歯大） 陸 誠（西関東支部） 発表者： 西山英史・高橋 健 （日本臨床歯科学会） 兒玉直紀（岡山大）・ 新町愛子（関西支部） 服部麻里子・山谷雄一 （医歯大） 浅井宏行・黒松慎司 （関西支部） 田中晋平・古館美弥 （昭和大） 内山徹哉・間中道郎 （日本臨床歯科学会）	シンポジウム3 リアルワールドデータの 歯科における利活用 座長：池邊一典（大阪大） 笛木賢治（医歯大） シンポジスト： 山本陵平（大阪大） 豆野智昭（大阪大）	一般口演11：インプラント1 演題：02-1～02-3 座長：倉田英紀（北医療大）				
11:00			一般口演12：インプラント2 演題：02-4～02-6 座長：前川賢治（大歯大）				
12:00		歯科衛生士セッション 歯科衛生士が学びべき口腔内スキャ ナーをはじめとする急速に進歩する デジタルデンティストリーの実態 座長：近藤尚知（愛院大） 星 憲幸（神歯大） 講師：田中謙治（東関東支部） 吉久保典子（小池歯科医院）	シンポジウム4 シングルセル解析とバイオフィ マティクスで拓く補綴歯科学研究 ～単一細胞から組織発生・再生のメ カニズムを理解する～ 座長：秋葉陽介（新潟大） 大島正充（徳島大） シンポジスト： 大庭伸介（大阪大） 大野充昭（岡山大）				
13:00	ランチョンセミナー6 講師：丸尾勝一郎（東京支部） 協賛：ストローマン・ジャバ ン㈱	ランチョンセミナー7 座長：村田比呂司（長崎大） 講師：二川浩樹（広島大） 協賛：Etak 協議会	ランチョンセミナー8 講師：新保秀仁（鶴見大） 協賛：クルツアー ジャパン㈱	ランチョンセミナー9 講師：木村正人 （(医)きむら歯科医院） 協賛：㈱松風	ランチョンセミナー10 座長：鮎川保則（九州大） 講師：今井実喜生（九州大） 協賛：京セラ㈱	ポスター 討論 （演題番号 末尾が偶数 の演題）	
14:00	専門医研修会 （専門医研修単位認定 対象セッション） 補綴難症例に対する補綴 歯科専門医の解決策を共 有する その2 睡眠時無呼吸症患者の治療 座長：河相安彦（日大松戸） 横原絵理（九歯大） 講師：重田優子（鶴見大） 石山裕之（医歯大） 渡辺崇文（九歯大）	臨床リレーセッション3 現代補綴の到達点：支台 歯形成から補綴装置装着 までのステップ 座長：土屋賢司 （日本臨床歯科学会） 鮎川保則（九州大） 講師：千葉豊和 瀬戸延泰 伊藤雄策 （日本臨床歯科学会）	シンポジウム5 歯科金属アレルギー診療 指針に向かう道標 座長：江草 宏（東北大） 峯 篤史（大阪大） シンポジスト： 矢上晶子（藤田医科大） 加治屋幹人（広島大） 正木千尋（九歯大） 秋葉陽介（新潟大）			ポスター 閲覧	
15:00						ポスター 撤去	
16:00	閉会式 表彰式						
17:00							

■公益社団法人日本補綴歯科学会 第 132 回学術大会

ー設立 90 周年記念大会ー

■メインテーマ

補綴の未来，歯科の未来．“Society 5.0 に向けたイノベーションの創出”

■理事長講演

5 月 20 日（土） 第 1 会場 10：10～10：50

補綴歯科専門医として社会と繋がるー補綴の価値のさらなる創出に向けてー

座長：馬場 一美（昭和大）

講師：窪木 拓男（岡山大）

2023 年 6 月に開催される総会および新理事による理事会を経て，岡山大学学術研究院医歯薬学域インプラント再生補綴学分野の窪木拓男教授が第 40 代理事長に就任される．

本講演では「補綴歯科専門医として社会と繋がるー補綴の価値のさらなる創出に向けてー」と題して，本会の悲願である標榜可能な専門医制度実現後の本会のあり方だけではなく，若手会員にとって夢のある未来の学会像についてもお示しいただく．

（座長 馬場一美）

■特別講演

5 月 21 日（日） 第 1 会場 9：00～10：00

新型コロナウイルス感染症パンデミックの終息に向けて

座長：馬場 一美（昭和大）

講師：二木 芳人（昭和大医）

新型コロナウイルス感染症は，政府が感染症法の分類を 5 類感染症へと移行することを決定し，COVID-19 の存在を認めながら種々の規制緩和・社会経済活動の復帰に舵を切りつつある．本特別講演では，感染症学をご専門とし，さまざまなメディアでご活躍されている昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門の二木芳人教授をお迎えし，超高齢社会にある我が国におけるウィズコロナ政策について，我々が進むべき方向性をお示しいただくこととする．

（座長 馬場一美）

■海外特別講演

5月20日(土) 第1会場 14:10～15:40

Is evidenced based treatment planning in prosthetic dentistry realistic or only an illusion?

補綴歯科におけるエビデンスに基づく治療計画は現実的か、
それとも錯覚にすぎないか

座長：細川 隆司（九歯大）

横山 敦郎（北海道大）

講師：Bjarni E. Pjetursson（University of Geneva）

第132回学術大会海外特別講演は、ジュネーブ大学のB. E. Pjetursson教授をお迎えいたしました。Pjetursson教授は、デンタルインプラントを含めた補綴治療に関する数多くのシステマティックレビューを発表されています。今回は、“Is evidenced based treatment planning in prosthetic dentistry realistic or only an illusion?”というかなり刺激的なタイトルで、これまでの先生の多くのシステマティックレビューとメタアナリシスに基づくお話をいただく予定です。臨床研究をおこなっている研究者だけではなく、多くの臨床家にとって大変興味ある内容です。

（座長 細川隆司，横山敦郎）

■メインシンポジウム

5月20日(土) 第1会場 16:00～18:00

臨床へ実装されるバイオロジー研究 ～研究室から診療室へ～

座長：足田 一洋（北医療大）

江草 宏（東北大）

シンポジスト：澤瀬 隆（長崎大）

窪木 拓男（岡山大）

吉田 靖弘（北海道大）

二川 浩樹（広島大）

本学会では幅広い領域で研究が行われており、バイオロジー研究も重点的分野の1つであり課題口演のカテゴリーとして取り上げられている。しかし、その研究成果がいかに優れていても、臨床応用まで到達させるまでには多くのハードルがあり、その実例は少ないのが現状である。本シンポジウムでご登壇いただくのは、基礎研究のみならず臨床分野においても優れた研究成果を積み上げて、臨床応用に到達あるいは到達間近のプロジェクトを遂行されている先生方である。これまでの研究のきっかけから、どのようにして研究を遂行し、実用化にアプローチしてきたのか、開発品の臨床使用における留意点やエビデンス等についてご自身の経験と知見をご紹介いただく。

（座長 足田一洋，江草 宏）

■シンポジウム 1

(特非) 日本顎咬合学会 共催

5月20日(土) 第1会場 11:00～12:30

補綴の原点である咬合を極める

座長：山下秀一郎（東歯大）

谷田部 優（東京支部）

シンポジスト：重本 修伺（鶴見大）

上田 秀朗（九州支部）

中村健太郎（東海支部）

咬合とは、歯や補綴装置を介した上下顎の接触関係を指す。中心咬合位で噛んだ場合には、歯列は最大接触面積で咬合し、顎関節や筋肉と調和した場所に下顎は位置づけられ、偏心運動時にはガイドの存在により、下顎は安定した滑走運動が可能となる。失われた中心咬合位を再現するために、さまざまな議論がなされているが、本セッションでは、咬合を正しく理解し、学会としての方向性を明確することを目的にディスカッションを深めたい。

（座長 山下秀一郎，谷田部 優）

■シンポジウム 2

(一社) 日本歯科理工学会／

(一社) 日本接着歯学会 共催

5月20日(土) 第3会場 16:30～18:00

どちらを使う？ニケイ酸リチウムガラスとジルコニアの徹底比較

座長：小峰 太（日本大）

南 弘之（鹿児島大）

シンポジスト：伴 清治（愛院大）

猪越 正直（医歯大）

大谷 恭史（関西支部）

メタルフリーや審美補綴材料の進歩から、オールセラミック製の補綴装置が広く使用されるようになってきた。オールセラミックスの中でもニケイ酸リチウムガラスセラミックスとジルコニアが、現在広く臨床で使用されている審美修復材料であると考えられるが、これらの材料はどのように使い分けるべきだろうか？本シンポジウムでは、それぞれの材料の特徴や臨床で使用する上での接着法を整理し、さらにこれらの材料を実際に使用されている臨床家の先生に臨床応用のポイントをご解説いただく。

（座長 小峰 太，南 弘之）

■シンポジウム 3

5月21日(日) 第2会場 10:10～11:10

リアルワールドデータの歯科における利活用

座長：池邊 一典（大阪大）

笛木 賢治（医歯大）

シンポジスト：山本 陵平（大阪大）

豆野 智昭（大阪大）

近年、情報技術の発展によって日々生じる膨大なデジタルデータは、個人情報に関する法律の改定により入手し易くなってきた。

「リアルワールドデータ（RWD）」とは、医療や介護の現場で日常的に発生するデジタルデータの総体であり、臨床医学研究での利活用が飛躍的に伸びてきている。しかし、歯科での事例はまだほとんどみられない。

そこで今回は、RWDを用いた研究の利点や欠点、歯科での利活用について検討してみたい。

（座長 池邊一典，笛木賢治）

■シンポジウム 4

5月21日(日) 第3会場 11:20～12:20

シングルセル解析とバイオインフォマティクスで拓く補綴歯科研究 ～単一細胞から組織発生・再生のメカニズムを理解する～

座長：秋葉 陽介（新潟大）

大島 正充（徳島大）

シンポジスト：大庭 伸介（大阪大）

大野 充昭（岡山大）

近年、遺伝子解析技術が目覚ましい発展を遂げ、細胞単位での遺伝子発現解析が可能となり、すでに、補綴歯科領域におけるバイオロジー研究も、これらの遺伝子解析技術や解析コンセプトの理解・応用が不可欠な時期を迎えている。本セッションでは講師の先生方にシングルセル解析とバイオインフォマティクス解析に関する研究アプローチをご紹介いただき、最先端バイオロジー研究の現状と展望について会員と議論したい。

（座長 秋葉陽介，大島正充）

■シンポジウム 5

(特非) 日本歯科保存学会／
(公社) 日本口腔インプラント学会 共催
5月21日(日) 第3会場 13:30～15:30

歯科金属アレルギー診療指針に向かう道標

座長：江草 宏(東北大)

峯 篤史(大阪大)

シンポジスト：矢上 晶子(藤田医科大)

加治屋幹人(広島大)

正木 千尋(九歯大)

秋葉 陽介(新潟大)

この度アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針が改正され、医療提供体制に『歯科医師』が追加された。これに応じて歯科も医科と連携して金属アレルギーの実態調査、診断法の確立、そして多科連携診療モデルの構築に取り組むことが求められる。しかし、歯科金属アレルギー治療指針は定められていない。本シンポジウムでは歯科金属アレルギー診療指針策定への展望を議論したい。

(座長 江草 宏, 峯 篤史)

■診療ガイドライン委員会セミナー

日本義歯ケア学会 共催
5月20日(土) 第2会場 14:10～15:40

義歯のリライン Update

座長：西村 正宏(鹿児島大)

松香 芳三(徳島大)

シンポジスト：村田比呂司(長崎大)

河相 安彦(日大松戸)

長谷川陽子(新潟大)

義歯不適合に対する処置は、新義歯製作またはリラインが一般的である。リラインによる対応は、新義歯製作と比較して患者の来院回数や医療費の軽減を図ることができる。本セミナーでは、補綴専門医として知っておきたい軟質リライン材に関する基礎と正しい使い方、リラインに関する臨床手技について解説し、今般改訂された「リラインとリベースの臨床指針 2023」と、新たに公開された「軟質リライン材によるリラインのガイドライン 2023」を紹介する。

(座長 西村正宏, 松香芳三)

■臨床スキルアップセミナー

5月21日（日） 第2会場 9:00～10:00

義歯調整の勘所

座長：村田比呂司（長崎大）

水口 俊介（医歯大）

講師：都築 尊（福歯大）

木本 統（愛院大）

義歯の調整は日常臨床で行うもっとも多い処置の一つであり，患者が義歯を受け入れるか否かに係る重要な処置である．本処置は義歯床と床下粘膜との適合状態，咬合関係，さらには患者の要求内容等を総合的に診査して行う必要がある．とくに経験の浅い歯科医師にとっては，義歯調整に時間も要し，処置方法に迷うことも多い．本セミナーでは有床義歯臨床に卓越された新進気鋭の先生に義歯調整の術式やポイントを体系的にご講演いただく．

（座長 村田比呂司，水口俊介）

■臨床リレーセッション1

5月20日（土） 第2会場 11:00～12:30

アンテリアハイパーファンクションにどう対応するか？

—その病因学と補綴治療のキーポイント—

座長：若林 則幸（医歯大）

多田紗弥夏（シンガポール国立大学）

講師：荻野洋一郎（九州大）

大山 哲生（日本大）

中野 環（大阪大）

臼歯部咬合支持域を喪失した部分歯列欠損症例（Eichner 分類 B4/C1/C2 に該当する症例）において，特に下顎前歯部が残存する症例では，残存する前歯が過度に機能すること（アンテリアハイパーファンクション）が原因で，義歯の力学的コントロールが困難となり補綴的対応に苦慮することが少なくない．本リレーセッションでは，改めてアンテリアハイパーファンクションにおける知見を整理し，病因学的な側面から治療方針や対応法について包括的に議論したい．

（座長 若林則幸，多田紗弥夏）

■臨床リレーセッション2（専門医研修単位認定対象セッション）

5月20日（土） 第2会場 16：00～18：00

テレスコープ義歯

—臨床現場における有効な活用法を考える—

座長：山下秀一郎（東歯大）

田中 譲治（東関東支部）

講師：都築 尊（福歯大）

榎原 絵理（九歯大）

田坂 彰規（東歯大）

部分床義歯の設計において、義歯の動揺の抑制は口腔関連 QOL に関わる重要な要件である。支台装置にテレスコープを選択すると、リジッドコネクションが実現し動揺の抑制をはかることが可能であるが、使い方を誤れば歯根破折等の重篤な状況が惹起されるのも事実である。本セッションでは、高いポテンシャルを有したこの支台装置について、臨床現場における有効な活用法についてディスカッションを深めたい。

（座長 山下秀一郎，田中譲治）

■臨床リレーセッション3

5月21日（日） 第2会場 13：30～15：30

現代補綴の到達点：支台歯形成から補綴装置装着までのステップ

座長：土屋 賢司（日本臨床歯科学会）

鮎川 保則（九州大）

講師：千葉 豊和（日本臨床歯科学会）

瀬戸 延泰（日本臨床歯科学会）

伊藤 雄策（日本臨床歯科学会）

支台歯形成から補綴装置装着までのステップは一般歯科医でも毎日行う治療行為であるが、その分惜性で行っていることが多いのではないだろうか。どのような領域でも昔学んだ内容はいつの間にか時代遅れになっているが、毎日行う治療行為ほど最新知識の収集を怠りやすい。本セッションは歯冠補綴治療の支台歯形成から補綴装置装着までを最先端の臨床家に高密度で解説いただくセッションである。

（座長 土屋賢司，鮎川保則）

■症例報告コンペティション

(一社) 日本歯科技工学会 共催

5月21日(日) 第1会場 10:10～12:20

Focus On 補綴歯科コラボレーション！

座長：樋口 大輔（松歯大）

陸 誠（西関東支部）

発表者：西山 英史・高橋 健（日本臨床歯科学会）

兒玉 直紀（岡山大）・新町 愛子（関西支部）

服部麻里子・山谷 雄一（医歯大）

浅井 宏行・黒松 慎司（関西支部）

田中 晋平・古舘 美弥（昭和大）

内山 徹哉・間中 道郎（日本臨床歯科学会）

補綴歯科においては、歯科医師と歯科技工士、歯科衛生士が共同して治療を実践する必要がある。例えば、歯科医師は技工伝票に多くの情報を記載するが、それだけでは伝わりきらない情報も多く、外来診療に参画することが少ない歯科技工士と情報共有をすることが重要である。このセッションでは、補綴学会として初めての試みとして、補綴歯科コラボレーションと題したコンペティションを開催し、その連携の重要性、ポイントを再発見するきっかけとする。

（座長 樋口大輔，陸 誠）

■専門医研修会（専門医研修単位認定対象セッション）

5月21日(日) 第1会場 13:30～15:30

補綴難症例に対する補綴歯科専門医の解決策を共有する その2

睡眠時無呼吸症患者の治療

座長：河相 安彦（日大松戸）

榎原 絵理（九歯大）

講師：重田 優子（鶴見大）

石山 裕之（医歯大）

渡辺 崇文（九歯大）

補綴歯科専門医は「補綴歯科の難症例」に対応できる知識と技能を有することが求められる。本研修は難症例に分類される「睡眠時無呼吸症候群」に関する特徴・医療連携・口腔内装置の介入に取り組んでいる3名の先生にご講演をいただき、睡眠時無呼吸症候群について修得すべき知識、実践的技能と患者に対するケアを含めた情意領域などについてご解説をいただく。

（座長 河相安彦，榎原絵理）

■歯科技工士セッション

(一社) 日本歯科技工学会／
(一社) 日本デジタル歯科学会 共催

5月21日(日) 第3会場 9:00～10:00

デジタルデンチャーの“いま”:

デジタルデンチャーの導入, 効果的な製作のために

座長: 金澤 学 (医歯大)
松田 謙一 (関西支部)
講師: 竜 正大 (東歯大)
吉田 馨太 (関越支部)

デジタルデンチャーは以前よりさまざまなメーカーが研究開発を進めており、すでに総義歯に関しては実用段階に入っていると考えられるものの、今のところ十分に臨床応用されているとはいえない。そこで、本セッションではデジタルデンチャー分野において活躍されておられるお二人に、デジタルデンチャーの活用方法や実際の臨床応用における問題点、ラボサイドに導入するメリットや精度を高めるポイントなどについて御講演していただく予定である。

(座長 金澤 学, 松田 謙一)

■歯科衛生士セッション

(公社) 日本歯科衛生士会／
(一社) 日本デジタル歯科学会 共催

5月21日(日) 第2会場 11:20～12:20

歯科衛生士が学ぶべき口腔内スキャナーをはじめとする

急速に進歩するデジタルデンティストリーの実際

座長: 近藤 尚知 (愛院大)
星 憲幸 (神歯大)
講師: 田中 譲治 (東関東支部)
吉久保典子 (小池歯科医院)

急速に臨床応用が進んでいる口腔内スキャナーについて、歯科医師の立場からの情報提供は頻繁に行われているが、その一方で、歯科衛生士がいかにして口腔内スキャナーを活用していけるかについては、ほとんど周知されていないという現状がある。本企画においては、そのような状況を鑑み、デジタル歯科技術に精通した歯科医師と歯科衛生士から、口腔内スキャナー活用の新たな展開を紹介する。

(座長 近藤尚知, 星 憲幸)

■ハンズオンセミナー 1

5月20日(土) 第4会場 9:00～10:30
第4会場 10:40～12:10

磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～

講師：鈴木 恭典（鶴見大）

協賛：株式会社モリタ，株式会社ケディカ

■ハンズオンセミナー 2

5月20日(土) 第5会場 9:00～10:30
第5会場 10:40～12:10

口腔内スキャナーの実践 Ver.5

講師：樋口 大輔（松歯大）

協賛：株式会社松風，ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社，日本ピストンリング株式会社

■ハンズオンセミナー 3

5月20日(土) 第4会場 14:10～15:40
第4会場 16:00～17:30

ウェアラブル筋電計を用いたブラキシズム診断の実践

講師：山口 泰彦（北海道大）

協賛：株式会社ジーシー

■ハンズオンセミナー 4

5月20日(土) 第5会場 14:10～17:30

包括的補綴歯科治療に必要なペリオドンタルプラスチックサージェリー

講師：小田 師巳（岡山大）

園山 亘（岡山大）

協賛：株式会社 松風，ヒューフレディ・ジャパン合同会社，ペントロンジャパン株式会社，
クインテッセンス出版株式会社

■ハンズオンセミナー 5

(一社) 日本歯科技工学会／
(一社) 東京都歯科技工士会 共催

5月21日(日) 第4会場 9:00～12:00

部分床義歯完全デジタルワークフローのためのボックスジョイントテクニック

講師：中野田 紳一（株式会社インサイドフィールド）

協賛：株式会社エクセル歯科研究所，こばやし歯科クリニック，
株式会社デンタルデジタルオペレーション，株式会社六甲歯研

■ハンズオンセミナー 6

5月21日(日) 第5会場 9:00～12:00

デジタルデンティストリーにおけるバーチャル Wax Up の実践

講師：植松 厚夫（日本臨床歯科学会）

貞光謙一郎（日本臨床歯科学会）

吉田 茂治（日本臨床歯科学会）

協賛：PLANMECA OY

■教育講演 1

5月19日（金） 第2会場 16：00～17：00

歯科訪問診療で考慮すべき医療安全（Patient safety）

座長：高橋 一也（大歯大）

講師：古屋 純一（昭和大）

安心安全な医療の提供は最優先されるべき事項であり，歯科診療所および病院歯科における医療安全に関してはガイドラインや指針等が示されている．一方，患者の自宅や介護施設への訪問診療，特に，要介護高齢者を対象にした歯科訪問診療においては，通常の医療安全に加えてさらなる注意が必要である．本研修は，歯科訪問診療時に考慮すべき医療安全についてご解説をいただく．

（座長 高橋一也）

■教育講演 2

5月21日（日） 第2会場 8：00～9：00

歯科臨床における感染予防策

座長：中本 哲自（朝日大）

講師：河野 雅臣（歯科感染制御研究会）

日常の補綴歯科治療は，唾液や血液の飛散を伴うことが多い．また，切削器具や鋭利な器具を用いる機会も多く，患者・術者間のみならず，患者間の感染リスクもあるため，歯科診療における感染予防策の徹底が重要である．また，新型コロナウイルス感染症の出現に伴い，診療室の換気や清拭など，環境要因への対策も重要視されるようになってきた．本研修では，歯科臨床における感染予防策についてご講演いただく．

（座長 中本哲自）

■臨床研究セミナー

5月21日（日） 第3会場 8:00～9:00

臨床研究論文の作成の基本

座長：稲用 友佳（医歯大）

講師：稲用 友佳（医歯大）

和田淳一郎（医歯大）

臨床研究論文の作成には、研究デザインの理解と具備すべきチェックリストに沿った記載が必要である。本セッションでは、観察研究と介入研究の研究デザイン、チェックリスト、解析や論文作成における注意点などについて、各々の研究の経験を踏まえて紹介し、さまざまな方面で臨床研究を遂行されている先生方と情報共有できる場にしたいと考えている。

（座長 稲用友佳）

■臨床エクストリームセッション

5月20日（土） 第1会場 18:20～19:20

オクルーザルベニアは有用な補綴装置となりうるか？

座長：新谷 明一（日歯大）

山本 恒一（日本臨床歯科学会）

講師：大河 雅之（日本臨床歯科学会）

山本 尚吾（ビアンコ エ ロッソ）

前歯部ラミネートベニアは、すでに信頼性の高い修復方法として広く認知され、多くの臨床で使用されている。では、臼歯部における低侵襲な補綴装置とされるオクルーザルベニアは有用な補綴装置となりうるであろうか？

本セッションでは、歯科医師の立場から文献と臨床の両視点を通しオクルーザルベニアのプレパレーションデザインについて考察し、分類を試みた。また、歯科技工士の立場から製作上のポイントと問題点についても報告したい。

（座長 新谷明一，山本恒一）

■イブニングセッション 1

5月20日(土) 第2会場 18:20～19:20

睡眠時無呼吸の口腔内装置について リスク&ベネフィットの視点から適切な下顎位を考える

コーディネーター：奥野健太郎（大歯大）

発表者：奥野健太郎（大歯大）

石山 裕之（医歯大）

鈴木 善貴（徳島大）

■イブニングセッション 2

5月20日(土) 第3会場 18:20～19:20

可撤性補綴装置の支台歯・対合歯の予後

コーディネーター：白井 麻衣（鶴見大）

発表者：野川 敏史（北海道大）

辻岡 義崇（大阪大）

小田由香里（東歯大）

■イブニングセッション 3

5月20日(土) 第4会場 18:20～19:20

インプラント体周囲骨内で起こっていること 動物実験・有限要素解析から見えてきた研究結果を臨床現場に活かすために

コーディネーター：神野 洋平（九州大）

発表者：黒嶋伸一郎（長崎大）

依田 信裕（東北大）

神野 洋平（九州大）

■イブニングセッション 4

5月20日(土) 第5会場 18:20～19:20

モノリシックジルコニア補綴の勘所～ベーシックからアドバンスまで～

コーディネーター：高江洲 雄（福歯大）

発表者：高岡 亮太（大阪大）

加我 公行（福歯大）

■ Meet the Experts

5月20日(土) Meet the Experts 会場 12:40～13:20

講師：植松 厚夫（日本臨床歯科学会）

横山紗和子（昭和大）

山田 将博（東北大）

峯 篤史（大阪大）

笛木 賢治（医歯大）

■ランチョンセミナー 1

5月20日(土) 第1会場 12:40～13:20

中枢から考えるブラキシズムへの新たなアプローチ

座長：小見山 道（日大松戸）

講師：飯田 崇（日大松戸）

協賛：サンスター株式会社

■ランチョンセミナー 2

5月20日(土) 第2会場 12:40～13:20

口腔機能管理における義歯安定剤の活用と使用上のポイント

座長：櫻井 薫（東京支部）

講師：上田 貴之（東歯大）

協賛：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 3

5月20日（土） 第3会場 12：40～13：20

臨床医が知っておくべきインプラントの新たな潮流と隠されたリスク

講師：細川 隆司（九歯大）

正木 千尋（九歯大）

協賛：ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 4

5月20日（土） 第4会場 12：40～13：20

審美修復治療におけるマテリアルセレクション

講師：中野 忠彦（日本臨床歯科学会）

協賛：株式会社ジーシー

■ランチョンセミナー 5

5月20日（土） 第5会場 12：40～13：20

デンツプライシロナが提唱するデジタルエコシステムの有用性と展望

講師：荒井 昌海（医療法人社団 翔舞会 エムズ歯科クリニック）

協賛：デンツプライシロナ株式会社

■ランチョンセミナー 6

5月21日（日） 第1会場 12：30～13：10

患者とのコミュニケーションを加速させる口腔内スキャナの活用

講師：丸尾勝一郎（東京支部）

協賛：ストローマン・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 7

5月21日（日） 第2会場 12：30～13：10

L8020 乳酸菌と固定化抗菌剤 Etak について

座長：村田比呂司（長崎大）

講師：二川 浩樹（広島大）

協賛：Etak 協議会

■ランチョンセミナー 8

5月21日（日） 第3会場 12：30～13：10

これからの時代に向けた 3D プリンティングデンチャー

講師：新保 秀仁（鶴見大）

協賛：クルツアー ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 9

5月21日（日） 第4会場 12：30～13：10

シンプルで合理的な接着歯学を応用した審美補綴治療

講師：木村 正人（医療法人きむら歯科医院）

協賛：株式会社 松風

■ランチョンセミナー 10

5月21日（日） 第5会場 12：30～13：10

IOS 対応フルアーチソリューション Nexus iOS® の特徴と臨床応用

座長：鮎川 保則（九州大）

講師：今井実喜生（九州大）

協賛：京セラ株式会社

■市民フォーラム 2023

Web 配信

<視聴 URL> <https://www.kwcs.jp/jps132/civic.html>

「補綴歯科専門医」って何？

座長：飯沼 利光（日本補綴歯科学会社会連携委員会）

講師：會田 英紀（日本補綴歯科学会社会連携委員会）

日本補綴（ほてつ）歯科学会の専門医制度は、平成 4 年 7 月に認定医制度として発足して以来、13 年の歴史があるものを、さらなる社会貢献をめざして、平成 17 年 8 月に専門医制度として改善いたしました。さらに、本年度は新制度移行に向けてさまざまな準備が行われています。

そこで今回のフォーラムでは、一人の補綴歯科専門医を目指す若き歯科医師をクローズアップし、指導医からの熱意ある指導が、有能な補綴歯科専門医を育ててゆく過程をドキュメンタリータッチで追いながら、専門医制度が持つ意味についてわかりやすく解説をします。

（座長 飯沼利光）

5月20日(土) [第1会場]

■ 9:00 ~ 10:00 課題口演1 Smart prosthodontics

座長 木本克彦 (神歯大)

- 課題1 純チタンを局部床義歯フレームワークへ応用する際の最適なCAD/CAM技術の検討
○伊東紘世¹⁾, 田坂彰規¹⁾, 小林 裕¹⁾, 仲田誠一²⁾, 山下秀一郎¹⁾
(¹⁾ 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座, ²⁾ 和田精密歯研株式会社)
- 課題2 局部床義歯へ応用を見据えた半焼結 Co-Cr 合金ディスクの製作精確さと機械的特性の検証
○加藤雄人¹⁾, 田坂彰規¹⁾, 岡野日奈¹⁾, 鶴澤 忍^{2,3)}, 山下秀一郎¹⁾
(¹⁾ 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座, ²⁾ 株式会社リアリティ・デンタル・ラボラトリー, ³⁾ 東京支部)
- 課題3 睡眠時ブラキシズムと意識下における側方滑走運動の水平面顎運動軌跡の比較
○古原靖智¹⁾, 谷脇竜弥¹⁾, 鈴木善貴¹⁾, 大倉一夫¹⁾, 重本修伺²⁾, 田島登誉子¹⁾, 安陪 晋³⁾, 大島正充¹⁾, 小川 匠²⁾, 坂東永一⁴⁾, 河野文昭³⁾, 松香芳三¹⁾
(¹⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野, ²⁾ 鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座, ³⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部総合診療科分野, ⁴⁾ 徳島大学)

5月20日(土) [第2会場]

■ 9:00 ~ 10:00 課題口演2 臨床エビデンス

座長 河相安彦 (日大松戸)

- 課題4 咀嚼能率と心理的フレイル発症との関連の検討 6年間の前向きコホート研究
○明間すずな, 豆野智昭, 高橋利士, 八田昂大, 和田誠大, 室谷有紀, 萩野弘将, 辻岡義崇, 東 孝太郎, 瀬戸英里, 岡田佳恵, 池邊一典
(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)
- 課題5 20 歯未満高齢者の死亡発生に対する口腔の形態と機能回復の効果: 17 年間のコホート研究
○関 大蔵¹⁾, 小宮山貴将¹⁾, 大井 孝^{1,2)}, 三好慶忠¹⁾, 渡邊 誠³⁾, 服部佳功¹⁾
(¹⁾ 東北大学大学院歯学研究科リハビリテーション歯学講座加齢歯科学分野, ²⁾ 石巻赤十字病院歯科, ³⁾ 東北・北海道支部)
- 課題6 小さなゴニアルアングルはインプラント後期喪失の予測因子である: 後向き観察研究
○高嶋真樹子, 松崎奈々香, 山崎裕太, 荒井良明
(新潟大学医歯学総合病院顎口腔インプラント治療部)

5月20日(土) [第3会場]

■ 9:00 ~ 10:00 課題口演3 バイオロジー

座長 二川浩樹 (広島大)

- 課題7 咬合支持の喪失による三叉神経中脳路核と青斑核の変化と認知機能低下のメカニズム
○加藤 (市川) 知香, 原 哲也, 村上明日香, 窪田 (山田) 知枝, 角谷 (桑原) 実穂, 皆木省吾
(岡山大学学術研究院医歯薬学域咬合・有床義歯補綴学分野)
- 課題8 1 細胞解析を応用した骨髄老化によるマウス長管骨創傷治癒遅延メカニズムの解明
○北川若奈^{1,2)}, 大野充昭^{2,3)}, 土佐郁恵¹⁾, 石橋 啓^{1,2)}, 窪木拓男^{1,3)}, 大橋俊孝²⁾
(¹⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野, ²⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科分子医化学分野, ³⁾ 岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門¹⁾)
- 課題9 口腔粘膜における特定歯肉線維芽細胞集団による免疫機構
○近藤 威¹⁾, 西村一郎²⁾, 江草 宏¹⁾
(¹⁾ 東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野, ²⁾ Weintraub Center for Reconstructive Biotechnology, Division of Regenerative & Reconstructive Sciences, UCLA School of Dentistry)

5月20日(土) [第3会場]

■ 11:00 ~ 11:30 一般口演1 口腔機能1

座長 水橋 史(日歯大新潟)

- O1-1 義歯治療による唾液代謝プロファイルへの影響
○川西範繁, 市ヶ谷成美, 足立拓也, 星 憲幸, 木本克彦
(神奈川歯科大学歯科補綴学講座クラウンブリッジ補綴学分野)
- O1-2 口腔カンジダ症における唾液の関連性ー唾液量と唾液代謝プロファイルー
○足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 星 憲幸, 木本克彦
(神奈川歯科大学クラウンブリッジ補綴学分野)
- O1-3 下顎隆起発生と咬合支持の関連性についての網羅的調査
○馬郡佑季, 柴口 塊, 森田 祥, 横山彰大, 松浦尚志
(福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野)

■ 11:30 ~ 12:00 一般口演2 口腔機能2

座長 服部佳功(東北大)

- O1-4 当科において顎補綴治療を行った患者の口腔機能と栄養状態の関連性
○磯村美智子¹⁾, 吉岡 文¹⁾, 尾澤昌悟¹⁾, 小島規永¹⁾, 秦 正樹¹⁾, 松川良平¹⁾, 熊野弘一¹⁾, 藤波和華子¹⁾, 宮前 真²⁾, 佐久間翔太¹⁾, 深澤加奈¹⁾, 木本 統²⁾, 武部 純¹⁾
(¹⁾愛知学院大学歯学部有床義歯学講座, ²⁾愛知学院大学歯学部高齢者・在宅歯科医療学講座)
- O1-5 若年成人における認知・口腔機能トレーニング中の脳活動の検証
○阿部真澄¹⁾, 野内 類²⁾, 依田信裕¹⁾, 小川 徹¹⁾, 白石 成¹⁾, 日原大貴¹⁾, 佐々木啓一³⁾, 江草 宏⁴⁾
(¹⁾東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野, ²⁾東北大学加齢医学研究所認知健康科学研究分野, ³⁾東北大学大学院歯学研究科, ⁴⁾東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野)
- O1-6 項目反応理論を応用した咀嚼能力 CAT の初期値の検討
○宇佐美博志, 竹内一夫, 竹内理穂子, 荒木厚詞, 木本 統
(愛知学院大学歯学部高齢者・在宅歯科医療学講座)

■ 12:00 ~ 12:30 一般口演3 ニューロサイエンス

座長 小野高裕(大歯大)

- O1-7 認知障害の早期発見方法に関する研究 Cognitive disorders in the elderly
○Mariska Juanita¹⁾, Bahrudin Thalib¹⁾, Acing Habibie Mude¹⁾, Nurlindah Hamrun¹⁾, 丸尾幸憲²⁾
(¹⁾Hasanuddin University Indonesia, Faculty of Dentistry, Department of Prosthodontics, ²⁾岡山大学病院咬合・義歯補綴科)
- O1-8 加齢によるマクロファージの極性変化は顎顔面領域の異所性痛覚過敏増強に関与する
○藤原慎太郎, 浦田健太郎, 大音 樹, 井手唯李加, 成田達也, 和泉憲一, 飯沼利光
(日本大学歯学部歯科補綴学第I講座)
- O1-9 神経変性認知症患者における口腔環境と脳血流との関連性
○井上 允¹⁾, 眞鍋雄太²⁾, 本間優太¹⁾, 富田凛太郎¹⁾, 星 憲幸¹⁾, 木本克彦¹⁾
(¹⁾神奈川歯科大学歯科補綴学講座クラウンブリッジ補綴学分野, ²⁾神奈川歯科大学医科学講座認知症・高齢者総合内科分野)

5月20日(土) [第1会場]

■ 13:30 ~ 14:00 一般口演4 バイオロジー・バイオマテリアル

座長 魚島勝美 (新潟大)

- O1-10 手術用顕微鏡とEr:YAGレーザーを併用した非外科的歯周治療に関する後ろ向き研究
○武川泰久
(東関東支部)
- O1-11 ナノ構造処理した純チタン金属へのアルゴンガスプラズマ処理が生体適合性に与える影響
○林 莉菜¹⁾, 高尾誠二¹⁾, 小正 聡¹⁾, 関野 徹²⁾, 楠本哲次³⁾, 前川賢治¹⁾
(¹⁾ 大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座, ²⁾ 大阪大学産業科学研究所先端ハード材料研究分野, ³⁾ 大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科)
- O1-12 骨再建における大麻の可能性 骨リモデリングにおけるカンナビジオールの効果
○Muthia Mutmainnah Bachtiar, Edy Machmud, Mohammad Dharmautama, Ike Damayanti Habar, Irfan Dammar, Eri Hendra Jubhari
(Hasanuddin University Indonesia, Faculty of Dentistry, Department of Prosthodontics)

5月20日(土) [第2会場]

■ 13:30 ~ 14:00 一般口演5 クラウンブリッジ

座長 新谷明一 (日歯大)

- O1-13 単一組成および混合組成の多層構造ジルコニアに含有される元素が物性に及ぼす影響
○杉木隆之¹⁾, 鈴木翔平²⁾, 瀬戸宗嗣²⁾, 上田一彦²⁾
(¹⁾ 日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学, ²⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第2講座)
- O1-14 前歯部CAD/CAM冠の色彩学的研究 金属鑄造支台築造に対するオパール色セメントの効果
○松本彩花¹⁾, 松村茉由子¹⁾, Omnia Saleh¹⁾, 谷中 航¹⁾, 紅谷龍一郎¹⁾, 野崎浩佑²⁾, 松村光明¹⁾, 若林則幸²⁾, 笛木賢治¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野, ²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体補綴歯科学分野)
- O1-15 歯科用アルギン酸ナトリウムボンド軸付き砥石の開発
○田上 海¹⁾, 佐藤秀明¹⁾, 小正 聡²⁾, 前川賢治²⁾
(¹⁾ 東京都市大学大学院総合理工学研究科機械専攻, ²⁾ 大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座)

5月20日(土) [第3会場]

■ 13:30 ~ 14:00 一般口演6 有床義歯1

座長 山森徹雄 (奥羽大)

- O1-16 応力解析に基づくデジタルリリーフの開発 シミュレーション効果の検証
○向井友子¹⁾, 佐藤裕二¹⁾, 下平 修¹⁾, 古屋純一¹⁾, 大森友花¹⁾, 飯島裕之²⁾, 原 聡¹⁾
(¹⁾ 昭和大学歯学部高齢者歯科学講座, ²⁾ 東京支部)
- O1-17 有限要素法による全部床義歯における義歯床下粘膜挙動の解析
○谷内佑起¹⁾, 青木健児¹⁾, 渡邊浩志⁴⁾, 荒井皓一郎⁴⁾, 曾根峰世¹⁾, 大川周治³⁾, 岡本和彦¹⁾, 藤澤政紀²⁾
(¹⁾ 明海大学歯学部機能保存回復学講座有床義歯補綴学分野, ²⁾ 明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野, ³⁾ 明海大学, ⁴⁾ Hexagon D&E システムズ技術本部)
- O1-18 積層造形 Co-Cr クラスプの研磨に関する実験的研究
○武山丈徹¹⁾, 河村 昇²⁾, 新保秀仁¹⁾, 大久保力廣¹⁾
(¹⁾ 鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座, ²⁾ 鶴見大学歯学部歯科技工研修科)

■ 14:10 ~ 14:40 一般口演7 有床義歯2

座長 大久保力廣 (鶴見大)

- O1-19 義歯ブラシによる清掃がCAD/CAM用義歯床用レジンの表面粗さに与える影響
○山本吉紀, 齋藤 壮, 竜 正大, 上田貴之
(東京歯科大学老年歯科補綴学講座)
- O1-20 新規3Dプリント材料による無歯顎義歯床に対する臨床応用の可能性について
○須藤真行, 生田龍平, 前畑 香, 渡辺宣孝, 玉置勝司
(神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野)
- O1-21 新規3Dプリント材料による総義歯製作, 試適時の咬合と機能からみた臨床応用の1例
○玉置勝司, 生田龍平, 前畑 香, 須藤真行, 渡辺宣孝
(神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野)

■ 14:40 ~ 15:10 一般口演8 有床義歯3

座長 武部 純 (愛院大)

- O1-22 フルアーチ連結型人工歯を用いた総義歯製作における作業時間について 経験年数の比較
○生田龍平, 須藤真行, 藤原 基, 片岡加奈子, 前畑 香, Kung Yinghua, 渡辺宣孝, 玉置勝司
(神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野)
- O1-23 2次重合後の3D printed denture 床用材料に対する接着強さに及ぼす表面処理方法の効果
○田中亜弥¹⁾, 川口智弘¹⁾, 一志恒太²⁾, 伊藤綾香¹⁾, 小柳進祐¹⁾, 都築 尊¹⁾
(¹⁾ 福岡歯科大学咬合修復学講座有床義歯学分野, ²⁾ 福岡歯科大学医科歯科総合病院中央技工室)
- O1-24 3Dプリンティング義歯床に対する硬質・軟質レジンの接着強さ
○柴田翔吾¹⁾, 新保秀仁¹⁾, 大久保力廣¹⁾, 高後 修²⁾
(¹⁾ 鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座, ²⁾ 三井化学株式会社)

■ 15 : 10 ~ 15 : 40 一般口演 9 有床義歯 4

座長 上田貴之（東歯大）

- O1-25 義歯調整におけるリマウント法の有効性の検討
○鄭 繼祥¹⁾, 熱田 生²⁾, 古谷野 潔²⁾, 鮎川保則¹⁾
(¹⁾九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復講座インプラント義歯補綴学分野, ²⁾九州大学大学院歯学研究院歯科先端医療評価・開発学講座)
- O1-26 下顎全部床義歯の人工歯排列位置に関する三次元的評価—歯槽頂との関連—
○岡田佳恵, 豆野智昭, 池邊一典
(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)
- O1-27 無歯顎患者の舌圧を利用した新しい咬合高径設定法に関する基礎的研究
○鈴木亜沙子, 倉田 豊, 高野光司, 連記 真, 栗谷川 輝, 五十嵐憲太郎, 小出恭代, 伊藤誠康, 河相安彦
(日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座)

■ 15 : 50 ~ 16 : 20 一般口演 10 症例

座長 萩原芳幸（日本大）

- O1-28 歯周炎患者に戦略的抜歯を行いボーンアンカーダブリッジで補綴治療を行った 1 症例
○新見大輔¹⁾, 吉岡 凜¹⁾, 齊藤寛之¹⁾, Sara Tuason¹⁾, 萩原大子¹⁾, 相澤真奈美¹⁾, 榎谷隆夫¹⁾, 富田里緒¹⁾, 前野実香¹⁾, 内倉慶一郎¹⁾, 細見洋泰¹⁾, 永田浩司^{1,2)}
(¹⁾東京支部, ²⁾東京医科歯科大学大学院生体補綴歯科学分野)
- O1-29 Root Submergence Technique を用い歯槽堤の吸収抑制を考慮した症例
○新藤有道^{1,2)}
(¹⁾東京支部, ²⁾日本臨床歯科学会東京支部)
- O1-30 戦略的抜歯を行いインプラント支持型固定装置による補綴治療を行った 1 症例
○吉岡 凜¹⁾, 齊藤寛之¹⁾, 新見大輔¹⁾, Sara Tuason¹⁾, 萩原大子¹⁾, 相澤真奈美¹⁾, 榎谷隆夫¹⁾, 富田里緒¹⁾, 前野実香¹⁾, 内倉慶一郎¹⁾, 細見洋泰¹⁾, 永田浩司^{1,2)}
(¹⁾東京支部, ²⁾東京医科歯科大学大学院生体補綴歯科学分野)

5月21日(日) [第3会場]

■ 10:10 ~ 10:40 一般口演 11 インプラント 1

座長 會田英紀 (北医療大)

- O2-1 Er:YAG レーザーデポジション法でアパタイトを成膜した純チタン金属の生体適合性評価
○馬 琳¹⁾, 小正 聡¹⁾, 王 欣¹⁾, 壺内治光¹⁾, 李 敏¹⁾, 本津茂樹²⁾, 橋本典也³⁾, 前川賢治¹⁾
(¹⁾ 大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座, ²⁾ 近畿大学生物理工学部, ³⁾ 大阪歯科大学歯科理工学講座)
- O2-2 寒天粒子を使用したインプラントアバットメントの新規洗浄法の開発
○小正 聡¹⁾, 佐藤秀明²⁾, 楠本哲次³⁾, 西崎 宏³⁾, 前川賢治¹⁾
(¹⁾ 大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座, ²⁾ 東京都市大学理工学部機械工学科, ³⁾ 大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科)
- O2-3 ボーンアンカーダブルブリッジにモノリシックジルコニアを応用して補綴治療を行った 1 症例
○永田浩司^{1,2)}, 吉岡 凜²⁾, 齊藤寛之²⁾, 新見大輔²⁾, Sara Tuason²⁾, 萩原大子²⁾, 相澤真奈美²⁾, 榎谷隆夫²⁾, 富田里緒²⁾, 前野実香²⁾, 内倉慶一郎²⁾, 細見洋泰²⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学大学院生体補綴歯科学分野, ²⁾ 東京支部)

■ 10:40 ~ 11:10 一般口演 12 インプラント 2

座長 前川賢治 (大歯大)

- O2-4 インプラント周囲骨吸収とその関連因子についての縦断的研究
○長谷川大輔, 豆野智昭, 和田誠大, 奥野幾久, 池邊一典
(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)
- O2-5 インプラント周囲組織の炎症における Endothelin-1 の発現
○齋藤義揮, 野代知孝, 宗政 翔, 向坊太郎, 近藤祐介, 正木千尋, 細川隆司
(九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野)
- O2-6 口腔内スキャナーのみで製作した無歯顎インプラント最終上部構造
○田中義篤^{1,2)}, 田中義博¹⁾, 越智守生²⁾
(¹⁾ 東北・北海道支部, ²⁾ 北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野)

5月20日(土), 5月21日(日)

■ポスター討論

演題番号末尾が奇数の演題 5月20日(土) 12:30 ~ 13:30,

偶数の演題 5月21日(日) 12:20 ~ 13:20

[ポスター会場]

■ポスター発表 有床義歯

- P-1 治療用義歯に関する臨床エビデンス 症例報告によるシステマティックレビュー
○村上 格¹⁾, 宮田春香²⁾, 中西悠梨香²⁾, 原田佳枝²⁾, 西 恭宏²⁾, 西村正宏²⁾
(¹⁾ 鹿児島大学病院義歯インプラント科, ²⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野)
- P-2 部分床義歯設計における支台歯部位の予測
○権田知也¹⁾, 高橋利士¹⁾, 豆野智昭¹⁾, 野崎一徳²⁾, 池邊一典¹⁾
(¹⁾ 大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野, ²⁾ 大阪大学歯学部附属病院医療情報室)
- P-3 ノンメタルクラスプデンチャー装着者の口腔関連 QOL: ランダム化比較試験のメタ解析
○稲用友佳, 笛木賢治, 李 雅杰, 張 凌波
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野)
- P-4 クリームタイプ義歯粘着剤の義歯の維持安定への持続効果および患者満足度の評価
○佐藤純子¹⁾, 山口知美²⁾, 鳥巢哲朗¹⁾, 森 智康¹⁾, 村田比呂司¹⁾
(¹⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野, ²⁾ 小林製薬株式会社ヘルスケア事業部)
- P-5 CAD/CAM 技術を用いて製作した人工歯と義歯床の接着強さ
○高市敦士¹⁾, Amr Mohamed¹⁾, 加嶋祐佳¹⁾, 高橋英和²⁾, 若林則幸¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体補綴歯科学分野, ²⁾ 東京医科歯科大学歯学部口腔保健工学専攻)
- P-6 LCD 方式 3D プリンターの造形角度が基礎床の適合に及ぼす影響
○水川祐子, 川本章代, 右遠英悟, 上田章浩, 村岡正規, 石本みほ子, 向井友美, 高橋一也
(大阪歯科大学高齢者歯科学講座)
- P-7 全部床義歯の咬合平面予測における切歯点の予測精度評価
○柏崎健汰¹⁾, 駒ヶ嶺友梨子¹⁾, Sahaprom Namano¹⁾, 岩城麻衣子²⁾, 金澤 学²⁾, 水口俊介¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科老化制御学講座高齢者歯科学分野, ²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔デジタルプロセス学分野)
- P-8 高齢者における非接触型三次元形状計測装置を用いた顔面計測法の検討
○渡會侑子¹⁾, 浅沼直樹¹⁾, 鈴木達大²⁾, 水橋 史^{1,2)}
(¹⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座, ²⁾ 日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学)
- P-9 ミルドデンチャーの切削加工における回転数と送り速度が加工精度と時間に与える影響
○秋山 洋¹⁾, 金澤 学²⁾, 岩城麻衣子²⁾, 羽田多麻木¹⁾, 副田弓夏¹⁾, 駒ヶ嶺友梨子¹⁾, 水口俊介¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野, ²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔デジタルプロセス学分野)

- P-10 3D プリント全部床義歯に関する比較研究：ランダム化クロスオーバー型臨床研究
○ Qi Keyu¹⁾, 金澤 学²⁾, 副田弓夏¹⁾, 秋山 洋¹⁾, 羽田多麻木²⁾, Sahaprom Namano¹⁾, 駒ヶ嶺友梨子¹⁾, 岩城麻衣子²⁾, 柴田翔吾³⁾, 溝越 眺³⁾, 武山丈徹³⁾, 新保秀仁³⁾, 大久保力廣³⁾, 水口俊介¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野, ²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔デジタルプロセス学分野, ³⁾ 鶴見大学有床義歯補綴学)
- P-11 3D スキャナーを利用した補綴装置の適合性の改善
○楊 林¹⁾, 楠 尊行¹⁾, 柿本和俊²⁾, 川本章代¹⁾, 高橋一也¹⁾
(¹⁾ 大阪歯科大学高齢者歯科学講座, ²⁾ 大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科)
- P-12 口腔内スキャナーを使用したダブルクラウン内冠のピックアップ印象の真度の検証
○藤田尚志, 田坂彰規, 清水廷浩, 和達重郎, 山下秀一郎
(東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座)
- P-13 形状記憶ゲルの補綴歯科材料への応用に向けた特性評価
○柿沼祐亮¹⁾, 小山重人²⁾, 江草 宏¹⁾
(¹⁾ 東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野, ²⁾ 東北大学病院顎顔面口腔再建治療部)
- P-14 泡沫状義歯洗浄剤 OC441 による部分床義歯の洗浄性の評価
○岩脇有軌¹⁾, 園井厚憲²⁾, 千葉厚子²⁾, 半田拓弥²⁾, 中津 晋²⁾, 後藤崇晴¹⁾, 藤本けい子¹⁾, 岸本卓大³⁾, 松田 岳¹⁾, 水頭英樹⁴⁾, 小西晴奈¹⁾, 永尾 寛¹⁾, 市川哲雄¹⁾
(¹⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野, ²⁾ 花王株式会社パーソナルヘルスケア研究所, ³⁾ 徳島大学病院総合歯科診療部, ⁴⁾ 徳島大学医歯薬学研究部歯科放射線学分野)
- P-15 寒天粒子を用いた新規義歯清掃法の開発
○三宅晃子¹⁾, 小正 聡²⁾, 内藤達志²⁾, 佐藤秀明³⁾, 前川賢治²⁾
(¹⁾ 大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科, ²⁾ 大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座, ³⁾ 東京都市大学大学院総合理工学研究科機械専攻)
- P-16 寒天噴射による軟質裏装材の清掃法の開発
○都木耕平¹⁾, 佐藤秀明¹⁾, 小正 聡²⁾, 三宅晃子³⁾, 前川賢治²⁾
(¹⁾ 東京都市大学大学院総合理工学研究科機械専攻, ²⁾ 大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座, ³⁾ 大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科)
- P-17 陶歯または硬質レジン歯を用いた全部床義歯における口腔関連 QOL の経時的変化の検討
○野川敏史¹⁾, 古玉明日香²⁾, 高山芳幸²⁾, 村島直道²⁾, 藤井法博³⁾, 佐藤浩一³⁾, 吉本龍一³⁾, 横山敦郎²⁾
(¹⁾ 北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野予防歯科学教室, ²⁾ 北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野口腔機能補綴学教室, ³⁾ 株式会社松風研究開発部)
- P-18 The impact of maxillectomy patients' speech on contemporary speaker-independent automatic speech recognition platforms
○Ahmed Sameir Mohamed Ali¹⁾, 正木啓太²⁾, 服部麻里子¹⁾, 隅田由香¹⁾, 若林則幸¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学学生体補綴歯科学分野, ²⁾ 東京医科歯科大学病院言語治療外来)
- P-19 シリコン系適合試験材の各厚さの色差の評価
○佐藤 純, 篠崎 裕
(株式会社ジーシー研究所)

■ポスター発表 クラウンブリッジ

- P-20 低温劣化が多層構造ジルコニアの機械的性質に及ぼす影響
○石田祥己¹⁾, 渡邊 慧²⁾, 三浦大輔¹⁾, 新谷明一^{1,3)}
(¹⁾ 日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座, ²⁾ 日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第2講座, ³⁾ トウルク大学歯科補綴生体材料学講座)

- P-21 高透光性ジルコニアにおける衝撃破壊強さの検討
○渡邊 慧¹⁾, 新谷明一^{2,3)}, 八田みのり¹⁾, 藤島 伸¹⁾, 石田祥己²⁾, 三浦大輔²⁾, 五味治徳¹⁾
(¹⁾日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第2講座, ²⁾日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座, ³⁾トウルク大学歯科補綴生体材料学講座)
- P-22 ジルコニアの焼結行程がブリッジのひずみに及ぼす影響
○平野瑞穂, 野本俊太郎, 露木 悠, 酒井貴徳, 四ツ谷 護, 石川明寛, 関根秀志
(東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座)
- P-23 組成の異なるジルコニアに対する研削と研磨の影響
○河津里香, 野本俊太郎, 平野瑞穂, 岡野文佳, 久永竜一, 関根秀志
(東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座)
- P-24 高透光性ジルコニアラミネートベニアに対する新規内面処理方法が適合に及ぼす影響
○中世大嗣¹⁾, 窪地 慶^{1,2)}, 木谷 仁^{1,2)}, 高田宏起^{1,2)}, 庄司 力³⁾, 大森 実³⁾, 島田百子³⁾, 小峰 太^{1,2)}
(¹⁾日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座, ²⁾日本大学歯学部総合歯学研究所高度先端医療研究部門, ³⁾東京支部)
- P-25 モノリシックジルコニアクラウン表面の結晶構造変化と残留応力の分析
○穴戸駿一¹⁾, 稲垣亮一²⁾, 菅野太郎¹⁾
(¹⁾東北大学大学院歯学研究科先端フリーラジカル制御学共同研究講座, ²⁾東北大学大学院歯学研究科)
- P-26 低温劣化が付加製造ジルコニアの機械的性質に及ぼす影響
○藤田崇史¹⁾, 三浦賞子¹⁾, 新谷明一²⁾, 石田祥己²⁾, 藤澤政紀¹⁾
(¹⁾明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野, ²⁾日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座)
- P-27 超高透光性ジルコニアの厚さの違いが透明度に及ぼす影響
○塚田翔平, 三浦賞子, 藤田崇史, 村上小夏, 前田拓郎, 藤澤政紀
(明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野)
- P-28 紫外線照射による酸素空孔の励起を介した歯科用ジルコニアの変色
○栗原 朱¹⁾, 穴戸駿一²⁾, 稲垣亮一³⁾, 原田章生¹⁾, 菅野太郎²⁾, 江草 宏¹⁾
(¹⁾東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野, ²⁾東北大学大学院歯学研究科先端フリーラジカル制御学共同研究講座, ³⁾東北大学大学院歯学研究科)
- P-29 歯科用ジルコニアを用いたD字型臼歯部接着ブリッジの適合性
○殷 悦¹⁾, 根本怜奈¹⁾, 駒田 亘¹⁾, 野崎浩佑²⁾, 笛木賢治¹⁾
(¹⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野, ²⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体補綴歯科学分野)
- P-30 小白歯におけるジルコニアチューブによる歯頸部補強効果を考慮した支台築造法の検討
○近藤大貴, 駒田 亘, 大石晋也, 笛木賢治
(東京医科歯科大学医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野)
- P-31 液槽光重合用レジンとジルコニア粉末混合物の硬化厚み特性について(第2報)
○上田康夫, 范 斯佳, 石川裕梨奈, 山口泰彦
(¹⁾北海道大学歯学研究院口腔機能学分野冠橋義歯補綴学教室)
- P-32 「ジーセム ONE neo」の耐摩耗性
○天野翔太, 篠崎 裕
(株式会社ジーシー)
- P-33 PEEKの引張接着強さに及ぼす接着性レジンセメントおよび表面処理材の影響
○加藤喬大, 岩本孝樹, 山添正稔
(YAMAKIN 株式会社)
- P-34 4-META/MMA-TBB レジンと硬質レジンを用いた際の純チタンに対する接着性能
○宮森沙耶香¹⁾, 岩崎小百合¹⁾, 上木秀幸¹⁾, 大倉恵美²⁾, 村上由利子²⁾
(¹⁾サンメディカル株式会社, ²⁾株式会社ニッシン)

- P-35 硬質レジンと純チタンとの接着における各種表面処理材の効果
○岩崎小百合¹⁾、宮森沙耶香¹⁾、上木秀幸¹⁾、大倉恵美²⁾、村上由利子²⁾
(¹⁾ サンメディカル株式会社, ²⁾ 株式会社ニッシン)
- P-36 2種類の光学式スキャナーから製作するクラウンの適合改善に及ぼす稜線再構成の影響
○島岡 諒, 佐藤正樹, 鳥井克典, 谷 優弥, 田中順子, 柏木宏介
(大阪歯科大学有歯補綴学講座)
- P-37 デジタルワークフローを活用したクラウンの適合精度の検証方法
○安部 道, 深澤翔太, 小山田勇太郎, 今 一裕, 田邊憲昌, 近藤尚知
(岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座)
- P-38 2種類のフェイススキャナーを用いた仮想患者の3次元的精確さ
○津守佑典, 佐藤正樹, 藤井孝政, 篠崎百合絵, 山下秀介, 田中順子, 柏木宏介
(大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座)
- P-39 印象体の色や光沢が模型スキャナーによる形態再現性に及ぼす影響
○Jiyun Park, 伊藤光彦, 井川知子, 木原琢也, 佐野吏香, 荻原久喜, 小島勘太郎, 重田優子, 重本修伺, 小川 匠
(鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座)
- P-40 レジンセメントの種類がシリカコーティングしたジルコニアとの接着性に及ぼす影響
○津田芙未香¹⁾、吉田圭一²⁾、澤瀬 隆¹⁾
(¹⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔インプラント学分野, ²⁾ 長崎大学病院保存・補綴歯科冠補綴治療室)
- P-41 表面処理の違いが根管象牙質に対するレジンセメントの接着強さと界面に及ぼす影響
○尾崎太亮, 大竹志保, 駒田 亘, 大石晋也, 笛木賢治
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野)
- P-42 ニケイ酸リチウムガラスセラミックスの耐酸性評価
○阿部喜史, 東 利彦, 篠崎 裕
(株式会社ジーシー)
- P-43 CAD/CAM ブロックと接着したレジンセメントの摩耗
○竹中広登¹⁾、吉田圭一²⁾、澤瀬 隆¹⁾
(¹⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔インプラント学分野, ²⁾ 長崎大学病院保存・補綴歯科冠補綴治療室)
- P-44 歯科用 CAD/CAM を用いて製作したレジンジャケット冠の咬合高さの検討
○林 邦彦, 木原琢也, 井川知子, 小島勘太郎, 佐野吏香, 荻原久喜, 平井真也, 重田優子, 重本修伺, 小川 匠
(鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座)
- P-45 前歯部 CAD/CAM 冠用ハイブリッドレジンブロックにおけるメタルコア遮蔽性の評価
○棚澤公貴, 篠崎 裕
(株式会社ジーシー研究所)
- P-46 コート材が前歯部用コンポジットレジンブロックの色調へ及ぼす影響
○井口 将, 三浦賞子, 塚田翔平, 今村嘉希, 浅見和哉, 小山志保, 藤澤政紀
(明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野)
- P-47 ワンシェードコンポジットレジンの色調と透光性
○武本真治, 澤田智史
(岩手医科大学医療工学講座)
- P-48 歯面に対する保湿が歯の色に及ぼす臨床的影響
○高山祐輔¹⁾、長谷川幸生²⁾、吉田茂治³⁾、綿引淳一⁴⁾
(¹⁾ 西関東支部, ²⁾ 静岡県, ³⁾ 埼玉県, ⁴⁾ 東京都)

- P-49 歯槽骨吸収症例におけるカンチレバー型接着ブリッジと歯周組織の応力解析
○大石弥生¹⁾, 根本怜奈¹⁾, 駒田 亘¹⁾, 野崎浩佑²⁾, 笛木賢治¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野, ²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体補綴歯科学分野)
- P-50 新規グラスファイバー強化型レジンを用いた3本ブリッジの破壊強さ
○岩本孝樹, 加藤喬大, 山添正稔
(YAMAKIN 株式会社)
- P-51 小臼歯および大臼歯 CAD/CAM 冠の予後に関する8年間の後ろ向きコホート研究
○山口雄一郎¹⁾, 高江洲 雄¹⁾, 小嶺 亮¹⁾, 山田浩貴¹⁾, 山田和彦²⁾, 米田雅裕²⁾, 松浦尚志¹⁾
(¹⁾ 福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野, ²⁾ 福岡歯科大学総合歯科学講座総合歯科学分野)
- P-52 福岡歯科大学病院補綴診療科における補綴装置製作状況の網羅的調査
○前山 駿¹⁾, 柴口 塊¹⁾, 渡久地隆盛¹⁾, 杉本太郎²⁾, 藤井景大¹⁾, 林 周季¹⁾, 松浦尚志¹⁾
(¹⁾ 福岡歯科大学咬合修復学講座, ²⁾ 福岡歯科大学病院中央技工室)
- P-53 新潟大学医歯学総合病院歯根破折外来における垂直歯根破折歯の予後調査
○長澤麻沙子, 魚島勝美, 小出 耀
(新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野)
- P-54 支台歯形成における指導歯科医師による評価傾向の定量化
○中山魅来¹⁾, 林 七夏¹⁾, 土田優美¹⁾, 金森ゆうな²⁾, 則武加奈子²⁾, 新田 浩³⁾, 宮安杏奈^{1,4)}, 岩城麻衣子¹⁾, 金澤 学¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学口腔デジタルプロセス学分野, ²⁾ 東京医科歯科大学歯科総合診療科, ³⁾ 東京医科歯科大学大学院総合診療歯科学分野, ⁴⁾ 東京医科歯科大学大学院先端材料評価学分野)
- P-55 純チタンの乾式精密研磨を可能にする研磨液含浸型軸付き砥石に関する研究
○富川 駿¹⁾, 佐藤秀明¹⁾, 小正 聡²⁾, 前川賢治²⁾
(¹⁾ 東京都市大学大学院総合理工学研究科機械専攻, ²⁾ 大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座)
- P-56 歯科用エアータービンにより発生する飛沫エアロゾル挙動の可視化と吸引装置の有効性
○渡辺 隼^{1,2)}, 小林洋子²⁾, 江草 宏^{1,2)}
(¹⁾ 東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野, ²⁾ 東北大学病院歯科医療管理部)

■ポスター発表 インプラント

- P-57 歯科インプラント研究の動向：内閣府 e-CSTI の開発ツールを用いた Bibliometric 分析
○河野英子^{1,2)}, 井上瑤子²⁾, 上野剛史³⁾, 笛木賢治⁴⁾, 七丈直弘^{5,6)}, 白井俊行²⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学統合研究機構, ²⁾ 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局, ³⁾ 東京医科歯科大学生体補綴歯科学分野, ⁴⁾ 東京医科歯科大学咬合機能健康科学分野, ⁵⁾ 政策研究大学院大学政策科学研究科, ⁶⁾ 一橋大学ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター)
- P-58 陽極酸化・水熱処理チタンと歯髄幹細胞の移植における表面形態および骨形成能の検討
○小林俊之¹⁾, 杉田好彦²⁾, 秦 正樹¹⁾, 松川良平¹⁾, 青柳敦士¹⁾, 今西悠華¹⁾, 萩尾健史³⁾, 黒田健介³⁾, 前田初彦²⁾, 武部 純¹⁾
(¹⁾ 愛知学院大学歯学部有床義歯学講座, ²⁾ 愛知学院大学歯学部口腔病理学・歯科法医学講座, ³⁾ 名古屋大学未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所)
- P-59 生体適合性向上を目的とした純チタン金属のマイクロ・ナノ構造変化
○山本真珠¹⁾, 三宅晃子²⁾, 楠本哲次²⁾, 小正 聡³⁾, 前川賢治³⁾, 関野 徹⁴⁾
(¹⁾ 大阪歯科大学大学院医療保健学研究科口腔科学専攻, ²⁾ 大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科, ³⁾ 大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座, ⁴⁾ 大阪大学産業科学研究所先端ハード材料研究分野)

- P-60 サンドブラスト処理した純チタン金属へのナノ構造処理が各種細胞の挙動に与える影響
○田淵開斗¹⁾, 三宅晃子²⁾, 楠本哲次²⁾, 小正 聡³⁾, 前川賢治³⁾, 関野 徹⁴⁾
(¹⁾ 大阪歯科大学大学院医療保健学研究科口腔科学専攻, ²⁾ 大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科,
³⁾ 大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座, ⁴⁾ 大阪大学産業科学研究所先端ハード材料研究分野)
- P-61 銀イオンと青色 LED を用いた感染チタンの殺菌と表面性状回復効果に関する基礎的検討
○岩渕太人, 天雲太一, 小川 徹, 佐々木啓一
(東北大学歯学部口腔システム補綴学分野)
- P-62 副甲状腺ホルモンの口腔内投与はインプラント周囲硬軟組織治癒を促進する
○ Al-Omari Farah. A, 黒嶋伸一郎, 右藤友督, 内田悠介, 澤瀬 隆
(長崎大学生命医科学域 (歯学系) 口腔インプラント学分野)
- P-63 短縮歯列患者に対する固定性インプラント義歯の治療効果についての前向き研究
○横井 匠, 楠本友里子, 渡部裕之, 安部友佳, 三田 稔, 原 真央子, 松本貴志, 酒向遥香,
河田蘭子, 馬場一美
(昭和大学歯学部歯科補綴学講座)

■ポスター発表 ニューロサイエンス

- P-64 過剰咬合による認知機能の抑制効果について
○前芝宗尚¹⁾, 堤 貴司²⁾, 後藤加寿子³⁾, 西村朋子¹⁾, 吉田兼義¹⁾, 中 四良⁴⁾, 都築 尊¹⁾
(¹⁾ 福岡歯科大学咬合修復学講座有床義歯学分野, ²⁾ 福岡歯科大学総合歯科学講座, ³⁾ 福岡医療短期大学, ⁴⁾ 九州支部)
- P-65 覚醒時ブラキシズムの程度と唾液中バイオマーカーの関係性
○生田真衣¹⁾, 飯田 崇¹⁾, 吉田一央¹⁾, 石井優貴¹⁾, 山川雄一郎¹⁾, 神山裕名¹⁾, 佐藤慶太郎²⁾,
小見山 道¹⁾
(¹⁾ 日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座, ²⁾ 明海大学歯学部病態診断治療学講座薬理学分野)
- P-66 閉塞性睡眠時無呼吸用口腔内装置の長期使用による咬合に対する影響 ―その 2―
○猪子芳美¹⁾, 清水公夫¹⁾, 岡田一哉²⁾, 井田 泉³⁾
(¹⁾ 日本歯科大学新潟病院, ²⁾ 東北・北海道支部, ³⁾ 関越支部)
- P-67 マウスガード装着がスポーツ中の体軸移動へ与える影響
○粕谷昂生, 渡邊 諒, 杉浦有佳子, 榊原 湊, 足立ことの, 山本寛明, 岩堀正俊, 都尾元宣
(朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科補綴学分野)

■ポスター発表 バイオロジー

- P-68 マウスガードの加圧形成時におけるメタルチェーンの応用 その 2 顎歯模型による検討
○中島一憲, 都合晋司, 筒井 新, 阪上隆洋, 松田祐明, 西野仁泰, 鈴木義弘, 佐藤武司, 島田 淳,
高山和比古, 澁澤真美, 武田友孝
(東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室)
- P-69 顎骨の機械的特性の評価 ―粘弾性モデルを用いたラット顎骨の理工学的検討―
○渡邊知恵¹⁾, Jingxiao Zhong^{1,2)}, 山下総太郎³⁾, 近藤祐介³⁾, 正木千尋³⁾, 細川隆司³⁾, 柴田 陽¹⁾
(¹⁾ 昭和大学歯学部歯科保存学講座歯科理工学部門, ²⁾ シドニー大学工学部航空宇宙工学分野,
³⁾ 九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野)
- P-70 抗酸化物質エダラボンによる移植細胞の生存率向上と機能維持を応用した骨増生法開発
○ Quang Nguyen Van, 秋葉陽介, 江口香里, 高岡由梨那, 秋葉奈美, 魚島勝美
(新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野)

- P-71 固有歯槽骨生じた引張り・圧縮応力が局所の骨吸収および骨形成に及ぼす影響
○松野 瞳¹⁾, 李 彬¹⁾, 毛利有紀¹⁾, 大河原久実¹⁾, 豊嶋悠輔¹⁾, 謝 倉右^{2,3)}, 村上奈津子¹⁾, 若林則幸¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体補綴歯科学分野, ²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔病理学分野, ³⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔基礎工学分野)
- P-72 骨移植におけるコラーゲンクロスリンクの影響
○山本 悠, 長澤麻沙子, 張 桐桐, 魚島勝美
(新潟大学医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野)
- P-73 頭頸部骨化の鍵となる膜性骨が関与する「Enthesis」の組織構築機序の解明
○北村 旭¹⁾, 山本将仁²⁾, 阿部伸一²⁾, 山下秀一郎¹⁾
(¹⁾ 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座, ²⁾ 東京歯科大学解剖学講座)
- P-74 BMP2 含有光重合型 PDVA 骨補填材における触媒量と骨置換効果
○窪田 (山田) 知枝¹⁾, 原 哲也¹⁾, 加藤 (市川) 知香¹⁾, 角谷 (桑原) 実穂¹⁾, 村上明日香¹⁾, 田仲持郎²⁾
(¹⁾ 岡山大学学術研究院医歯薬学域咬合・有床義歯補綴学分野, ²⁾ 中国・四国支部)
- P-75 ETS2 は二つの歯髄マーカー遺伝子を制御する 歯髄細胞分化に関する転写因子
○王 安然, 横山敦郎
(北海道大学歯学院口腔機能補綴学教室)
- P-76 ヒト歯肉線維芽細胞の Ce-TZP/Al₂O₃ に対する付着力の定量的評価
○大澤昂史, 山森庄馬, 浦野絵里, 岩佐文則, 馬場一美
(昭和大学歯学部歯科補綴学講座)
- P-77 マイクロナノパターンの表面性状が歯根膜線維芽細胞に与える影響
○工藤 円¹⁾, 吉田靖弘²⁾, 横山敦郎¹⁾
(¹⁾ 北海道大学大学院口腔機能学分野口腔機能補綴学教室, ²⁾ 北海道大学大学院口腔健康科学分野生体材料工学教室)
- P-78 培養歯根膜細胞における細胞外マトリックスのマルチオミックス解析
○土橋 梓¹⁾, 加来 賢¹⁾, Lay Thant^{2,3)}, 小林水輝¹⁾, 小野喜樹¹⁾, 魚島勝美¹⁾
(¹⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野, ²⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野, ³⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科高度口腔機能教育研究センター)
- P-79 マウス歯根膜細胞の主要 Laminin である Laminin-411 は細胞接着を促進させる
○小林水輝¹⁾, 加来 賢¹⁾, 土橋 梓¹⁾, Lay Thant^{2,3)}, 小野喜樹¹⁾, 魚島勝美¹⁾
(¹⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野, ²⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野, ³⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科高度口腔機能教育研究センター)
- P-80 ヒト顎骨骨髄由来間葉系幹細胞の脂肪分化制御における活性酸素種 (ROS) の役割
○池田菜緒¹⁾, 末廣史雄²⁾, 駒走尚大¹⁾, 宮田春香¹⁾, 櫻井智章¹⁾, 西 恭宏¹⁾, 西村正宏¹⁾
(¹⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野, ²⁾ 鹿児島大学病院義歯インプラント科)
- P-81 ヒト顎骨骨髄由来間葉系幹細胞における脂肪分化制御機構の解明
○宮田春香¹⁾, 末廣史雄²⁾, 駒走尚大²⁾, 池田菜緒¹⁾, 西村正宏¹⁾
(¹⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野, ²⁾ 鹿児島大学病院義歯インプラント科)
- P-82 シングルセル RNA-seq データ再解析によるヒト角化・非角化歯肉比較解析
○Hang Do Thuy^{1,2)}, 大野光昭^{1,3)}, 小盛大志^{2,4)}, 北川若奈^{1,2)}, 窪木拓男^{2,3)}, 大橋俊孝¹⁾
(¹⁾ 岡山大学学術研究院医歯薬学域分子医化学分野, ²⁾ 岡山大学学術研究院医歯薬学域インプラント再生補綴学分野, ³⁾ 岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門, ⁴⁾ 米国国立衛生研究所)
- P-83 Wnt/ β -catenin シグナルは歯周組織再生に寄与する
○小野喜樹, 加来 賢, 土橋 梓, 小林水輝, 魚島勝美
(新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野)

- P-84 ヒト多能性幹細胞を用いた膜内骨化再現系の開発と検証
○池田悠希^{1,2)}, 澤瀬 隆¹⁾, 大庭伸介²⁾
(¹⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔インプラント学分野, ²⁾ 大阪大学大学院歯学研究科口腔解剖学第一教室)
- P-85 L. rhamnosus L8020 バイオジェニクスがタイトジャンクションへ与える影響の検討
○神浦維吹¹⁾, 峯 裕一²⁾, 田地 豪¹⁾, 二川浩樹¹⁾
(¹⁾ 広島大学大学院医系科学研究科歯学分野口腔生物工学研究室, ²⁾ 広島大学大学院医系科学研究科歯学分野医療システム工学研究室)
- P-86 CPC 単剤洗口がデンチャープラーク内細菌叢に与える影響
○田原広子¹⁾, 池谷賢二¹⁾, 西 裕美²⁾, 塚原明弘¹⁾, 岩佐文則¹⁾, 馬場一美¹⁾
(¹⁾ 昭和大学歯学部歯科補綴学講座, ²⁾ 広島大学病院口腔総合診療科)
- P-87 近赤外光照射によりミノサイクリンの放出を制御する光機能性 CNHs の開発
○小西大輔, 平田恵理, 前田由佳利, 木村貞仁, 横山敦郎
(北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学講座口腔機能補綴学教室)
- P-88 セルロースナノファイバーの生物学的安全性および吸水性に関する基礎的検討
○山田有紀江¹⁾, 小川 徹¹⁾, 洪 光²⁾, 小出理絵¹⁾, 天雲太一¹⁾, 橋場洋美³⁾, 稲用 亨³⁾, 謝 子琪¹⁾, 濱田泰三¹⁾, 佐々木啓一⁴⁾
(¹⁾ 東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野, ²⁾ 東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンター国際連携推進部門, ³⁾ 中越パルプ工業株式会社, ⁴⁾ 東北大学大学院歯学研究科)
- P-89 ジルコニアに対する接着耐久性に関する研究 (3 報) 酸性プライマーの耐水効果について
○角井早紀¹⁾, 熊坂知就¹⁾, 星 憲幸¹⁾, 木本克彦¹⁾, 二瓶智太郎²⁾
(¹⁾ 神奈川歯科大学クラウン・ブリッジ補綴学分野, ²⁾ 神奈川歯科大学クリニカル・バイオマテリアル学分野)
- P-90 フェムト秒レーザー照射による高透光性ジルコニアの二軸曲げ強度評価
○許 開奇¹⁾, 猪越正直¹⁾, 吉原久美子²⁾, 劉 恒毅¹⁾, 水口俊介¹⁾
(¹⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野, ²⁾ 産業技術総合研究所健康医工学研究部門)
- P-91 口腔顔面痛はアロマセラピーで軽減する一口腔顔面痛モデル動物での評価
○井上美穂, 大島正充, 宮城麻友, 生田目大介, 松香芳三
(徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野)
- P-92 放射線性障害唾液腺に対する E-MNC 治療の作用機序解明研究
○叶井里歩¹⁾, 井 隆司²⁾, 本間 遼²⁾, 魚返拓利²⁾, 関 誠^{2,3)}, 村田比呂司¹⁾, 住田吉慶²⁾
(¹⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野, ²⁾ 長崎大学生命医科学域先進口腔医療開発学分野, ³⁾ セルアクシア株式会社)

■ポスター発表 口腔機能

- P-93 抗 VEGF 抗体の応用が糖尿病に伴う口腔乾燥症へおよぼす影響
○高橋祐介, 宗政 翔, 野代知孝, 向坊太郎, 近藤祐介, 正木千尋, 細川隆司
(九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野)
- P-94 デジタルワークフローを用いたミュージックスプリント内面のデザインに関する予備検討
○湯本華帆¹⁾, 鈴木善貴²⁾, 鴨居浩平³⁾, 大倉一夫²⁾, 小澤 彩²⁾, 新開瑞希²⁾, 谷脇竜弥²⁾, 柴垣あかり²⁾, 大川敏永⁴⁾, 河野文昭⁴⁾, 武川大輔⁵⁾, 大島正充²⁾, 松香芳三²⁾
(¹⁾ 徳島大学歯学部歯学科, ²⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野, ³⁾ 徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門技工室, ⁴⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部総合歯科学分野, ⁵⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部再生歯科治療学分野)

- P-95 シート圧接法と3Dプリント造形法によるスポーツマウスガードの装着感に関する調査
○菌部悠司郎¹⁾，福山卓志¹⁾，清宮一秀²⁾，中静利文²⁾，一色ゆかり¹⁾，井上 允³⁾，清水統太¹⁾，久保敦史¹⁾，中丸亜美¹⁾，片岡優加¹⁾，富永順平¹⁾，村上詩織¹⁾，岩下英夫¹⁾，瀧野奈穂¹⁾，宮本績輔¹⁾，井野 智¹⁾
(¹⁾ 神奈川歯科大学歯科補綴学講座有床義歯補綴学分野，²⁾ 神奈川歯科大学歯科診療支援学講座歯科技工学分野，³⁾ 神奈川歯科大学歯科補綴学講座クラウンブリッジ補綴学分野)
- P-96 振動型スプリントによる長期的な睡眠時ブラキシズム抑制効果に関する予備的研究
○前嶋康平，高場雅之，安部友佳，小原大宜，青木理紗，奥原志織，松山萌美，馬場一美
(昭和大学歯学部歯科補綴学講座)
- P-97 筋電計による咬合の評価方法についての検討
○渡邊 諒，山本寛明，粕谷昂生，杉浦有佳子，榊原 溪，足立ことの，岩堀正俊，都尾元宣
(朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科補綴学分野)
- P-98 溶出糖量による咀嚼機能検査は唾液分泌に影響される 一口腔水分量と刺激時唾液量から—
○西 恭宏¹⁾，山下裕輔¹⁾，櫻井智章¹⁾，池田菜緒¹⁾，原田佳枝¹⁾，末廣史雄²⁾，戸澤聖也¹⁾，益崎与泰¹⁾，宮田春香¹⁾，小野草太²⁾，村上 格²⁾，駒走尚大¹⁾，山田悠平¹⁾，中西悠梨香¹⁾，西村正宏¹⁾
(¹⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野，²⁾ 鹿児島大学病院成人系歯科センター義歯インプラント科)
- P-99 下顎側方偏位を伴う患者の偏位側の関節円板転位と咬合平面の傾きに関する横断的検討
○構 義徳^{1,2)}
(¹⁾ 東京支部，²⁾ 愛知学院大学歯学部冠橋義歯・口腔インプラント学講座)
- P-100 糖尿病モデルマウスにおける咀嚼動態の相違がアディポサイトカインに与える影響
○菅 悠希¹⁾，石川啓延¹⁾，豊下祥史¹⁾，横関健治¹⁾，高田紗理¹⁾，川西克弥¹⁾，古川裕三²⁾，佐久間孝二²⁾，寺澤秀朗³⁾，越野 寿^{1,3)}
(¹⁾ 北海道医療大学歯学部咬合再建補綴学分野，²⁾ 東北・北海道支部，³⁾ 東関東支部)
- P-101 全部床義歯装着者の咬合力と咀嚼能力
○水橋 史^{1,2)}，浅沼直樹¹⁾，水橋 亮³⁾，渡會侑子¹⁾，鈴木達大²⁾
(¹⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座，²⁾ 日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学，³⁾ 日本歯科大学新潟病院総合診療科)
- P-102 咀嚼側における骨格的指標の検討
○鈴木達大¹⁾，浅沼直樹²⁾，渡會侑子²⁾，水橋 史^{1,2)}
(¹⁾ 日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学，²⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座)
- P-103 高齢者の短縮歯列弓が口腔機能に及ぼす影響：前向きコホート研究
○Aye Mya Mya Khaing¹⁾，善本 佑¹⁾，長谷川陽子^{1,2)}，Ma. Therese Sta. Maria^{1,3)}，堀 一浩¹⁾，小野高裕⁴⁾
(¹⁾ 新潟大学大学院医学歯学研究科包括歯科補綴学分野，²⁾ 兵庫医科大学歯科口腔外科学講座，³⁾ マニラ中央大学歯学部補綴学分野，⁴⁾ 大阪歯科大学高齢者歯科学講座)
- P-104 姿勢の変化が咀嚼時の下顎運動に及ぼす影響について
○小山拳人¹⁾，坂口 究¹⁾，丸山智章²⁾，横山敦郎¹⁾
(¹⁾ 北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野口腔機能補綴学教室，²⁾ 茨城工業高等専門学校国際創造工学科情報系)
- P-105 におい強度に着目した咀嚼能率，唾液分泌量関連因子の同時推定法の検討
○後藤崇晴¹⁾，岸本卓大²⁾，藤本けい子¹⁾，田上義弘¹⁾，市川哲雄¹⁾
(¹⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野，²⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部総合診療歯科学分野)

- P-106 Kennedy Class I 患者における咬合支持数の左右差が偏咀嚼に与える影響について
○木下康平¹⁾, 大木郷資²⁾, 築山能大³⁾, 古谷野 潔⁴⁾, 鮎川保則^{1,2)}
(¹⁾九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野, ²⁾九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座クラウンブリッジ補綴学分野, ³⁾九州大学大学院歯学研究院総合歯科学講座歯科医学教育学分野, ⁴⁾九州大学大学院歯学研究院歯科先進医療評価・開発学講座)
- P-107 東北大学病院嚥下治療センターにおける嚥下障害と口腔機能低下の関連性の検討
○白石 成^{1,2)}, 互野 亮^{2,3)}, 小宮山貴将^{2,4)}, 泉田一賢^{2,3)}, 西條佳奈^{1,5)}, 小川 徹¹⁾, 小山重人^{2,3)}, 佐々木啓一⁶⁾
(¹⁾東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野, ²⁾東北大学病院嚥下治療センター, ³⁾東北大学病院顎顔面再建治療部, ⁴⁾東北大学大学院歯学研究科加齢歯科学分野, ⁵⁾仙台青葉学院短期大学歯科衛生学科, ⁶⁾東北大学大学院歯学研究科先端フリーラジカル制御学共同研究講座・次世代歯科材料工学共同研究講座)
- P-108 被引用状況からみた客観的咀嚼能力の研究動向に関する文献調査
○笛木賢治, 稲用友佳, 李 雅杰, 張 凌波, Omnia Saleh
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野)

■ポスター発表 教育

- P-109 デジタル化に対応したクラウンブリッジ補綴学実習の検討
○細木真紀¹⁾, 生田目大介¹⁾, 宮城麻友¹⁾, 大倉一夫¹⁾, 井上美穂¹⁾, 小澤 彩¹⁾, 柴垣あかり¹⁾, 谷脇竜弥¹⁾, 鴨居浩平²⁾, 板東伸幸¹⁾, 吉原靖智¹⁾, 大島正充¹⁾, 鈴木善貴¹⁾, 新開瑞希¹⁾, 松香芳三¹⁾
(¹⁾徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野, ²⁾徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門)
- P-110 硬組織および軟組織融合型無歯顎模型の開発とその効果—第2報— 学生に対する教育効果
○竜 正大¹⁾, 齋藤 壮¹⁾, 山本将仁²⁾, 阿部伸一²⁾, 上田貴之¹⁾
(¹⁾東京歯科大学老年歯科補綴学講座, ²⁾東京歯科大学解剖学講座)
- P-111 若年者の前歯部人工歯排列に対する審美感覚の検討
○大楠弘通, 渡辺崇文, 槇原絵理, 八木まゆみ, 李 宙垣, 有田正博
(九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野)
- P-112 歯科技工士養成機関における院内感染対策教育に関するアンケート調査
○中村太志¹⁾, 野見山和貴²⁾, 大楠弘通³⁾, 渡辺崇文³⁾, 八木まゆみ³⁾, 槇原絵理³⁾, 有田正博³⁾
(¹⁾九州歯科大学口腔機能学講座歯周病学分野, ²⁾IVY 大分医療総合専門学校歯科技工科, ³⁾九州歯科大学口腔機能学講座顎口腔欠損再構築学分野)

■ポスター発表 症例

- P-113 無歯顎患者に生じた筋筋膜痛の一例
○志田真佑子, 白田 頌, 中川種昭, 堀江伸行, 鈴木 潔, 鈴木啓介, 西山留実子, 陳 明輝
(慶應義塾大学病院医学部歯科・口腔外科学教室)
- P-114 パッチテストを元にレジン及び金属アレルギーを有する患者の治療方法を検討した症例
○松村茉由子^{1,2)}, 谷中 航²⁾, 野崎浩佑³⁾, 駒田 亘²⁾, 北崎祐之¹⁾, 馬場史郎¹⁾, 松村光明¹⁾, 笛木賢治²⁾
(¹⁾東京医科歯科大学病院歯科アレルギー外来, ²⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野, ³⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体補綴歯科学分野)
- P-115 下顎辺縁切除術後早期に骨延長術を開始し機能回復を図ったインプラント補綴症例
○佐藤康太郎, 坪井亮仁, 日比英晴
(名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学講座顎顔面外科学)

- P-116 歯の動揺を改善するため隣接するインプラントと暫間固定した症例
○佐久間大季¹⁾, 山森徹雄¹⁾, 池田敏和¹⁾, 松本知生¹⁾, 内山梨夏¹⁾, 飯島康基¹⁾, 佐々木慎一¹⁾, 曾根晶子¹⁾, 橋原 楓¹⁾, 難波郁雄²⁾, 寺門正徳²⁾
(¹⁾ 奥羽大学歯学部歯科補綴学講座, ²⁾ 東関東支部)
- P-117 上顎右側中切歯欠損に対しジルコニアカンチレバー接着ブリッジによる補綴を行った一例
○西原 裕¹⁾, 松前 団²⁾, 中村祐輔¹⁾, 原田博行¹⁾, 中村健太郎³⁾, 山本司将³⁾
(¹⁾ 中国・四国支部, ²⁾ 関西支部, ³⁾ 東海支部)
- P-118 接着ブリッジ未経験術者による接着技法を用いた審美性回復の一症例
○大川友成¹⁾, Matthias Kern²⁾, 中村健太郎¹⁾, 山本司将¹⁾
(¹⁾ 東海支部, ²⁾ Christian-Albrechts-University to Kiel)
- P-119 暫間被覆冠で得られた Subgingival contour を最終補綴装置に移行した症例
○宮園祥爾, 加我公行, 柴口 塊, 高江洲 雄, 山口雄一郎, 松浦尚志
(福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野)
- P-120 下顎第一大臼歯に対して, エンドクラウンを用いて歯冠補綴を行った一症例
○渡辺崇文¹⁾, 吉居慎二²⁾, 正木千尋³⁾, 森 亮太⁴⁾, 畑 賢太郎³⁾, 駒形裕也⁵⁾, 池田 弘⁶⁾
(¹⁾ 九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野, ²⁾ 九州歯科大学 LD 教育推進学分野, ³⁾ 九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野, ⁴⁾ 有限会社セラモテックシステム, ⁵⁾ 横須賀歯科医院, ⁶⁾ 九州歯科大学学生体材料学分野)
- P-121 補綴前処置の併用により前歯部審美障害を改善した 1 症例
○柴口 塊
(福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野)
- P-122 睡眠時ブラキシズム患者に装着したアプライアンスの変形を観察した症例
○小澤 彩¹⁾, 鈴木善貴¹⁾, 田島登誉子¹⁾, 大川敏永²⁾, 鴨居浩平³⁾, 大倉一夫¹⁾, 谷脇竜弥¹⁾, 井上美穂¹⁾, 吉原靖智¹⁾, 大島正充¹⁾, 安陪 晋²⁾, 松香芳三¹⁾
(¹⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野, ²⁾ 徳島大学総合診療歯科分野, ³⁾ 徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門技工室)
- P-123 補綴治療後から生じた様々な症状に対してナラティブを基に対処した一例
○島田 淳, 島田百子
(東京支部)
- P-124 骨移植材としての下顎骨隆起における骨質の評価
○新藤弘海, 柴口 塊, 小川修平, 藤本啓貴, 松浦尚志
(福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野)
- P-125 パーシャルデンチャーのデジタル製作の現状
○鈴木恭典, 武山丈徹, 新保秀仁, 栗原大介, 鈴木みどり, 大久保力廣
(鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座)
- P-126 歯周組織の安定と審美性に配慮したスウィングウェッジアタッチメント義歯
○白井麻衣, 佐藤洋平, 鈴木銀河, 仲田豊生, 大久保力廣
(鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座)
- P-127 口腔内スキャナーを用いた下顎頭吸収に伴う顎位の経時的変化の評価
○森岡詞音¹⁾, 高岡亮太¹⁾, 森口大輔¹⁾, 久山晃太郎¹⁾, 山本梨絵¹⁾, 植田 陽¹⁾, 石川恵美¹⁾, 奥田眞夫²⁾, 若林一道¹⁾, 石垣尚一¹⁾
(¹⁾ 大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野, ²⁾ 関西支部)
- P-128 口腔内スキャナーとバーチャル咬合器を用いた予知性の高い咬合調整法
○岡本 信¹⁾, 熊谷元希¹⁾, 宮崎朱里¹⁾, 岡本美々子¹⁾, 井上誠太¹⁾, 安部 克¹⁾, 森 慎吾¹⁾, 前田直人¹⁾, 沖 和広¹⁾, 西川悟郎²⁾, 皆木省吾³⁾
(¹⁾ 中国・四国支部, ²⁾ 岡山大学歯学部, ³⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科咬合・有床義歯補綴学分野)

- P-129 異なる咬合面形態の人工歯を作製し咀嚼機能の比較を行った片側性遊離端義歯
○浅井宏行¹⁾，黒松慎司¹⁾，岡本貴富¹⁾，中村健太郎²⁾，山本司将²⁾
(¹⁾ 関西支部，²⁾ 東海支部)
- P-130 対向関係が不良な遊離端欠損に対し常温重合レジンを用いた人工歯を用いた症例
○黒松慎司¹⁾，岡本貴富¹⁾，浅井宏行¹⁾，中村健太郎²⁾，山本司将²⁾
(¹⁾ 関西支部，²⁾ 東海支部)
- P-131 基礎床の安定を図るためセントラルベアリングトレーシングデバイスを用いた歯科技工
○小川和延¹⁾，田端和高¹⁾，中村健太郎²⁾，山本司将²⁾
(¹⁾ 関西支部，²⁾ 東海支部)
- P-132 新型セントラルベアリングトレーシングデバイスを用いた全部床義歯の歯科技工
○大原芳和，三ツ口武志，中村健太郎，山本司将
(東海支部)

■ポスター発表 学会主導研究

- P-133 咀嚼機能検査法と健康関連パラメータとの相関についてのスコーピングレビュー
○安部友佳^{1,9)}，稲用友佳^{2,9)}，瀧 洋平³⁾，楠本友里子¹⁾，上田貴之^{4,9)}，佐々木啓一^{5,9)}，
窪木拓男^{6,9)}，眞鍋雄太^{7,9)}，木本克彦^{8,9)}，笛木賢治^{2,9)}，馬場一美¹⁾
(¹⁾ 昭和大学歯学部歯科補綴学講座，²⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野，³⁾ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野，⁴⁾ 東京歯科大学老年歯科補綴学講座，⁵⁾ 東北大学大学院歯学研究科先端フリーラジカル制御学共同研究講座・次世代歯科材料工学共同研究講座，⁶⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野，⁷⁾ 神奈川歯科大学歯学部臨床科学系医科学講座認知症・高齢者総合内科，⁸⁾ 神奈川歯科大学クラウンブリッジ補綴学分野，⁹⁾ 公益社団法人日本補綴歯科学会 研究企画推進委員会 (2021-2022 年度))

General Information

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

Main Theme

Future of Prosthodontics, Future of Dentistry. “Creation of Innovations toward Society 5.0”

Date

May 19 (Fri.) – 21 (Sun.), 2023

Venue

PACIFICO Yokohama Conference Center
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, JAPAN

Congress President

Prof. Kazuyoshi Baba (Showa University)

Registration

Please note that name tags must be worn at the venue and social events organized as part of the congress.

<Registration Fee>

	Through 11:59 am April 18, 2023	12:00 pm April 18 – 11:59 am May 21, 2023
Member, Company member	JPY15,000-	JPY20,000-
Supporting member	JPY15,000-	JPY20,000-
Temporary member (Regular)	JPY5,000-	JPY7,500-
Temporary member (Undergraduate student)	JPY1,000-	JPY2,000-
Non-member (Regular)	JPY20,000-	JPY25,000-
Non-member (Undergraduate student)	JPY2,000-	JPY3,000-

*All undergraduate students are required to upload a copy of the valid student card to complete registrations.

*Payment of registration fees (in Japanese Yen) can be made only by Credit Card: Visa, MasterCard, Diners or American Express

<Through April 18, 2023 at 11:59 AM (JST)>

Please download your name card issued from the registration website, and wear it at the venue.

Certificate of attendance and registration fee receipt can be downloaded from the print it out, and bring it with you to the venue.

<Between April 18 at 12:00 PM and May 21, 2023 at 11:59 AM (JST) >

Name card (with receipt) will be issued when you check in at the registration desk from

May 19 to 21.

Certificate of attendance and registration fee receipt can be downloaded from the registration website.

<Registration Changes and Cancellation>

No refunds for cancellations made after payment of registration fee.

Please review all of your registration information carefully before your registration and payment are confirmed.

Changes of personal information such as name of institution, phone number, address, etc. can be made online through the registration website.

If you have any inquiries about registration through the website, please contact the Secretariat by email (jps132@kwcs.jp).

Banquet

Date: May 19 (Fri), 2023, 18:00-

Venue: HOH-SHOH, 3F, Yokohama Royal Park Hotel

Banquet Registration Fee: JPY 14,000

Banquet fee is not included in the registration fee.

All Banquet participants are required to make reservation prior to 11:59 pm on April 28, 2023.

Contact

Please contact the Congress Secretariat if you have any enquiries:

<Congress Secretariat of the 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society>

c/o KYODOPLUS CORPORATION

2346-1 Senoo, Minami-ku, Okayama, 701-0205 JAPAN

Phone:+81-86-250-7681 Fax:+81-86-250-7682

Email: jps132@kwcs.jp

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

May 19 (Fri.)

	Room 2	Room 3	Room 4	Room 5	Yokohama Royal Park Hotel
	General Meeting Meeting of Japanese Association for Dental Science Educational Lecture 1 (On-site & Live-streaming) 3F 301+302	Written Exam for Specialists (On-site) 3F 303+304	Press Conference (On-site) 4F 414+415	Executive Board Meeting Board Meeting Committee Meeting (On-site) 4F 411+412	Banquet 3F HOH-SHOH
10:00					
				Executive Board Meeting	
11:00					
				Board Meeting	
12:00					
				Committee Meeting	
13:00	General Meeting Registration				
14:00					
		Registration for Written Exam for Specialists			
15:00					
		Written Exam for Specialists			
16:00	Meeting of Japanese Association for Dental Science				
	Educational Lecture 1 Patient safety in home-visit dental care		Press Conference		
17:00					
18:00					
19:00					Banquet
20:00					
21:00					

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

May 20 (Sat.)

	Room 1	Room 2	Room 3	Room 4	Room 5	Poster	Exhibition	Meet the Experts
	(On-site & Live-streaming) 1F Main Hall	(On-site & Live-streaming) 3F 301+302	(On-site) 3F 303+304	(On-site) 4F 414+415	(On-site) 4F 411+412	(On-site & On-demand) 5F 501+502	(On-site & Virtual) 5F Foyer 511+512	(On-site) 4F 416+417
8:00								
						Poster Setup		
	Opening Ceremony							
9:00	Oral Presentation Competition 1 Smart Prosthodontics 1 ~ 3	Oral Presentation Competition 2 Clinical Evidence 4 ~ 6	Oral Presentation Competition 3 Biology 7 ~ 9	Hands-on Seminar 1-1 Skill up the magnetic attachment - Laboratory and clinical procedure -	Hands-on Seminar 2-1 Practice of intraoral scanner Ver.5	Poster Exhibition	Exhibition	
10:00								
	President's Lecture Contributing society as a prosthodontic specialist - To produce further values of the prosthodontics -							
				Hands-on Seminar 1-2 Skill up the magnetic attachment - Laboratory and clinical procedure -	Hands-on Seminar 2-2 Practice of intraoral scanner Ver.5			
11:00	Symposium 1 Mastering occlusion, the basis of prosthodontics	Clinical Lecture Series 1 How do we manage anterior hyperfunction? - Etiology and prosthetic treatment concept -	Oral Presentation 1 01-1 ~ 01-3	Skill up the magnetic attachment - Laboratory and clinical procedure -	Practice of intraoral scanner Ver.5			
			Oral Presentation 2 01-4 ~ 01-6					
12:00			Oral Presentation 3 01-7 ~ 01-9					
	Luncheon Seminar 1 A new approach to understand the bruxism from the central nervous system perspective	Luncheon Seminar 2 Key points for using denture adhesives in oral function management	Luncheon Seminar 3 A must for clinicians: Emerging trends and hidden risks of newly developed implant systems	Luncheon Seminar 4 Material selection in esthetic dentistry	Luncheon Seminar 5 The usefulness and prospects of the digital ecosystem advocated by Dentsply Sirona	Poster Session (odd number)		Meet the Experts
13:00								
	Oral Presentation 4 01-10 ~ 01-12	Oral Presentation 5 01-13 ~ 01-15	Oral Presentation 6 01-16 ~ 01-18			Poster Exhibition		
14:00								
	International Special Lecture Is evidenced based treatment planning in prosthetic dentistry realistic or only an illusion?	Clinical Practice Guideline Committee Seminar Denture reline update	Oral Presentation 7 01-19 ~ 01-21	Hands-on Seminar 3-1 Practice of diagnosis of sleep bruxism by using a wearable electromyographic device	Hands-on Seminar 4 Periodontal plastic surgery required for comprehensive prosthodontic treatment			
15:00			Oral Presentation 8 01-22 ~ 01-24					
			Oral Presentation 9 01-25 ~ 01-27					
16:00	Main Symposium Biological research implemented in clinical practice ~ From laboratory to clinic ~	Clinical Lecture Series 2 Telescopic denture ~ Considering effective use in clinical practice -	Oral Presentation 10 01-28 ~ 01-30	Hands-on Seminar 3-2 Practice of diagnosis of sleep bruxism by using a wearable electromyographic device				
				Symposium 2 Thorough comparison of lithium disilicate glass ceramics and zirconia ceramics for ceramic restorations				
17:00								
18:00								
	Extreme Clinical Session Could occlusal veneers be a useful fixed dental prosthesis?	Evening Session 1 Rethink appropriate mandibular position of oral appliances for obstructive sleep apnea from risk and benefit	Evening Session 2 Prognosis of abutment teeth and opposing teeth for removable prosthesis	Evening Session 3 Bone response around dental implant Translating basic research findings to dental implant treatment	Evening Session 4 Vital points for monolithic zirconia prosthesis ~ From basic to advanced ~			
19:00								

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

May 21 (Sun.)

	Room 1	Room 2	Room 3	Room 4	Room 5	Poster	Exhibition
	(On-site & Live-streaming) 1F Main Hall	(On-site & Live-streaming) 3F 301+302	(On-site) 3F 303+304	(On-site) 4F 414+415	(On-site) 4F 411+412	(On-site & On-demand) 5F 501+502	(On-site & Virtual) 5F Foyer 511+512
8:00							
		Educational Lecture 2 Infection prevention and control in dental practice	Clinical Research Seminar Basics of writing clinical research papers				
9:00							
	Special Lecture Toward the end of the COVID-19 pandemic	Clinical Skills Seminar Essentials for denture adjustment	Dental Technician Session Current status of digital dentures: Session for introduction and effective manufacturing process	Hands-on Seminar 5 The box-joint technique for fully digital workflow in removable partial denture fabrication	Hands-on Seminar 6 The practice of virtual wax up in digital dentistry	Poster Exhibition	Exhibition
10:00	Case Report Competition Collaboration cases with dental technician	Symposium 3 Application of real world data in dentistry	Oral Presentation 11 02-1 ~ 02-3				
			Oral Presentation 12 02-4 ~ 02-6				
11:00							
		Dental Hygienist Session Intraoral scanners and other rapidly advancing digital dentistry practices for dental hygienists to learn	Symposium 4 New perspectives on prosthodontic medicine using single cell biology and bioinformatics				
12:00							
	Luncheon Seminar 6 How to use IOS to accelerate the communication with patients	Luncheon Seminar 7 <i>Lactobacillus rhamnosus</i> L8020 and immobilizing antimicrobial agent Etak	Luncheon Seminar 8 3D printing denture for the coming era	Luncheon Seminar 9 Esthetic prosthesis applying simple and rational adhesive dentistry	Luncheon Seminar 10 Nexus iOS® enabled full-arch solution -Features and clinical applications-	Poster Session (even number)	
13:00							
	Specialist Seminar The solutions for the challenging prosthetic cases: Part 2; The patients with obstructive sleep apnea	Clinical Lecture Series 3 The landing of current prosthodontics: Step from tooth preparation to restorations	Symposium 5 Towards a guideline for dental metal allergy treatments			Poster Exhibition	
14:00							
						Remove poster	
15:00							
16:00	Closing Ceremony Award Ceremony						
17:00							

The 132nd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

■ President's Lecture

May 20 (Sat.) Room 1 10 : 10 ~ 10 : 50

**Cotributing society as a prosthodontic specialist
– To produce further values of the prosthodontics –**

Chairperson : Kazuyoshi Baba (Showa University)

Speaker : Takuo Kuboki (Okayama University)

■ Special Lecture

May 21 (Sun.) Room 1 9 : 00 ~ 10 : 00

Toward the end of the COVID-19 pandemic

Chairperson : Kazuyoshi Baba (Showa University)

Speaker : Yoshihito Niki (Showa University)

■ International Special Lecture

May 20 (Sat.) Room 1 14 : 10 ~ 15 : 40

Is evidenced based treatment planning in prosthetic dentistry realistic or only an illusion?

Chairpersons : Ryuji Hosokawa (Kyushu Dental University)

Atsuro Yokoyama (Hokkaido University)

Speaker : Bjarni E. Pjetursson (University of Geneva)

■ Main Symposium

May 20 (Sat.) Room 1 16 : 00 ~ 18 : 00

Biological research implemented in clinical practice

~ From laboratory to clinic ~

Chairpersons : Kazuhiro Hikita (Health Sciences University of Hokkaido)

Hiroshi Egusa (Tohoku University)

Speakers : Takashi Sawase (Nagasaki University)

Takuo Kuboki (Okayama University)

Yasuhiro Yoshida (Hokkaido University)

Hiroki Nikawa (Hiroshima University)

■ Symposium 1

May 20 (Sat.) Room 1 11 : 00 ~ 12 : 30

Mastering occlusion, the basis of prosthodontics

Chairpersons : Shuichiro Yamashita (Tokyo Dental College)

Masaru Yatabe (Tokyo Branch)

Speakers : Shuji Shigemoto (Tsurumi University)

Hideaki Ueda (Kyushu Branch)

Kentaroh Nakamura (Tokai Branch)

■ Symposium 2

May 20 (Sat.) Room 3 16 : 30 ~ 18 : 00

Thorough comparison of lithium disilicate glass ceramics and zirconia ceramics for ceramic restorations

Chairpersons : Futoshi Komine (Nihon University)

Hiroyuki Minami (Kagoshima University)

Speakers : Seiji Ban (Aichi Gakuin University)

Masanao Inokoshi (Tokyo Medical and Dental University)

Takafumi Otani (Kansai Branch)

■ Symposium 3

May 21 (Sun.) Room 2 10 : 10 ~ 11 : 10

Application of real world data in dentistry

Chairpersons : Kazunori Ikebe (Osaka University)
Kenji Fueki (Tokyo Medical and Dental University)
Speakers : Ryohei Yamamoto (Health and Counseling Center, Osaka University)
Tomoaki Mameno (Osaka University)

■ Symposium 4

May 21 (Sun.) Room 3 11 : 20 ~ 12 : 20

New perspectives on prosthodontic medicine using single cell biology and bioinformatics

Chairpersons : Yosuke Akiba (Niigata University)
Masamitsu Oshima (Tokushima University)
Speakers : Shinsuke Ohba (Osaka University)
Mitsuaki Ono (Okayama University)

■ Symposium 5

May 21 (Sun.) Room 3 13 : 30 ~ 15 : 30

Towards a guideline for dental metal allergy treatments

Chairpersons : Hiroshi Egusa (Tohoku University)
Atsushi Mine (Osaka University)
Speakers : Akiko Yagami (Fujita Health University)
Mikihito Kajiya (Hiroshima University)
Chihiro Masaki (Kyushu Dental University)
Yosuke Akiba (Niigata University)

■ Clinical Practice Guideline Committee Seminar

May 20 (Sat.) Room 2 14 : 10 ~ 15 : 40

Denture reline update

- Chairpersons : Masahiro Nishimura (Kagoshima University)
Yoshizo Matsuka (Tokushima University)
- Speakers : Hiroshi Murata (Nagasaki University)
Yasuhiko Kawai (Nihon University School of Dentistry at Matsudo)
Yoko Hasegawa (Niigata University)

■ Clinical Skills Seminar

May 21 (Sun.) Room 2 9 : 00 ~ 10 : 00

Essentials for denture adjustment

- Chairpersons : Hiroshi Murata (Nagasaki University)
Shunsuke Minakuchi (Tokyo Medical and Dental University)
- Speakers : Takashi Tsuzuki (Fukuoka Dental College)
Suguru Kimoto (Aichi Gakuin University)

■ Clinical Lecture Series 1

May 20 (Sat.) Room 2 11 : 00 ~ 12 : 30

How do we manage anterior hyperfunction?

- Etiology and prosthetic treatment concept -

- Chairpersons : Noriyuki Wakabayashi (Tokyo Medical and Dental University)
Sayaka Tada (National University of Singapore)
- Speakers : Yoichiro Ogino (Kyushu University)
Tetsuo Ohyama (Nihon University)
Tamaki Nakano (Osaka University)

■ Clinical Lecture Series 2

May 20 (Sat.) Room 2 16 : 00 ~ 18 : 00

Telescopic denture – Considering effective use in clinical practice –

- Chairpersons : Shuichiro Yamashita (Tokyo Dental College)
Jyoji Tanaka (Higashi Kanto Branch)
- Speakers : Takashi Tsuzuki (Fukuoka Dental College)
Eri Makihara (Kyushu Dental University)
Akinori Tasaka (Tokyo Dental College)

■ Clinical Lecture Series 3

May 21 (Sun.) Room 2 13 : 30 ~ 15 : 30

The landing of current prosthodontics: Step from tooth preparation to restorations

- Chairpersons : Kenji Tsuchiya (Society of Japan Clinical Dentistry)
Yasunori Ayukawa (Kyushu University)
- Speakers : Toyokazu Chiba (Society of Japan Clinical Dentistry)
Nobuyasu Seto (Society of Japan Clinical Dentistry)
Yusaku Ito (Society of Japan Clinical Dentistry)

■ Case Report Competition

May 21 (Sun.) Room 1 10 : 10 ~ 12 : 20

Collaboration cases with dental technician

- Chairpersons : Daisuke Higuchi (Matsumoto Dental University)
Makoto Kuga (Nishi-Kanto Branch)
- Speakers : Hidefumi Nishiyama • Ken Takahashi (Society of Japan Clinical Dentistry)
Naoki Kodama (Okayama University) • Aiko Shinmachi (Kansai Branch)
Mariko Hattori • Yuichi Yamatani (Tokyo Medical and Dental University)
Hiroyuki Asai • Shinji Kuromatsu (Kansai Branch)
Shinpei Tanaka • Miya Furudate (Showa University)
Tetsuya Uchiyama • Michiro Manaka (Society of Japan Clinical Dentistry)

■ Specialist Seminar

May 21 (Sun.) Room 1 13 : 30 ~ 15 : 30

The solutions for the challenging prosthetic cases: Part 2; The patients with obstructive sleep apnea

Chairpersons : Yasuhiko Kawai (Nihon University School of Dentistry at Matsudo)
Eri Makihara (Kyushu Dental University)

Speakers : Yuko Shigeta (Tsurumi University)
Hiroyuki Ishiyama (Tokyo Medical and Dental University)
Takafumi Watanabe (Kyushu Dental University)

■ Dental Technician Session

May 21 (Sun.) Room 3 9 : 00 ~ 10 : 00

Current status of digital dentures: Session for introduction and effective manufacturing process

Chairpersons : Manabu Kanazawa (Tokyo Medical and Dental University)
Kenichi Matsuda (Kansai Branch)

Speakers : Masahiro Ryu (Tokyo Dental College)
Keita Yoshida (Kanetsu Branch)

■ Dental Hygienist Session

May 21 (Sun.) Room 2 11 : 20 ~ 12 : 20

Intraoral scanners and other rapidly advancing digital dentistry practices for dental hygienists to learn

Chairpersons : Hisatomo Kondo (Aichi Gakuin University)
Noriyuki Hoshi (Kanagawa Dental University)

Speakers : Jyoji Tanaka (Higashi Kanto Branch)
Noriko Yoshikubo (Koike Dental Clinic)

■ Hands-on Seminar 1

May 20 (Sat.) Room 4 9 : 00 ~ 10 : 30
Room 4 10 : 40 ~ 12 : 10

Skill up the magnetic attachment – Laboratory and clinical procedure –

Instructor : Yasunori Suzuki (Tsurumi University)
Support Companies : J.Morita Corporation/ KEDC CO.,LTD.

■ Hands-on Seminar 2

May 20 (Sat.) Room 5 9 : 00 ~ 10 : 30
Room 5 10 : 40 ~ 12 : 10

Practice of intraoral scanner Ver.5

Instructor : Daisuke Higuchi (Matsumoto Dental University)
Support Companies : SHOFU INC./ Nobel Biocare Japan K.K./ NIPPON PISTON RING CO., LTD

■ Hands-on Seminar 3

May 20 (Sat.) Room 4 14 : 10 ~ 15 : 40
Room 4 16 : 00 ~ 17 : 30

Practice of diagnosis of sleep bruxism by using a wearable electromyographic device

Instructor : Taihiko Yamaguchi (Hokkaido University)
Support Company : GC CORPORATION

■ Hands-on Seminar 4

May 20 (Sat.) Room 5 14 : 10 ~ 17 : 30

Periodontal plastic surgery required for comprehensive prosthodontic treatment

Instructors : Norimi Oda (Okayama University)
Wataru Sonoyama (Okayama University)
Support Companies : SHOFU INC./ Hu-Friedy Japan LLC./ PENTRON JAPAN INC./
QUINTESSENCE PUBLISHING

■ Hands-on Seminar 5

May 21 (Sun.) Room 4 9 : 00 ~ 12 : 00

The box-joint technique for fully digital workflow in removable partial denture fabrication

Instructor : Shinichi Nakanoda (insidefield Co., Ltd.)

Support Companies : EXCEL DENTAL INSTITUTE INC./ KOBAYASHI DENTAL CLINIC/
Dental Digital Operation, Inc./ ROKKO SHIKEN CO., LTD.

■ Hands-on Seminar 6

May 21 (Sun.) Room 5 9 : 00 ~ 12 : 00

The practice of virtual wax up in digital dentistry

Instructors : Atsuo Uematsu (Society of Japan Clinical Dentistry)

Kenichiro Sadamitsu (Society of Japan Clinical Dentistry)

Shigeharu Yoshida (Society of Japan Clinical Dentistry)

Support Company : PLANMECA OY

■ Educational Lecture 1

May 19 (Fri.) Room 2 16 : 00 ~ 17 : 00

Patient safety in home-visit dental care

Chairperson : Kazuya Takahashi (Osaka Dental University)

Speaker : Junichi Furuya (Showa University)

■ Educational Lecture 2

May 21 (Sun.) Room 2 8 : 00 ~ 9 : 00

Infection prevention and control in dental practice

Chairperson : Tetsuji Nakamoto (Asahi University)

Speaker : Masaomi Kono (Dental Infection Prevention and Control Research Group)

■ Clinical Research Seminar

May 21 (Sun.) Room 3 8 : 00 ~ 9 : 00

Basics of writing clinical research papers

Chairperson : Yuka Inamochi (Tokyo Medical and Dental University)

Speakers : Yuka Inamochi (Tokyo Medical and Dental University)
Junichiro Wada (Tokyo Medical and Dental University)

■ Extreme Clinical Session

May 20 (Sat.) Room 1 18 : 20 ~ 19 : 20

Could occlusal veneers be a useful fixed dental prosthesis?

Chairpersons : Akikazu Shinya (Nippon Dental University)
Koichi Yamamoto (Society of Japan Clinical Dentistry)

Speakers : Masayuki Okawa (Society of Japan Clinical Dentistry)
Shogo Yamamoto (Bianco e Rosso)

■ Evening Session 1

May 20 (Sat.) Room 2 18 : 20 ~ 19 : 20

Rethink appropriate mandibular position of oral appliances for obstructive sleep apnea from risk and benefit

Coordinator : Kentaro Okuno (Osaka Dental University)

Presenters : Kentaro Okuno (Osaka Dental University)
Hiroyuki Ishiyama (Tokyo Medical and Dental University)
Yoshitaka Suzuki (Tokushima University)

■ Evening Session 2

May 20 (Sat.) Room 3 18 : 20 ~ 19 : 20

Prognosis of abutment teeth and opposing teeth for removable prosthesis

Coordinator : Mai Shirai (Tsurumi University)
Presenters : Toshifumi Nogawa (Hokkaido University)
Yoshitaka Tsujioka (Osaka University)
Yukari Oda (Tokyo Dental College)

■ Evening Session 3

May 20 (Sat.) Room 4 18 : 20 ~ 19 : 20

Bone response around dental implant

Translating basic research findings to dental implant treatment

Coordinator : Yohei Jinno (Kyushu University)
Presenters : Shinichiro Kuroshima (Nagasaki University)
Nobuhiro Yoda (Tohoku University)
Yohei Jinno (Kyushu University)

■ Evening Session 4

May 20 (Sat.) Room 5 18 : 20 ~ 19 : 20

Vital points for monolithic zirconia prosthesis ~ From basic to advanced ~

Coordinator : Yu Takaesu (Fukuoka Dental College)
Presenters : Ryota Takaoka (Osaka University)
Naoyuki Kaga (Fukuoka Dental College)

■ Meet the Experts

May 20 (Sat.) Meet the Experts Room 12 : 40 ~ 13 : 20

Instructors : Atsuo Uematsu (Society of Japan Clinical Dentistry)
Sawako Yokoyama (Showa University)
Masahiro Yamada (Tohoku University)
Atsushi Mine (Osaka University)
Kenji Fueki (Tokyo Medical and Dental University)

■ Luncheon Seminar 1

May 20 (Sat.) Room 1 12 : 40 ~ 13 : 20

A new approach to understand the bruxism from the central nervous system perspective

Chairperson : Osamu Komiyama (Nihon University School of Dentistry at Matsudo)

Speaker : Takashi Iida (Nihon University School of Dentistry at Matsudo)

Support Company : SUNSTAR INC.

■ Luncheon Seminar 2

May 20 (Sat.) Room 2 12 : 40 ~ 13 : 20

Key points for using denture adhesives in oral function management

Chairperson : Kaoru Sakurai (Tokyo Branch)

Speaker : Takayuki Ueda (Tokyo Dental College)

Support Company : GlaxoSmithKline Consumer Healthcare Japan K.K.

■ Luncheon Seminar 3

May 20 (Sat.) Room 3 12 : 40 ~ 13 : 20

A must for clinicians:

Emerging trends and hidden risks of newly developed implant systems

Speakers : Ryuji Hosokawa (Kyushu Dental University)

Chihiro Masaki (Kyushu Dental University)

Support Company : Nobel Biocare Japan K.K.

■ Luncheon Seminar 4

May 20 (Sat.) Room 4 12 : 40 ~ 13 : 20

Material selection in esthetic dentistry

Speaker : Tadahiko Nakano (Society of Japan Clinical Dentistry)

Support Company : GC CORPORATION

■ Luncheon Seminar 5

May 20 (Sat.) Room 5 12 : 40 ~ 13 : 20

The usefulness and prospects of the digital ecosystem advocated by Dentsply Sirona

Speaker : Masami Arai (M's DENTAL CLINIC)

Support Company : Dentsply Sirona K.K.

■ Luncheon Seminar 6

May 21 (Sun.) Room 1 12 : 30 ~ 13 : 10

How to use IOS to accelerate the communication with patients

Speaker : Katsuichiro Maruo (Tokyo Branch)

Support Company : Straumann Japan

■ Luncheon Seminar 7

May 21 (Sun.) Room 2 12 : 30 ~ 13 : 10

***Lactobacillus rhamunus* L8020 and immobilizing antimicrobial agent Etak**

Chairperson : Hiroshi Murata (Nagasaki University)

Speaker : Hiroki Nikawa (Hiroshima University)

Support Company : Etak Consortium

■ Luncheon Seminar 8

May 21 (Sun.) Room 3 12 : 30 ~ 13 : 10

3D printing denture for the coming era

Speaker : Hidemasa Shimpo (Tsurumi University)

Support Company : Kulzer Japan Co., Ltd.

■ Luncheon Seminar 9

May 21 (Sun.) Room 4 12 : 30 ~ 13 : 10

Esthetic prosthesis applying simple and rational adhesive dentistry

Speaker : Masato Kimura (Kimura Dental Clinic)

Support Company : SHOFU INC.

■ Luncheon Seminar 10

May 21 (Sun.) Room 5 12 : 30 ~ 13 : 10

Nexus iOS® enabled full-arch solution -Features and clinical applications-

Chairperson : Yasunori Ayukawa (Kyushu University)

Speaker : Mikio Imai (Kyushu University)

Support Company : Kyocera Corporation

■ Citizen's Forum 2023 of the Japan Prosthodontic Society

Web

〈URL〉 <https://www.kwcs.jp/jps132/civic.html>

What is the “prosthodontist”?

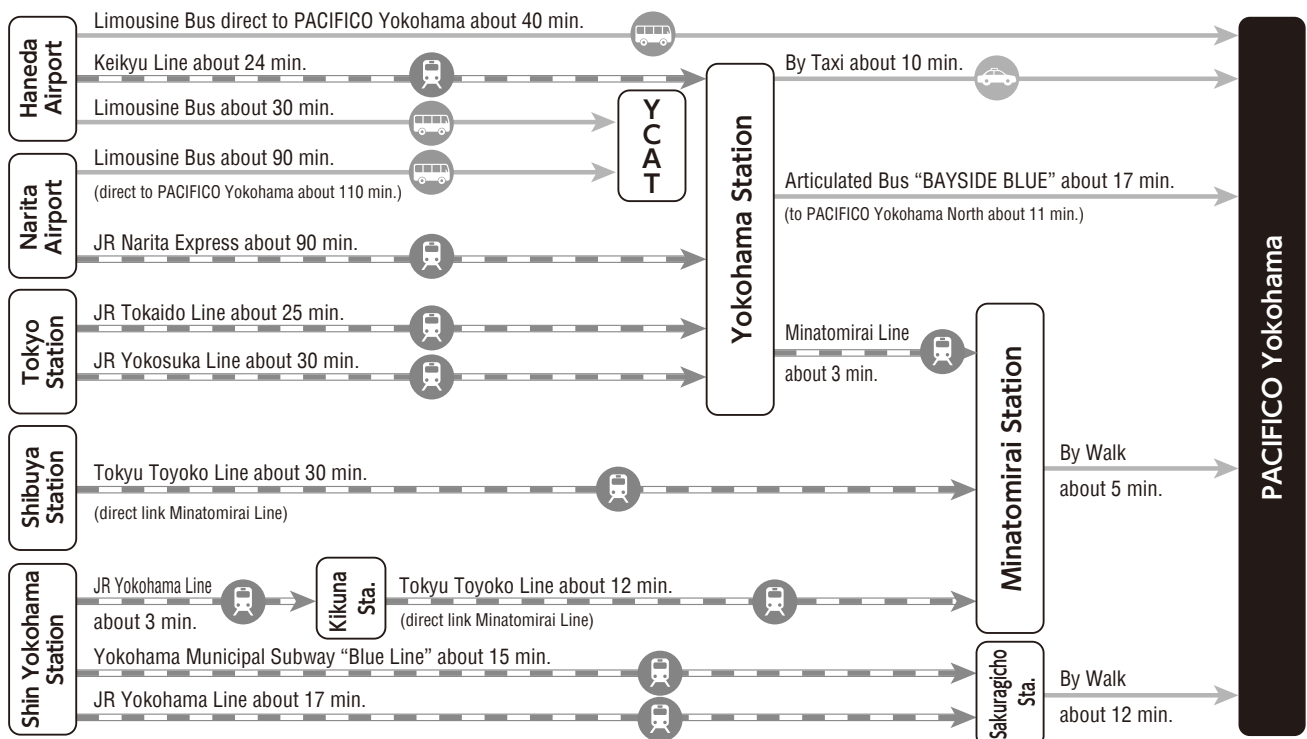
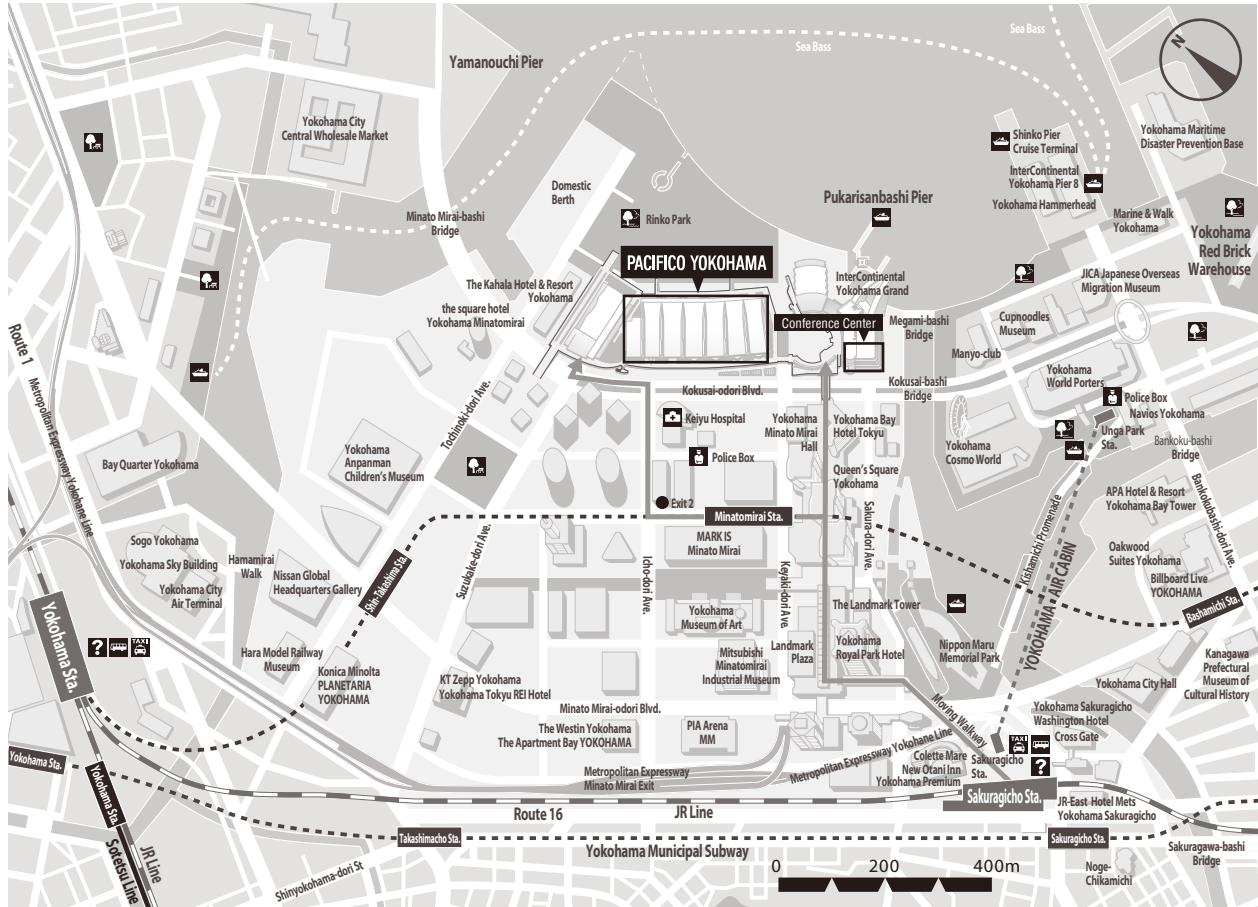
Chairperson : Toshimitsu Inuma (Japan Prosthodontic Society, Social Liaison Committee)

Speaker : Hideki Aita (Japan Prosthodontic Society, Social Liaison Committee)

Access Map

PACIFICO YOKOHAMA Conference Center

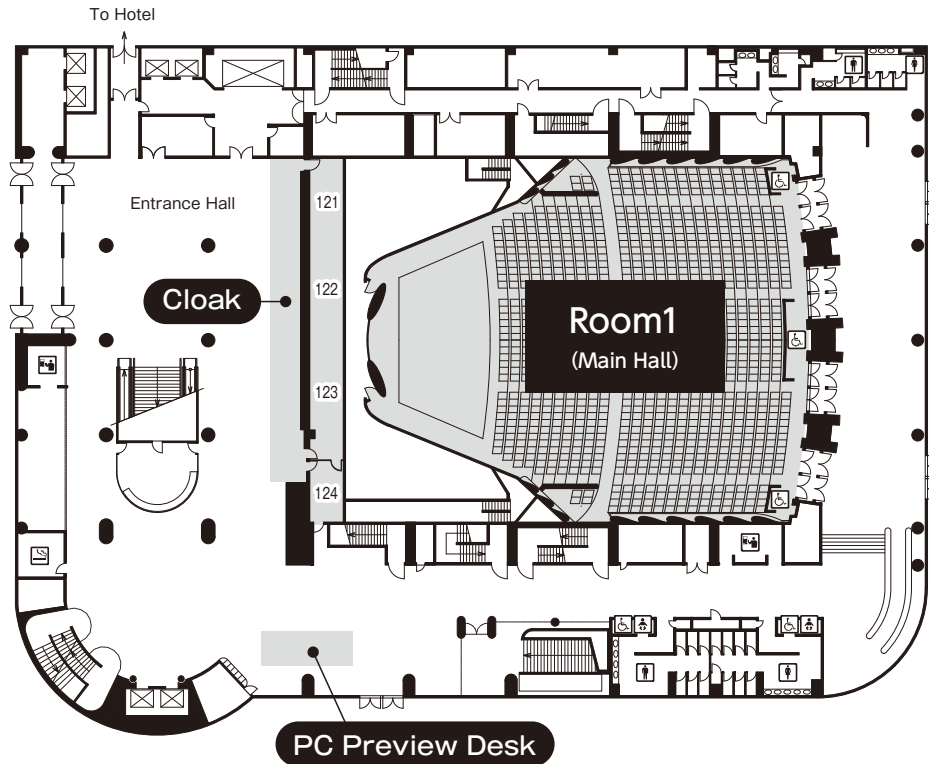
Pacific Convention Plaza Yokohama (PACIFICO Yokohama)
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, JAPAN



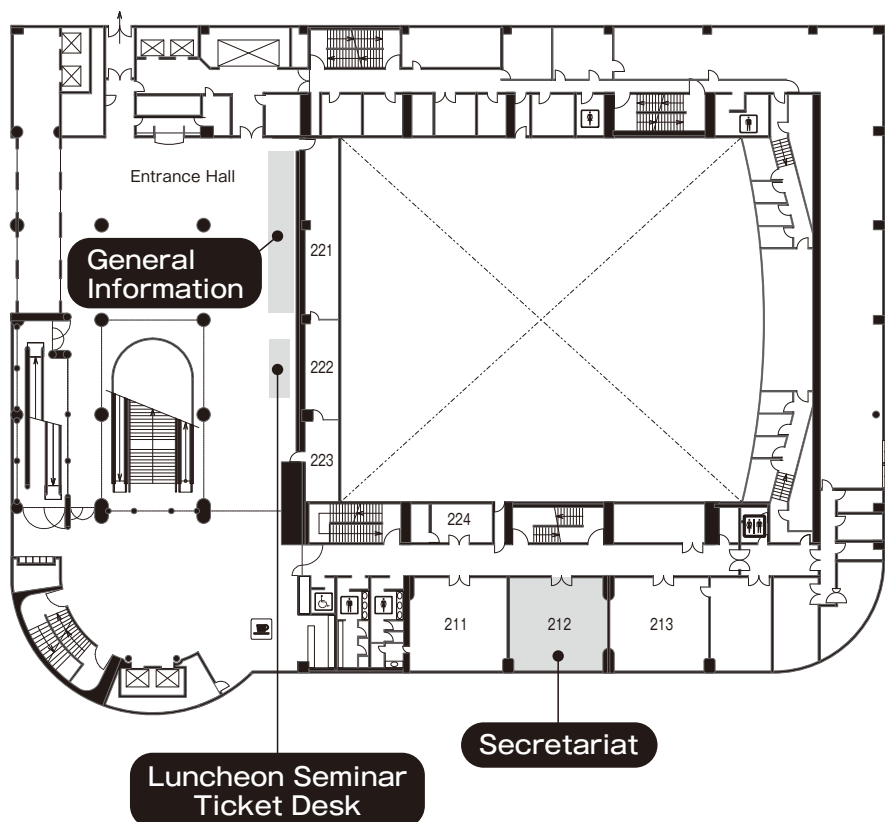
Floor Guide

PACIFICO YOKOHAMA Conference Center

1F

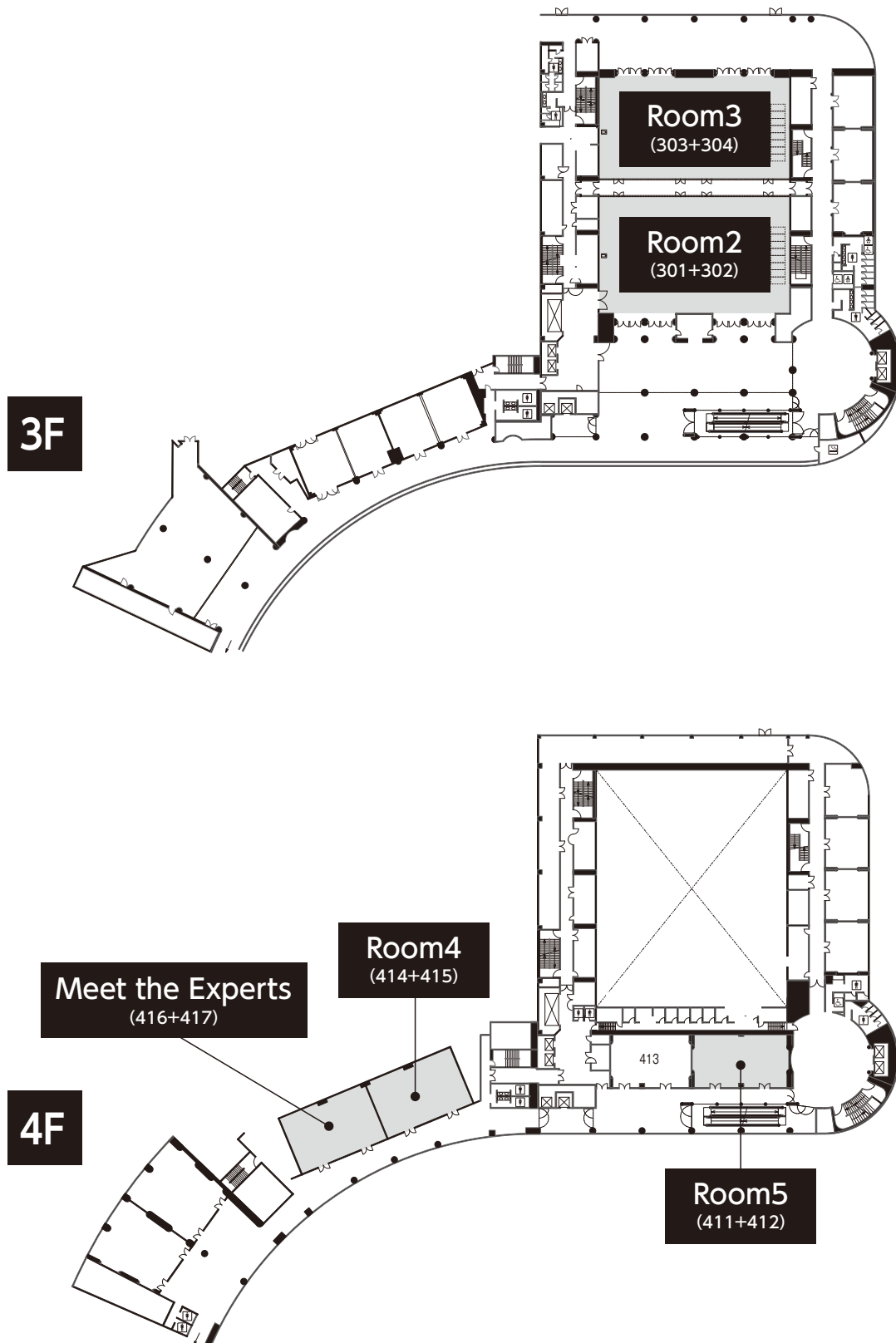


2F



Floor Guide

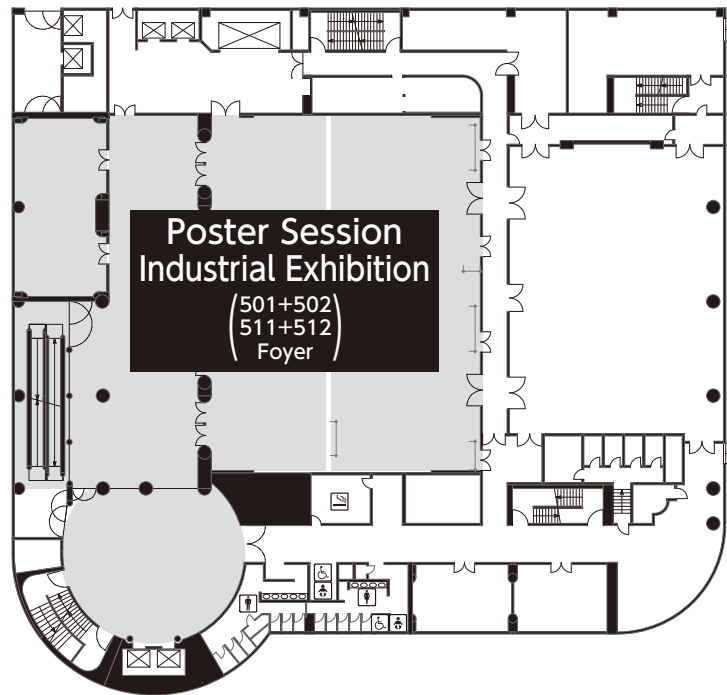
PACIFICO YOKOHAMA Conference Center



Floor Guide

PACIFICO YOKOHAMA Conference Center

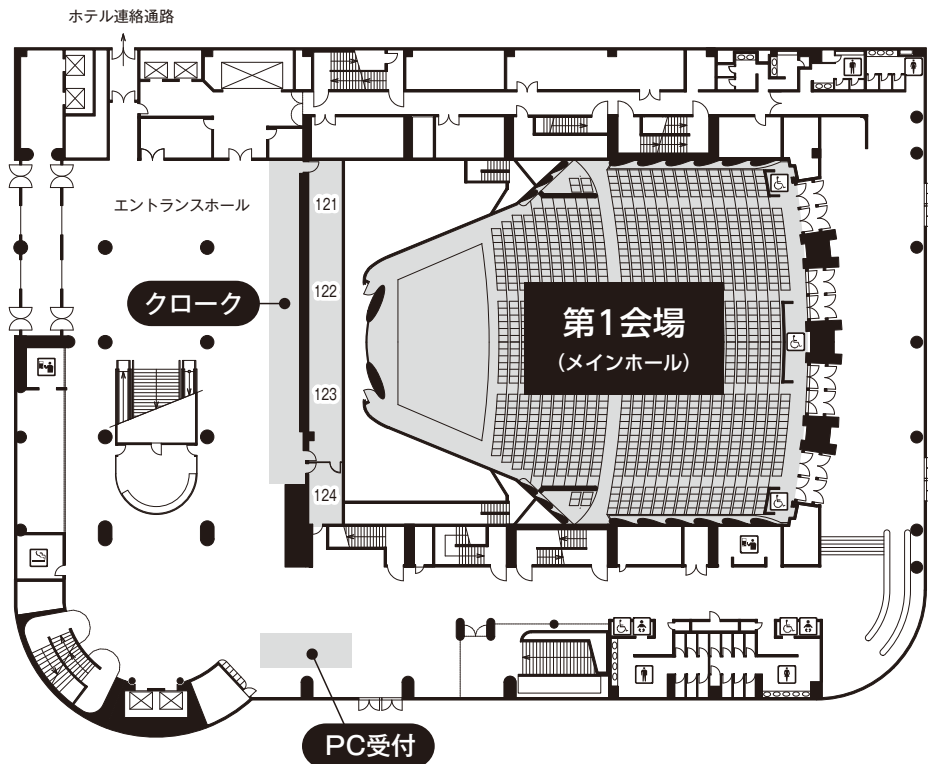
5F



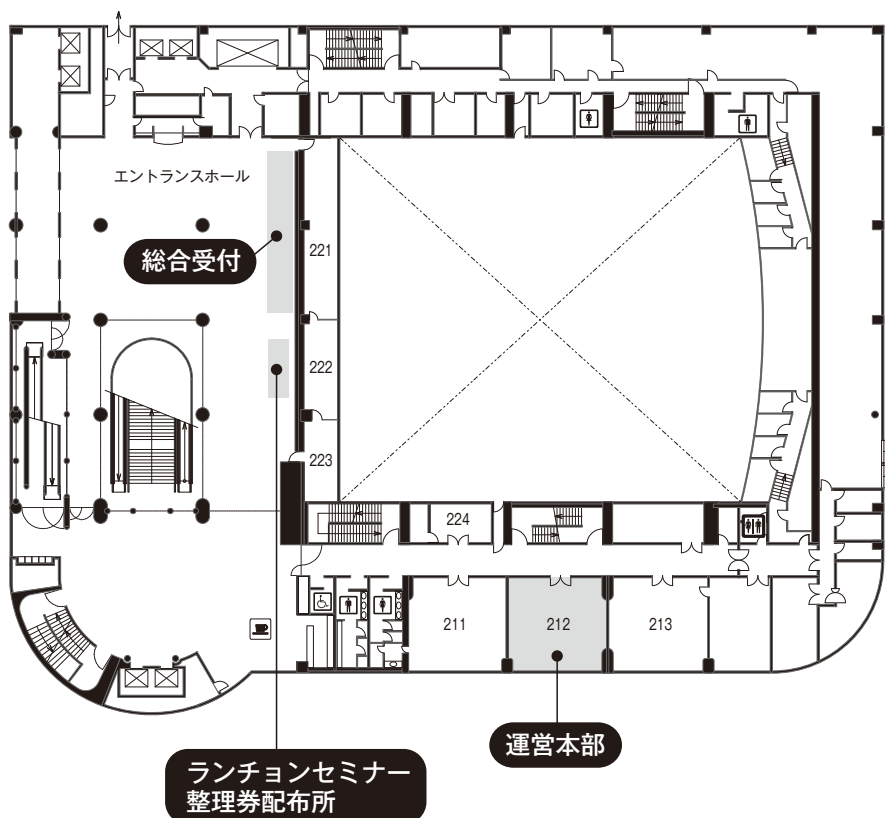
会場案内図

パシフィコ横浜 会議センター

1F

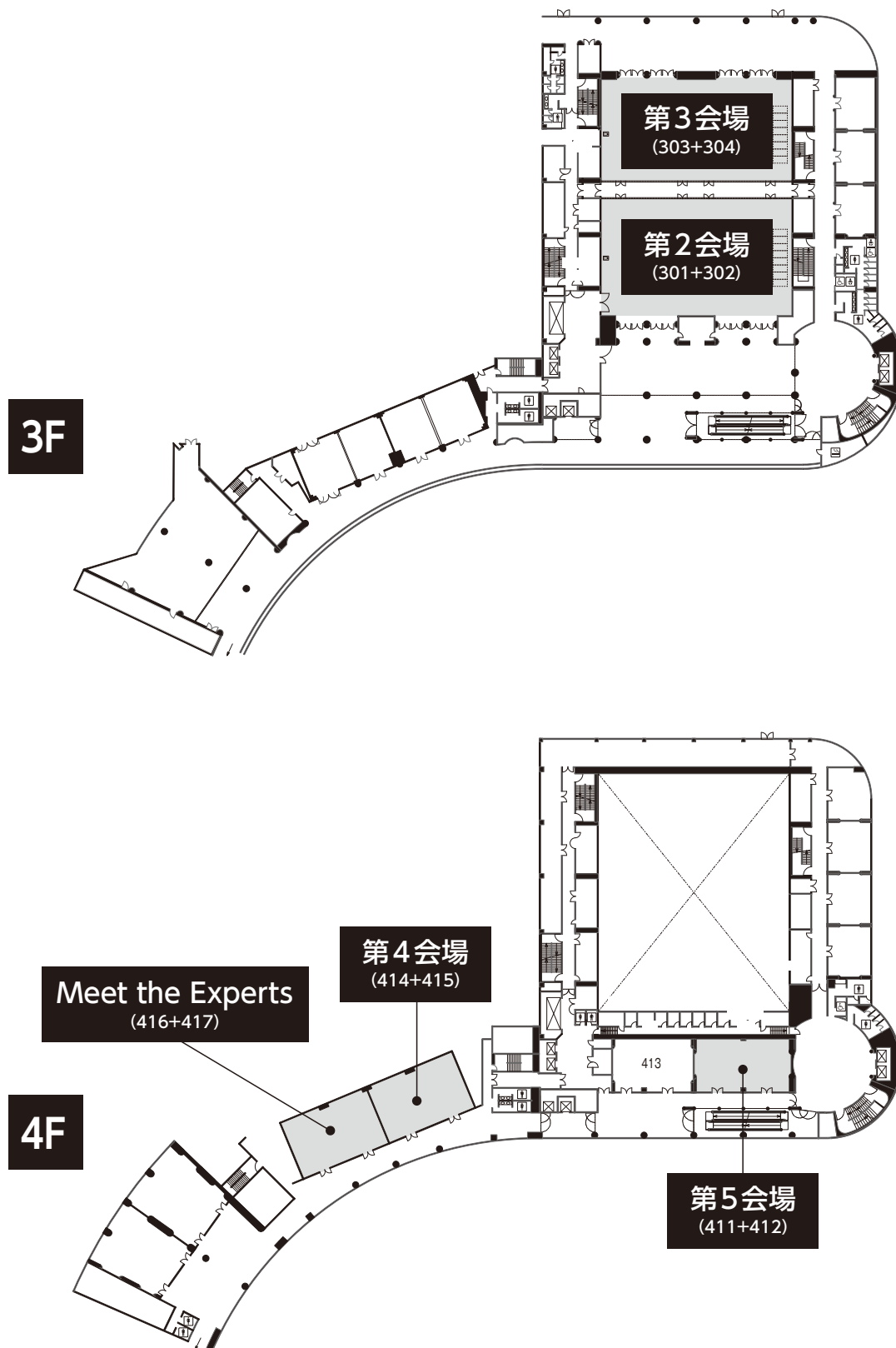


2F



会場案内図

パシフィコ横浜 会議センター



会場案内図

パシフィコ横浜 会議センター

5F

